美術館建設に関するアンケート

報告書

平成 30 年 7 月

川口市教育局生涯学習部 文化推進室

目　次

第１章　調査の概要 ･･･ 1

第２章　調査結果 ･･･ 2
　１．川口市の文化的な環境の満足度 ････････････････････････････････････ 2
　２．美術に係わる活動 ･･･ 10
　３．美術館へ行く頻度 ･･･ 17
　４．美術館へ行く理由 ･･･ 24
　５．美術館へ行かない理由 ･･･ 31
　６．美術に関する好きな作家や作品 ････････････････････････････････････ 37
　７．美術の拠点としての施設 ･･･ 38
　８．美術館建設の影響 ･･･ 45
　９．美術館建設に重視すべき事柄 ･･･････････････････････････････････････ 54
　10．国内の好きな美術館 ･･･ 61
　11．主な創作分野 ･･･ 62
　12．作品の主な発表場所 ･･･ 65
　13．美術活動を行う課題 ･･･ 68
　14．川口にふさわしい美術館 ･･･ 71
　15．美術活動発展のための意見等 ･･･････････････････････････････････････ 78
　16．川口市の美術に関する施策への意見等 ･･･････････････････････････････ 85

報告書の見方

（１）図表中の「ｎ」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると 100.0％を超える。

（２）調査結果の比率は、小数第２位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに 100.0％にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。

（３）クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

（４）クロス集計による分析では、分析軸の項目のうち、回答者数（ｎ）が 30 未満の項目については、全体結果と比率に大きな差がある選択肢があっても、本文中ではふれていない。

第１章　調査の概要

１．調査目的

川口市美術館建設基本構想策定における市民ニーズの把握

２．調査設計

（１）美術家協会会員

① 調 査 対 象：川口市美術家協会会員
② 標　　本　　数：321 人
③ 標本抽出方法：全数調査法
④ 調 査 方 法：郵送配付・郵送回収法
⑤ 調 査 期 間：平成 30 年６月７日（木）～６月 25 日（月）

（２）市内在住の男女

① 調 査 対 象：川口市内在住の満 18 歳以上の男女
② 標　　本　　数：3,000 人
③ 標本抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
④ 調 査 方 法：郵送配付・郵送回収法
⑤ 調 査 期 間：平成 30 年６月７日（木）～６月 25 日（月）

（３）Ｗｅｂ調査

① 調 査 対 象：「きらり川口情報メール」（川口市情報配信サービス）イベント情報配信登録者
② 標　　本　　数：4,249 人
③ 標本抽出方法：登録者全員に配信
④ 調 査 方 法：Ｗｅｂ調査
⑤ 調 査 期 間：平成 30 年６月 11 日（月）～６月 25 日（月）

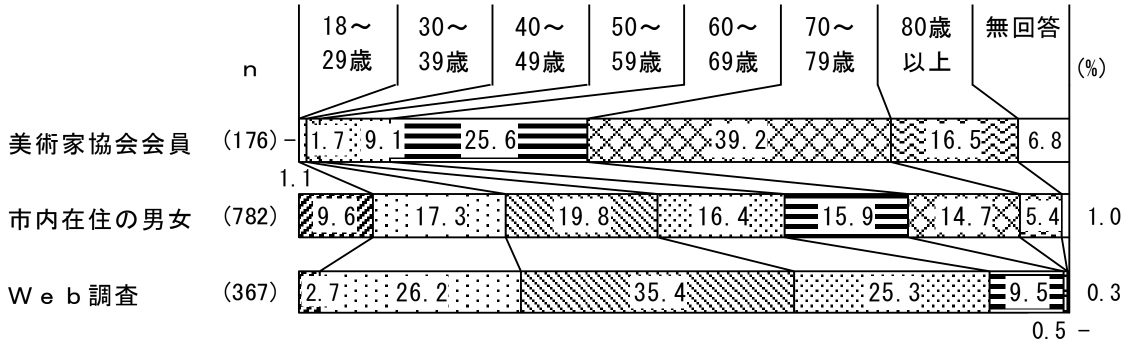
３．回収結果

（１）美術家協会会員	有効回収数	176	有効回収率	54.8％
（２）市内在住の男女	有効回収数	782	有効回収率	26.1％
（３）Ｗｅｂ調査	有効回収数	367	有効回収率	8.6％

４．回答者の属性

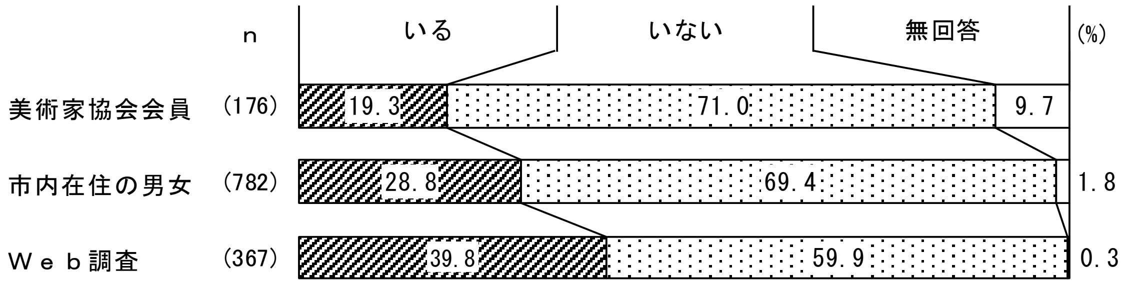
（１）年齢

Ｆ１　あなたの年齢はおいくつですか。（○は１つ）



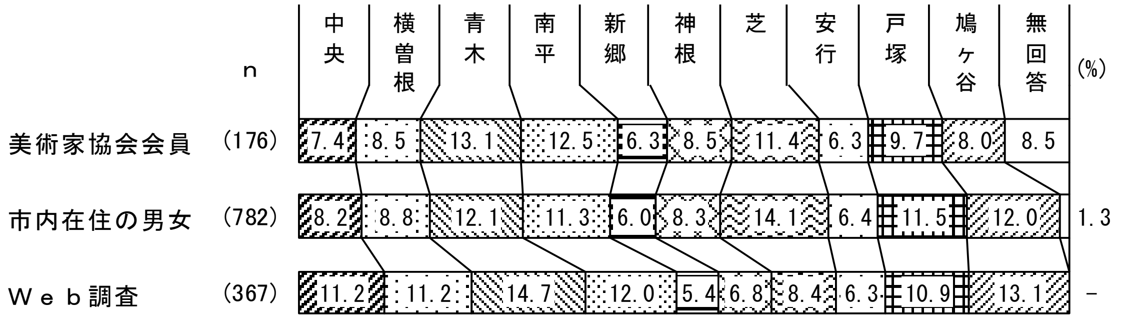
（２）未就学児の有無

Ｆ２　ご家庭に未就学のお子さんはいますか。同居、別居は問いません。（○は１つ）



（３）居住地区

Ｆ３　あなたがお住まいの地区はどちらですか。（○は１つ）

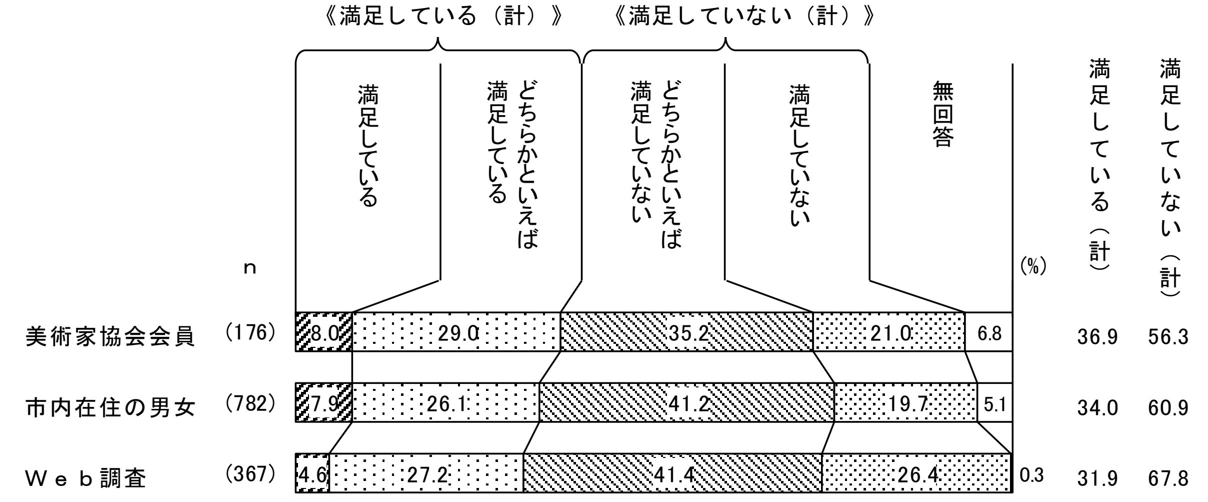


第２章　調査結果

１．川口市の文化的な環境の満足度

問１　あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をする機会など、川口市の文化的な環境に満足していますか。（○は１つ）

図表１．川口市の文化的な環境の満足度



文化芸術を鑑賞したり習い事をする機会など、川口市の文化的な環境に満足しているか聞いた。

美術家協会会員では、「満足している」が 8.0%、「どちらかといえば満足している」が 29.0%で、この２項目を合わせた『満足している（計)』が 36.9%となっている。一方、「どちらかといえば満足していない」が 35.2%、「満足していない」が 21.0%で、この２項目を合わせた『満足していない（計)』が 56.3%となっている。

市内在住の男女では、「満足している」が 7.9%、「どちらかといえば満足している」が 26.1%で、この２項目を合わせた『満足している（計)』が 34.0%となっている。一方、「どちらかといえば満足していない」が 41.2%、「満足していない」が 19.7%でこの２項目を合わせた『満足していない（計)』が 60.9%となっている。

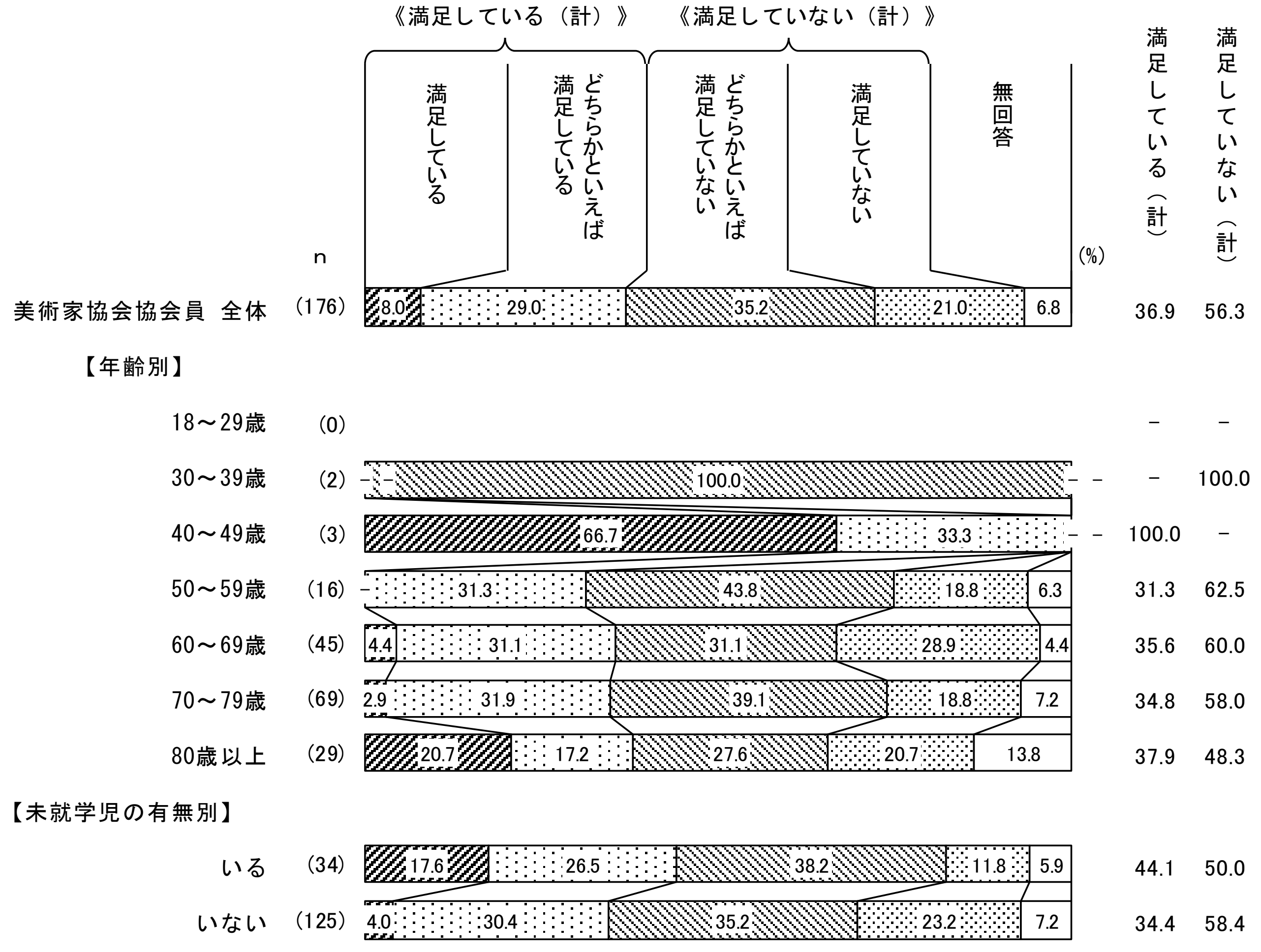
Ｗｅｂ調査では、「満足している」が 4.6%、「どちらかといえば満足している」が 27.2%で、この２項目を合わせた『満足している（計)』が 31.9%となっている。一方、「どちらかといえば満足していない」が 41.4%、「満足していない」が 26.4%で、この２項目を合わせた『満足していない（計)』が 67.8%となっている。

1-1. 川口市の文化的な環境の満足度－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、『満足している（計)』は“未就学児がいる”（44.1%）で４割半ばと、“未就学児はいない”（34.4%）と比べ 9.7 ポイント高くなっている。一方、『満足していない（計)』は“未就学児はいない”（58.4%）で６割弱と、“未就学児がいる”（50.0%）と比べ 8.4 ポイント高くなっている。

図表 1-1. 川口市の文化的な環境の満足度－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）



1-2. 川口市の文化的な環境の満足度－美術家協会会員－

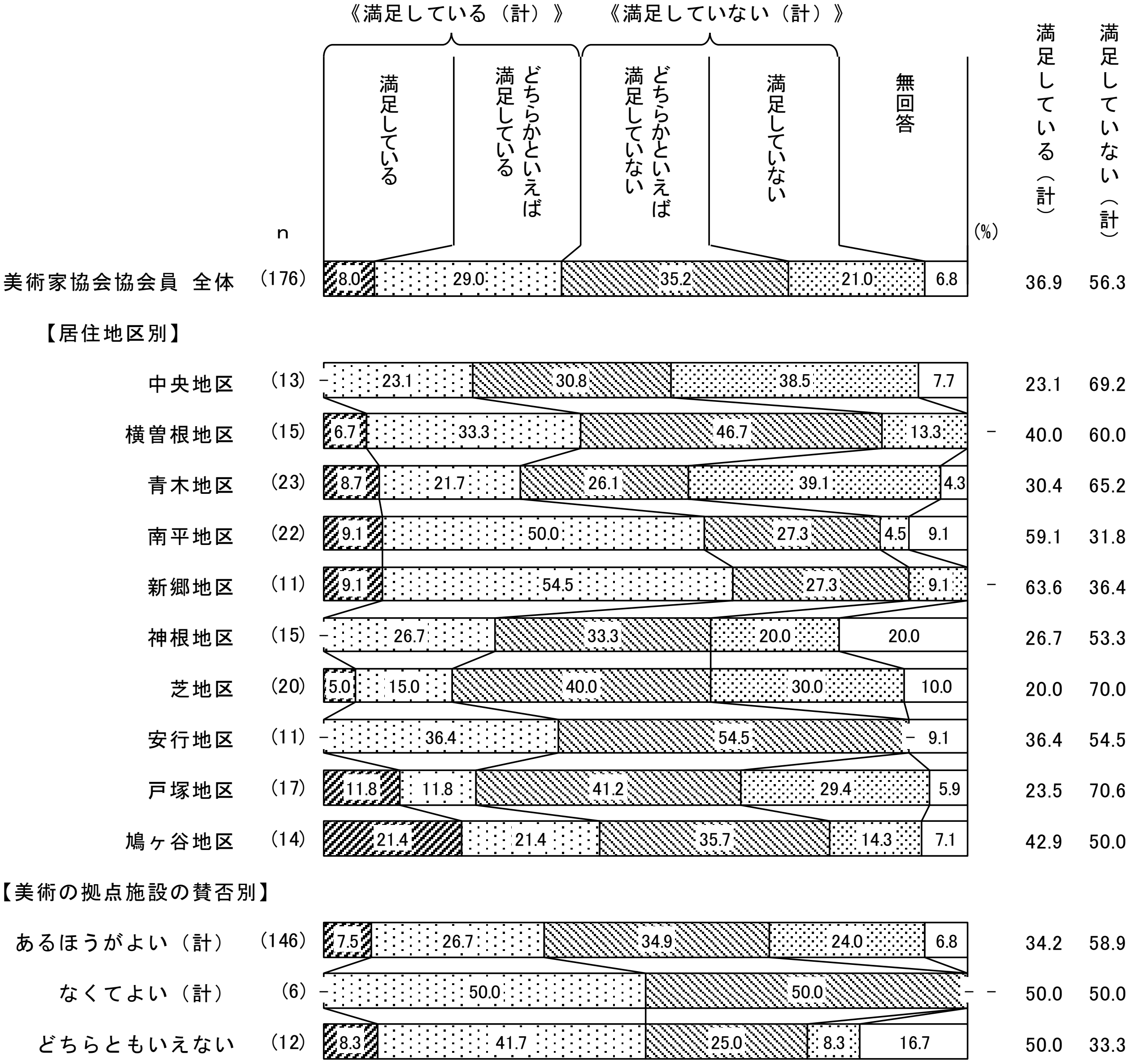
（居住地区別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 1-2. 川口市の文化的な環境の満足度－美術家協会会員－

（居住地区別、美術の拠点施設の賛否別）

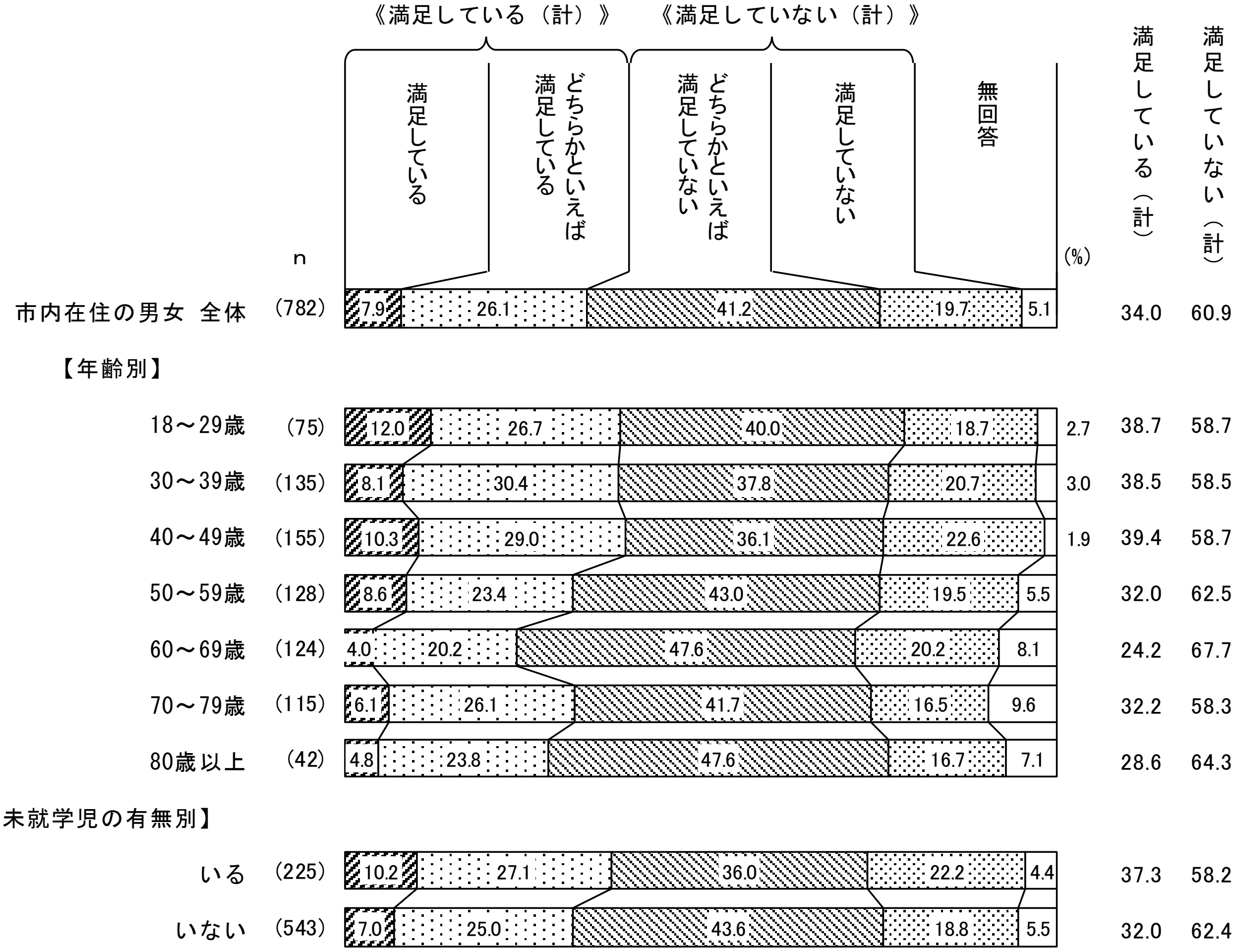


1-3. 川口市の文化的な環境の満足度－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、『満足している（計)』は 60～69 歳（24.2%）で２割半ばと、全体（34.0%）と比べ 9.8 ポイント低くなっている。

未就学児の有無別にみると、『満足している（計)』は“未就学児がいる”（37.3%）で４割弱と、“未就学児はいない”（32.0%）と比べ 5.3 ポイント高くなっている。

図表 1-3. 川口市の文化的な環境の満足度－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

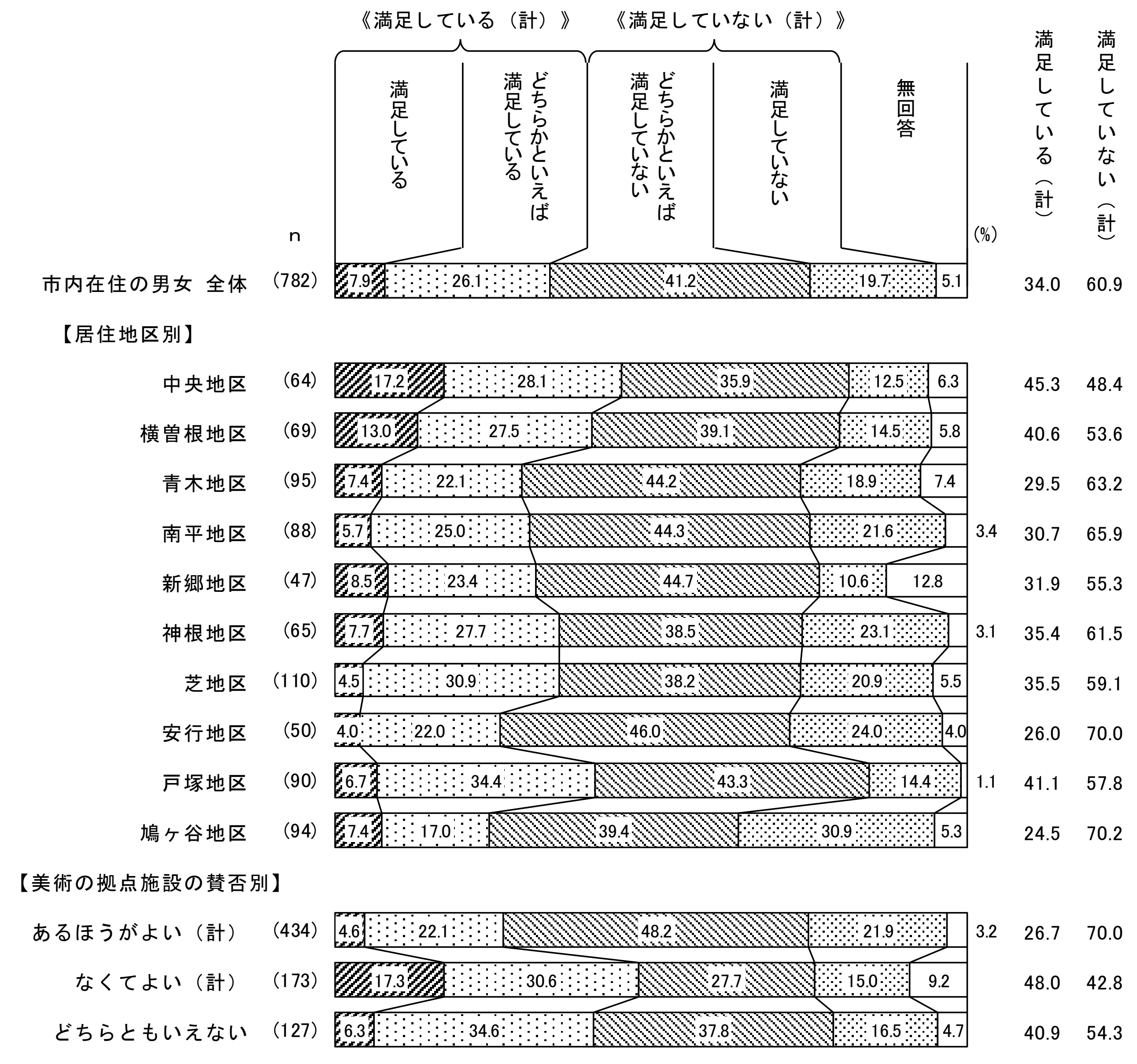


1-4. 川口市の文化的な環境の満足度－市内在住の男女－
（居住地区別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、『満足している(計)』は鳩ヶ谷地区(24.5%)で２割半ばと、全体(34.0%)と比べ 9.5 ポイント低くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、『満足している（計)』は“なくてよい（計）”（48.0%）で５割弱と、“あるほうがよい（計）”（26.7%）と比べ 21.3 ポイント高くなっている。一方、『満足していない（計)』は“あるほうがよい（計）”（70.0%）で約７割と、“なくてよい（計）”（42.8%）と比べ 27.2 ポイント高くなっている。

図表 1-4. 川口市の文化的な環境の満足度－市内在住の男女－
（居住地区別、美術の拠点施設の賛否別）

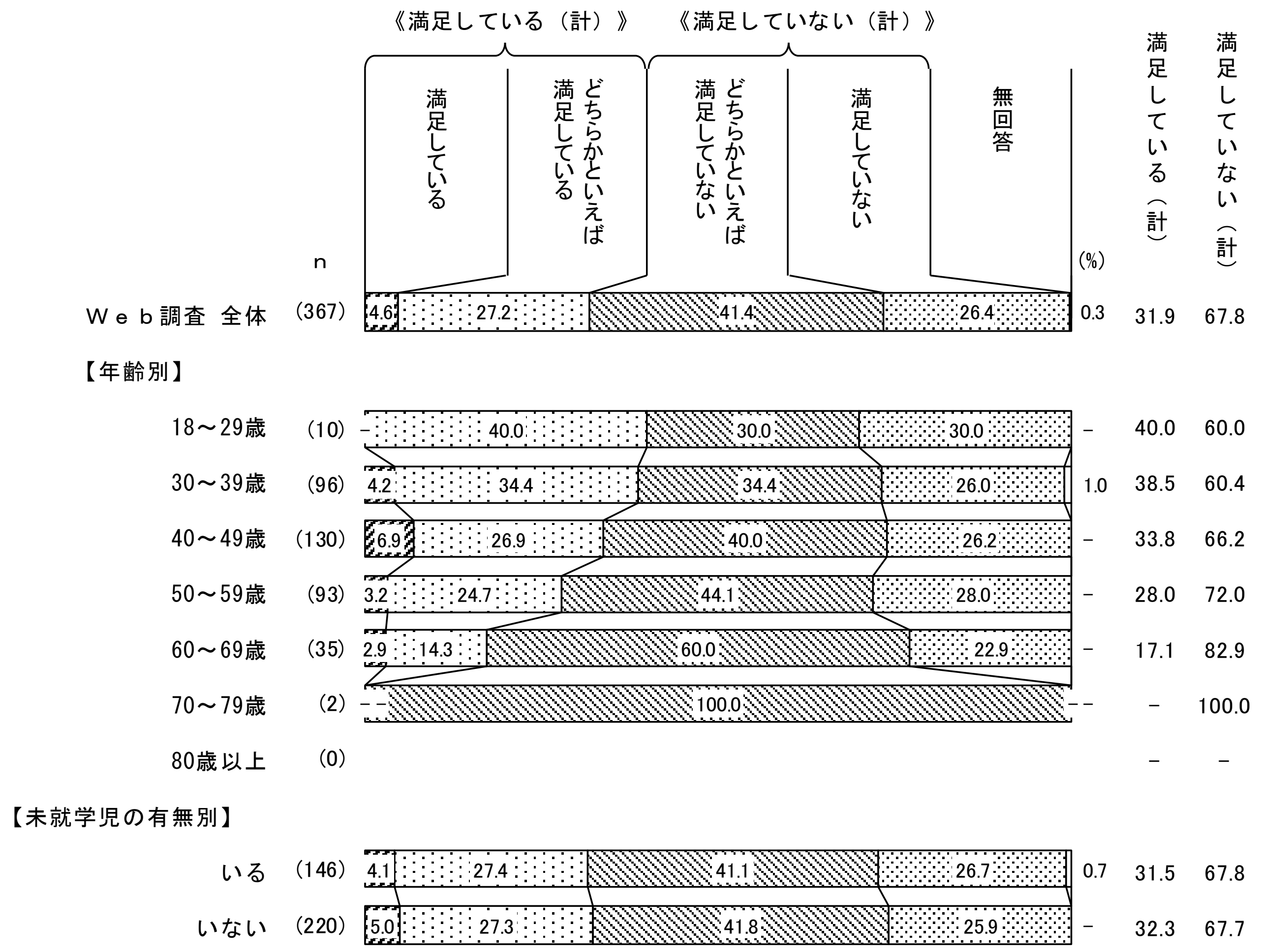


1-5. 川口市の文化的な環境の満足度－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、『満足していない（計)』は 60～69 歳（82.9%）で８割強と、全体（67.8%）と比べ 15.1 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、大きな差異はみられない。

図表 1-5. 川口市の文化的な環境の満足度－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

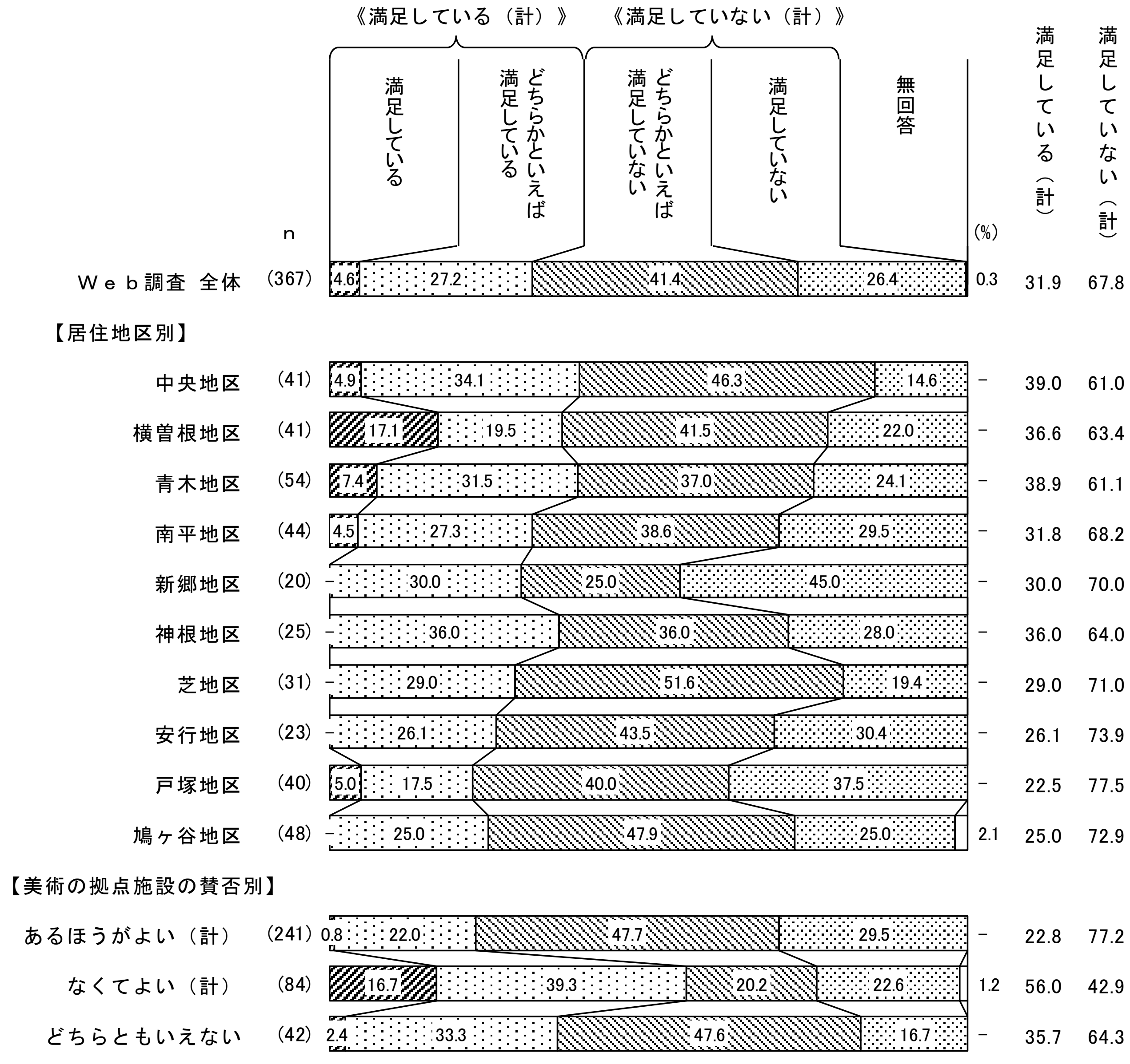


1-6. 川口市の文化的な環境の満足度－Ｗｅｂ調査－（居住地区別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、『満足している（計)』は中央地区（39.0％）で約４割と、全体（31.9％）と比べ 7.1 ポイント、青木地区（38.9％）で４割弱と、全体（31.9％）と比べ 7.0 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『満足していない（計)』は戸塚地区（77.5％）で８割弱と、全体（67.8％）と比べ 9.7 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、『満足している（計)』は“なくてよい（計)”（56.0％）で５割半ばと、“あるほうがよい（計)”（22.8％）と比べ 33.2 ポイント高くなっている。一方、『満足していない(計)』は“あるほうがよい(計)”(77.2％)で８割弱と、“なくてよい(計)”(42.9％)と比べ 34.3 ポイント高くなっている。

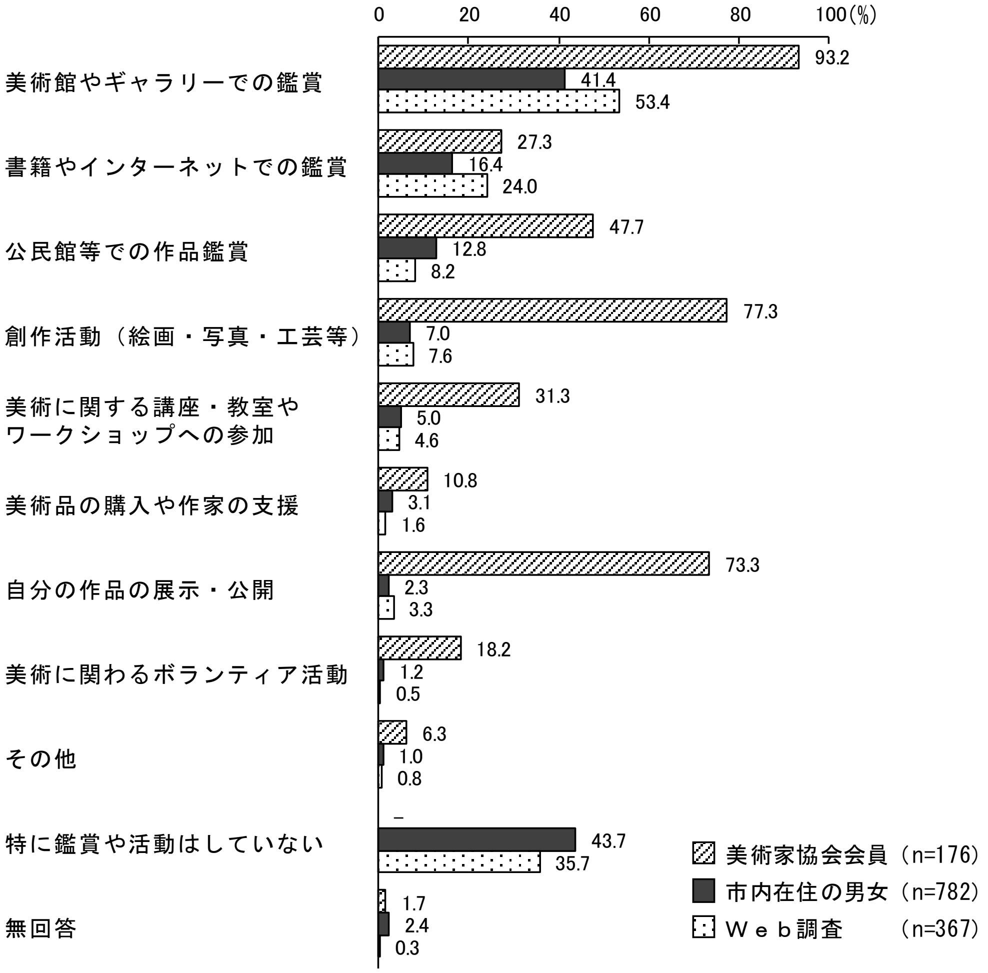
図表 1-6. 川口市の文化的な環境の満足度－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、美術の拠点施設の賛否別）



２．美術に係わる活動

問２　あなたはこの１年間に、美術を鑑賞したり美術に係わる活動をしましたか。
（○いくつでも）

図表２．美術に係わる活動



この１年間に、美術を鑑賞したり美術に係わる活動をしたか聞いた。

美術家協会会員では、「美術館やギャラリーでの鑑賞」が 93.2％と最も多く、次いで「創作活動（絵画・写真・工芸等）」が 77.3％、「自分の作品の展示・公開」が 73.3％、「公民館等での作品鑑賞」が 47.7％などの順となっている。

市内在住の男女では、「美術館やギャラリーでの鑑賞」が 41.4％と最も多く、次いで「書籍やインターネットでの鑑賞」が 16.4％、「公民館等での作品鑑賞」が 12.8％、「創作活動（絵画・写真・工芸等）」が 7.0％などの順となっている。

Ｗｅｂ調査では、「美術館やギャラリーでの鑑賞」が 53.4％と最も多く、次いで「書籍やインターネットでの鑑賞」が 24.0％、「公民館等での作品鑑賞」が 8.2％、「創作活動（絵画・写真・工芸等）」が 7.6％などの順となっている。

2-1. 美術に係わる活動－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（n）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、「創作活動（絵画・写真・工芸等）」は“未就学児はいない”（77.6%）で８割弱と、“未就学児がいる”（73.5%）と比べ 4.1 ポイント高くなっている。「公民館等での作品鑑賞」は“未就学児がいる”（50.0%）で５割と、“未就学児はいない”（45.6%）と比べ 4.4 ポイント高くなっている。「美術に関する講座・教室やワークショップへの参加」は“未就学児がいる”（38.2%）で４割弱と、“未就学児はいない”（30.4%）と比べ 7.8 ポイント高くなっている。

図表 2-1. 美術に係わる活動－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	美術館やギャラリーでの鑑賞	創作活動（絵画・写真・工芸等）	自分の作品の展示・公開	公民館等での作品鑑賞	美術に関する講座・教室やワークショップへの参加	書籍やインターネットでの鑑賞	美術に関わるボランティア活動	美術品の購入や作家の支援	その他	特に鑑賞や活動はしていない	無回答
美術家協会会員 全体	176	93.2	77.3	73.3	47.7	31.3	27.3	18.2	10.8	6.3	-	1.7
【年齢別】												
18～29歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	2	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	-	50.0	-	-	-
40～49歳	3	100.0	100.0	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
50～59歳	16	100.0	93.8	81.3	50.0	43.8	31.3	31.3	18.8	6.3	-	-
60～69歳	45	91.1	73.3	62.2	44.4	28.9	26.7	13.3	6.7	4.4	-	2.2
70～79歳	69	94.2	75.4	78.3	49.3	36.2	27.5	17.4	11.6	7.2	-	1.4
80歳以上	29	89.7	72.4	69.0	48.3	20.7	24.1	24.1	13.8	10.3	-	3.4
【未就学児の有無別】												
いる	34	94.1	73.5	73.5	50.0	38.2	26.5	14.7	8.8	5.9	-	5.9
いない	125	93.6	77.6	72.0	45.6	30.4	28.0	18.4	11.2	7.2	-	0.8

2-2. 美術に係わる活動－美術家協会会員－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「創作活動（絵画・写真・工芸等)」は“満足していない（計)”（81.8%）で８割強と、“満足している（計)”（73.8%）と比べ 8.0 ポイント高くなっている。「美術に関する講座・教室やワークショップへの参加」は“満足していない（計)”（36.4%）で３割半ばと、“満足している（計)”（24.6%）と比べ 11.8 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 2-2. 美術に係わる活動－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	美術館やギャラリーでの鑑賞	創作活動（絵画・写真・工芸等）	自分の作品の展示・公開	公民館等での作品鑑賞	美術に関する講座・教室やワークショップへの参加	書籍やインターネットでの鑑賞	美術に関わるボランティア活動	美術品の購入や作家の支援	その他	特に鑑賞や活動はしていない	無回答
美術家協会会員 全体	176	93.2	77.3	73.3	47.7	31.3	27.3	18.2	10.8	6.3	-	1.7
【居住地区別】												
中央地区	13	100.0	69.2	84.6	46.2	69.2	38.5	15.4	30.8	7.7	-	-
横曽根地区	15	100.0	80.0	86.7	60.0	60.0	40.0	13.3	13.3	13.3	-	-
青木地区	23	95.7	69.6	65.2	43.5	26.1	26.1	26.1	13.0	-	-	4.3
南平地区	22	100.0	59.1	63.6	45.5	22.7	13.6	9.1	4.5	9.1	-	-
新郷地区	11	100.0	81.8	90.9	45.5	36.4	18.2	18.2	9.1	-	-	-
神根地区	15	93.3	100.0	80.0	53.3	53.3	46.7	40.0	20.0	6.7	-	-
芝地区	20	90.0	80.0	70.0	25.0	15.0	25.0	15.0	5.0	-	-	5.0
安行地区	11	90.9	72.7	63.6	18.2	27.3	18.2	9.1	-	9.1	-	9.1
戸塚地区	17	82.4	82.4	76.5	82.4	23.5	35.3	23.5	11.8	11.8	-	-
鳩ヶ谷地区	14	100.0	92.9	64.3	50.0	21.4	21.4	14.3	14.3	7.1	-	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】												
満足している（計）	65	92.3	73.8	70.8	44.6	24.6	26.2	18.5	4.6	3.1	-	1.5
満足していない（計）	99	94.9	81.8	75.8	49.5	36.4	28.3	18.2	13.1	8.1	-	-
【美術の拠点施設の賛否別】												
あるほうがよい（計）	146	93.2	78.1	75.3	49.3	33.6	30.8	18.5	12.3	6.8	-	2.1
なくてよい（計）	6	100.0	50.0	66.7	33.3	-	16.7	33.3	-	16.7	-	-
どちらともいえない	12	91.7	66.7	66.7	58.3	16.7	16.7	8.3	-	-	-	-

2-3. 美術に係わる活動－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は 60～69 歳（61.3%）で６割強と、全体（41.4%）と比べ 19.9 ポイント高くなっている。「公民館等での作品鑑賞」は 70～79 歳（33.0%）で３割半ばと、全体（12.8%）と比べ 20.2 ポイント、80 歳以上（26.2%）で２割半ばと、全体（12.8%）と比べ 13.4 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「特に鑑賞や活動はしていない」は 30～39 歳（59.3%）で約６割と、全体（43.7%）と比べ 15.6 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は“未就学児はいない”（44.8%）で４割半ばと、“未就学児がいる”（33.3%）と比べ 11.5 ポイント高くなっている。一方、「特に鑑賞や活動はしていない」は“未就学児がいる”（50.7%）で約５割と、“未就学児はいない”（41.1%）と比べ 9.6 ポイント高くなっている。

図表 2-3. 美術に係わる活動－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	美術館やギャラリーでの鑑賞	書籍やインターネットでの鑑賞	公民館等での作品鑑賞	創作活動（絵画・写真・工芸等）	美術に関する講座・教室やワークショップへの参加	美術品の購入や作家の支援	自分の作品の展示・公開	美術に関わるボランティア活動	その他	特に鑑賞や活動はしていない	無回答
市内在住の男女 全体	782	41.4	16.4	12.8	7.0	5.0	3.1	2.3	1.2	1.0	43.7	2.4
【年齢別】												
18～29歳	75	29.3	20.0	1.3	10.7	2.7	5.3	1.3	-	2.7	52.0	2.7
30～39歳	135	25.9	20.0	2.2	4.4	3.7	3.0	-	0.7	0.7	59.3	2.2
40～49歳	155	41.9	19.4	7.7	6.5	7.1	3.2	2.6	1.3	1.3	47.1	0.6
50～59歳	128	49.2	21.9	7.8	4.7	4.7	1.6	1.6	1.6	1.6	39.1	0.8
60～69歳	124	61.3	11.3	18.5	5.6	6.5	3.2	3.2	1.6	-	29.8	4.0
70～79歳	115	42.6	7.8	33.0	13.9	4.3	4.3	6.1	0.9	-	35.7	4.3
80歳以上	42	26.2	7.1	26.2	4.8	2.4	-	-	-	2.4	45.2	4.8
【未就学児の有無別】												
いる	225	33.3	14.7	11.1	4.0	4.9	5.3	1.8	0.4	0.4	50.7	4.0
いない	543	44.8	17.1	12.9	8.3	5.0	2.2	2.6	1.3	1.3	41.1	1.7

2-4. 美術に係わる活動－市内在住の男女－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は中央地区（60.9%）で約６割と、全体（41.4%）と比べ 19.5 ポイント高くなっている。「書籍やインターネットでの鑑賞」は南平地区（25.0%）で２割半ばと、全体（16.4%）と比べ 8.6 ポイント高くなっている。「公民館等での作品鑑賞」は安行地区（24.0%）で２割半ばと、全体（12.8%）と比べ 11.2 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は“満足していない（計)”（47.7%）で５割弱と、“満足している（計)”（32.7%）と比べ 15.0 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は“あるほうがよい（計)”（49.5%）で約５割と、“なくてよい（計)”（34.7%）と比べ 14.8 ポイント高くなっている。

図 2-4. 美術に係わる活動－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	美術館やギャラリーでの鑑賞	書籍やインターネットでの鑑賞	公民館等での作品鑑賞	創作活動（絵画・写真・工芸等）	美術に関する講座・教室やワークショップへの参加	美術品の購入や作家の支援	自分の作品の展示・公開	美術に関わるボランティア活動	その他	特に鑑賞や活動はしていない	無回答
市内在住の男女 全体	782	41.4	16.4	12.8	7.0	5.0	3.1	2.3	1.2	1.0	43.7	2.4
【居住地区別】												
中央地区	64	60.9	17.2	7.8	9.4	1.6	1.6	1.6	-	1.6	29.7	-
横曽根地区	69	39.1	15.9	8.7	8.7	2.9	1.4	4.3	1.4	-	46.4	-
青木地区	95	47.4	17.9	10.5	5.3	3.2	1.1	2.1	1.1	2.1	38.9	5.3
南平地区	88	44.3	25.0	6.8	5.7	6.8	3.4	-	-	-	42.0	3.4
新郷地区	47	36.2	14.9	14.9	6.4	6.4	2.1	-	4.3	-	57.4	-
神根地区	65	35.4	10.8	20.0	9.2	6.2	3.1	6.2	-	1.5	49.2	-
芝地区	110	35.5	15.5	11.8	5.5	3.6	3.6	1.8	1.8	0.9	47.3	2.7
安行地区	50	30.0	14.0	24.0	8.0	10.0	6.0	2.0	-	2.0	46.0	4.0
戸塚地区	90	37.8	11.1	14.4	6.7	7.8	5.6	2.2	1.1	1.1	47.8	2.2
鳩ヶ谷地区	94	44.7	18.1	13.8	8.5	3.2	3.2	3.2	1.1	1.1	38.3	4.3
【川口市の文化的な環境の満足度別】												
満足している（計）	266	32.7	12.4	15.4	5.6	4.9	1.9	1.5	1.5	1.1	51.9	0.8
満足していない（計）	476	47.7	19.1	11.6	8.2	5.5	3.8	2.9	1.1	0.8	38.4	2.9
【美術の拠点施設の賛否別】												
あるほうがよい（計）	434	49.5	22.1	15.9	9.9	6.2	3.7	3.2	1.6	1.4	32.5	2.1
なくてよい（計）	173	34.7	12.1	9.8	2.9	4.0	1.7	0.6	1.2	0.6	57.2	2.3
どちらともいえない	127	27.6	7.1	5.5	3.1	3.1	3.1	0.8	-	-	63.8	2.4

2-5. 美術に係わる活動－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は 60～69 歳（71.4%）で７割強と、全体（53.4%）と比べ 18.0 ポイント高くなっている。一方、「特に鑑賞や活動はしていない」は 60～69 歳（20.0%）で２割と、全体（35.7%）と比べ 15.7 ポイント低くなっている。

未就学児の有無別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は“未就学児はいない”（56.8%）で５割半ばと、“未就学児がいる”（47.9%）と比べ 8.9 ポイント高くなっている。一方、「特に鑑賞や活動はしていない」は“未就学児がいる”（40.4%）で約４割と、“未就学児はいない”（32.7%）と比べ 7.7 ポイント高くなっている。

図表 2-5. 美術に係わる活動－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	美術館やギャラリーでの鑑賞	書籍やインターネットでの鑑賞	公民館等での作品鑑賞	創作活動（絵画・写真・工芸等）	美術に関する講座・教室やワークショップへの参加	自分の作品の展示・公開	美術品の購入や作家の支援	美術に関わるボランティア活動	その他	特に鑑賞や活動はしていない	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	367	53.4	24.0	8.2	7.6	4.6	3.3	1.6	0.5	0.8	35.7	0.3
【年齢別】												
18～29歳	10	50.0	30.0	－	10.0	－	－	－	－	－	40.0	－
30～39歳	96	45.8	21.9	13.5	7.3	6.3	3.1	1.0	1.0	1.0	39.6	1.0
40～49歳	130	50.8	23.1	5.4	8.5	4.6	3.8	2.3	－	1.5	38.5	－
50～59歳	93	57.0	29.0	7.5	5.4	2.2	1.1	2.2	－	－	34.4	－
60～69歳	35	71.4	17.1	5.7	11.4	8.6	8.6	－	2.9	－	20.0	－
70～79歳	2	100.0	50.0	50.0	－	－	－	－	－	－	－	－
80歳以上	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
【未就学児の有無別】												
いる	146	47.9	23.3	9.6	8.9	6.2	3.4	2.7	0.7	1.4	40.4	0.7
いない	220	56.8	24.1	7.3	6.8	3.6	3.2	0.9	0.5	0.5	32.7	－

2-6. 美術に係わる活動－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は青木地区（59.3％）で約６割と、全体（53.4％）と比べ 5.9 ポイント高くなっている。「公民館等での作品鑑賞」は戸塚地区（17.5％）で２割弱と、全体（8.2％）と比べ 9.3 ポイント、鳩ヶ谷地区（16.7％）で１割半ばと、全体（8.2％）と比べ 8.5 ポイント、それぞれ高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は“満足していない（計）”（54.6％）で５割半ばと、“満足している（計）”（51.3％）と比べ 3.3 ポイント高くなっている。「書籍やインターネットでの鑑賞」は“満足していない（計）”（25.7％）で２割半ばと、“満足している（計）”（20.5％）と比べ 5.2 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は“あるほうがよい（計）”（58.9％）で６割弱と、“なくてよい（計）”（40.5％）と比べ 18.4 ポイント高くなっている。「書籍やインターネットでの鑑賞」は“あるほうがよい（計）”（27.8％）で３割弱と、“なくてよい（計）”（14.3％）と比べ 13.5 ポイント高くなっている。

図表 2-6. 美術に係わる活動－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

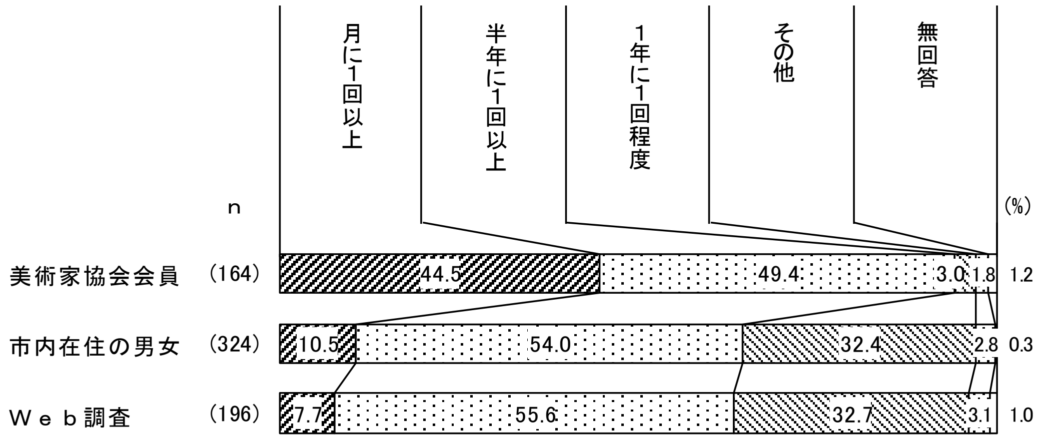
(%)

	n	美術館やギャラリーでの鑑賞	書籍やインターネットでの鑑賞	公民館等での作品鑑賞	創作活動（絵画・写真・工芸等）	美術に関する講座・教室やワークショップへの参加	自分の作品の展示・公開	美術品の購入や作家の支援	美術に関わるボランティア活動	その他	特に鑑賞や活動はしていない	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	367	53.4	24.0	8.2	7.6	4.6	3.3	1.6	0.5	0.8	35.7	0.3
【居住地区別】												
中央地区	41	58.5	14.6	4.9	-	2.4	-	-	-	-	39.0	-
横曽根地区	41	58.5	24.4	2.4	7.3	7.3	4.9	2.4	-	-	34.1	-
青木地区	54	59.3	25.9	7.4	7.4	7.4	3.7	3.7	-	-	33.3	-
南平地区	44	56.8	27.3	9.1	9.1	6.8	4.5	-	-	-	40.9	-
新郷地区	20	40.0	40.0	-	5.0	-	-	-	-	-	35.0	-
神根地区	25	32.0	28.0	12.0	8.0	-	8.0	-	-	-	52.0	-
芝地区	31	54.8	25.8	3.2	3.2	-	-	-	-	-	32.3	-
安行地区	23	56.5	26.1	-	13.0	13.0	-	8.7	8.7	8.7	34.8	-
戸塚地区	40	47.5	15.0	17.5	12.5	-	-	2.5	-	-	37.5	-
鳩ヶ谷地区	48	54.2	22.9	16.7	10.4	6.3	8.3	-	-	2.1	25.0	2.1
【川口市の文化的な環境の満足度別】												
満足している（計）	117	51.3	20.5	10.3	6.8	5.1	1.7	0.9	-	0.9	40.2	-
満足していない（計）	249	54.6	25.7	7.2	8.0	4.4	4.0	2.0	0.8	0.8	33.7	-
【美術の拠点施設の賛否別】												
あるほうがよい（計）	241	58.9	27.8	10.0	7.9	5.0	3.3	2.1	0.8	1.2	27.8	-
なくてよい（計）	84	40.5	14.3	4.8	4.8	2.4	1.2	-	-	-	51.2	1.2
どちらともいえない	42	47.6	21.4	4.8	11.9	7.1	7.1	2.4	-	-	50.0	-

３．美術館へ行く頻度

（問２で「１．美術館やギャラリーでの鑑賞」とお答えの方に）
問２－１　美術館やギャラリーへはどのくらいの頻度で行きましたか。（○は１つ）

図表３．美術館へ行く頻度



この１年間に美術館やギャラリーでの鑑賞をしたと答えた人に、美術館やギャラリーへはどのくらいの頻度で行ったか聞いた。

美術家協会会員（164 人）では、「半年に１回以上」が 49.4％と最も多く、次いで「月に１回以上」が 44.5％、「１年に１回程度」が 3.0％の順となっている。

市内在住の男女（324 人）では、「半年に１回以上」が 54.0％と最も多く、次いで「１年に１回程度」が 32.4％、「月に１回以上」が 10.5％の順となっている。

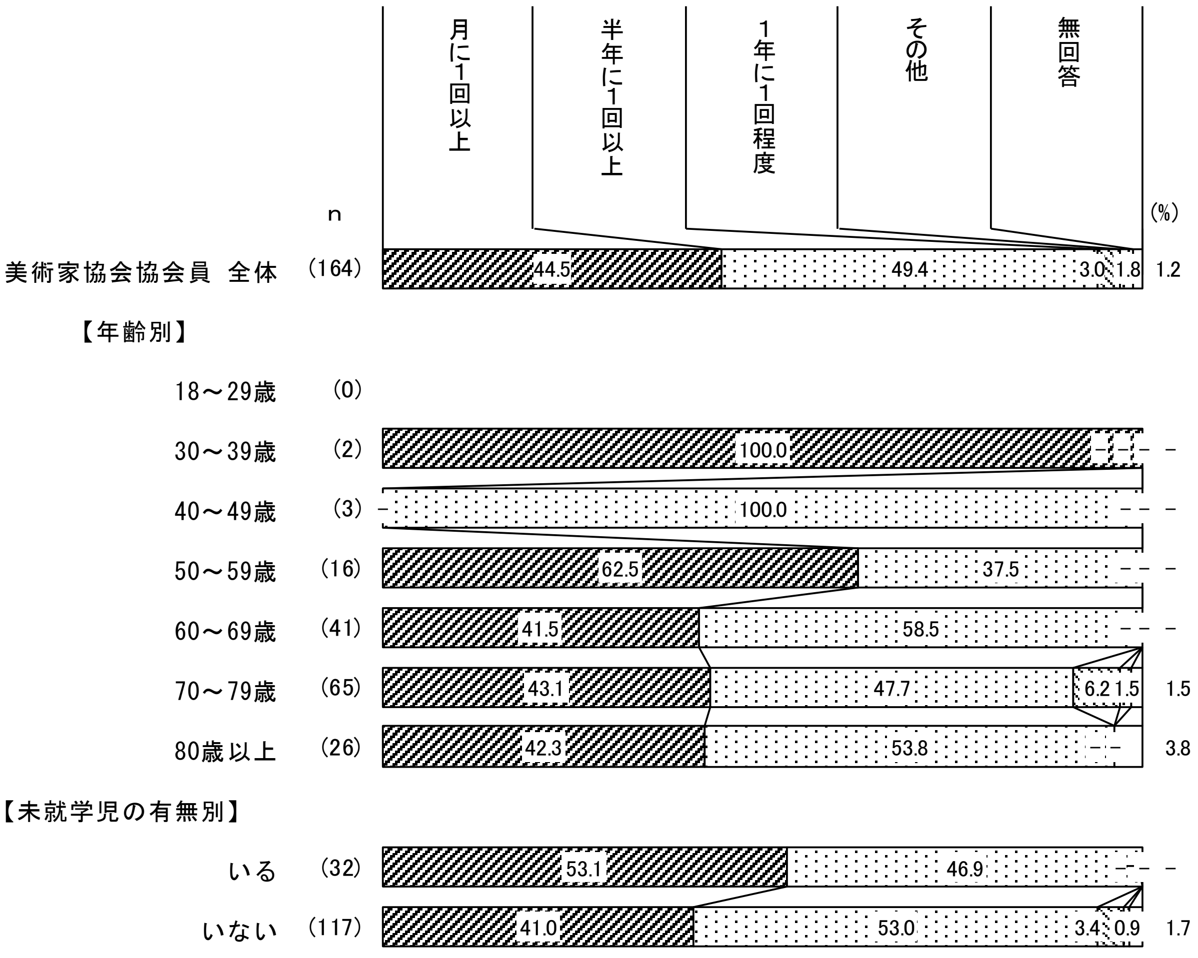
Ｗｅｂ調査（196 人）では、「半年に１回以上」が 55.6％と最も多く、次いで「１年に１回程度」が 32.7％、「月に１回以上」が 7.7％の順となっている。

3-1. 美術館へ行く頻度－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、「月に１回以上」は“未就学児がいる”（53.1％）で５割半ばと、“未就学児はいない”（41.0％）と比べ 12.1 ポイント高くなっている。「半年に１回以上」は“未就学児はいない”（53.0％）で５割半ばと、“未就学児がいる”（46.9％）と比べ 6.1 ポイント高くなっている。

図表 3-1. 美術館へ行く頻度－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）



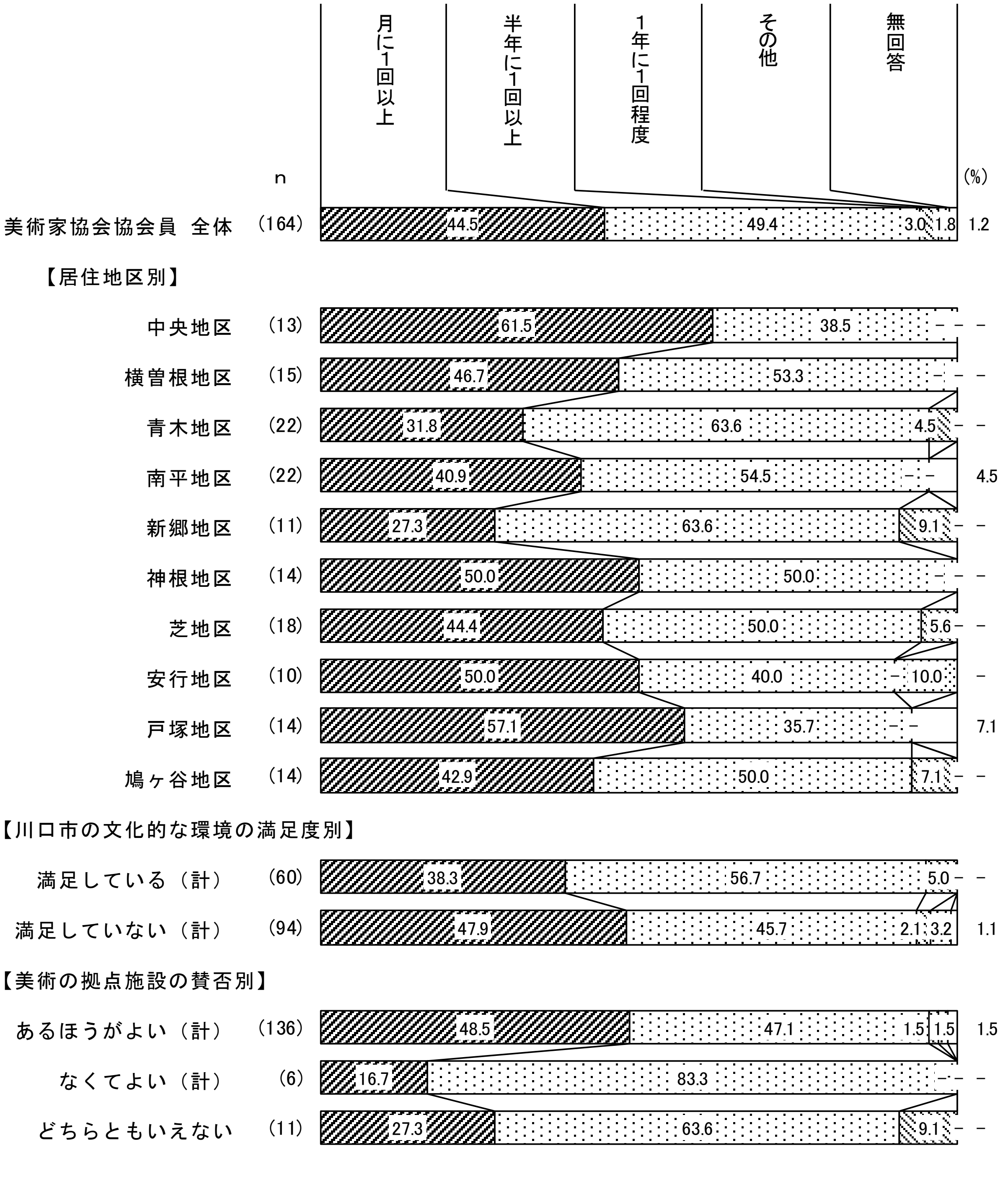
3-2. 美術館へ行く頻度－美術家協会会員－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「月に１回以上」は“満足していない(計)”(47.9%)で５割弱と、“満足している（計)”（38.3%）と比べ 9.6 ポイント高くなっている。「半年に１回以上」は“満足している（計)”（56.7%）で５割半ばと、“満足していない（計)”（45.7%）と比べ 11.0 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 3-2. 美術館へ行く頻度－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

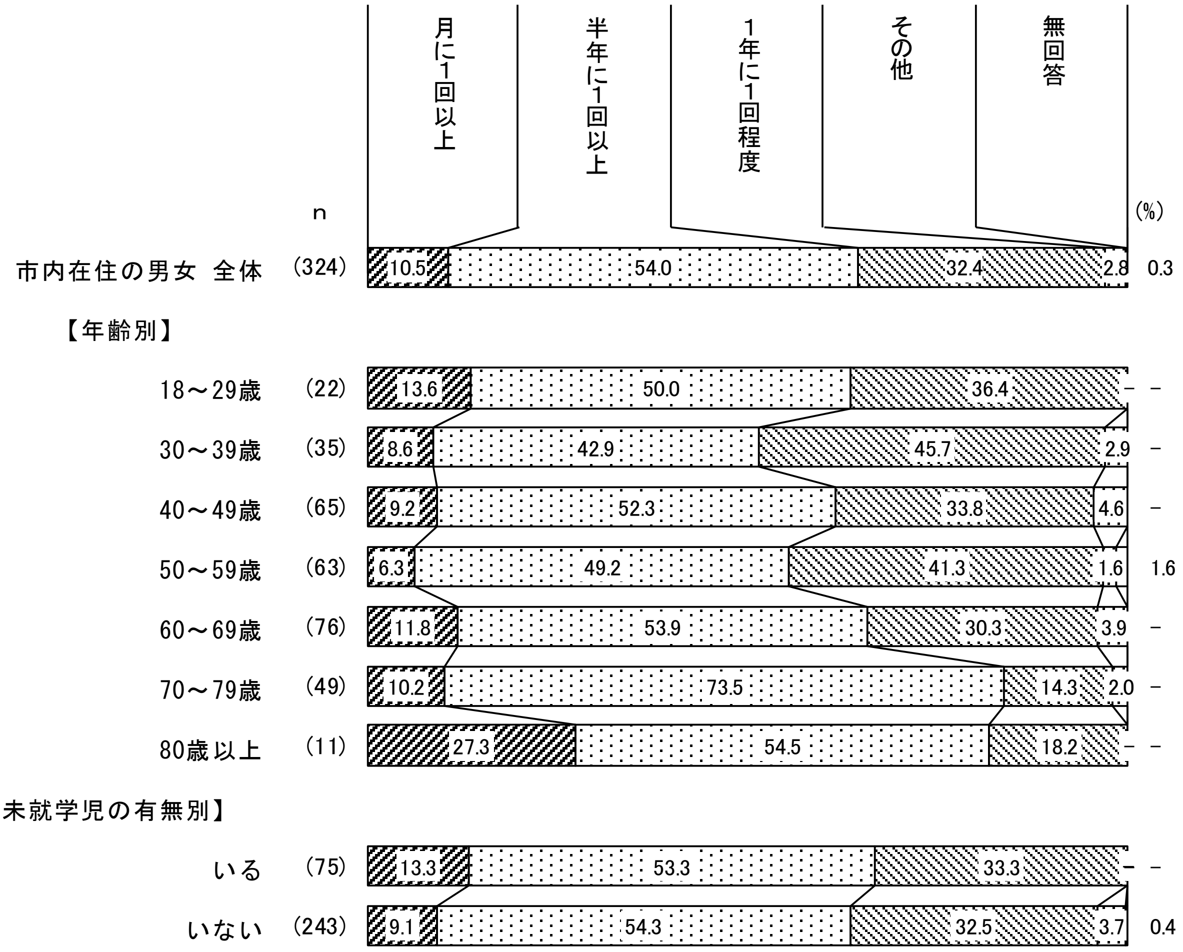


3-3. 美術館へ行く頻度－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「半年に１回以上」は 70～79 歳（73.5％）で７割半ばと、全体（54.0％）と比べ 19.5 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「月に１回以上」は“未就学児がいる”（13.3％）で１割半ばと、“未就学児はいない”（9.1％）と比べ 4.2 ポイント高くなっている。

図表 3-3. 美術館へ行く頻度－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）



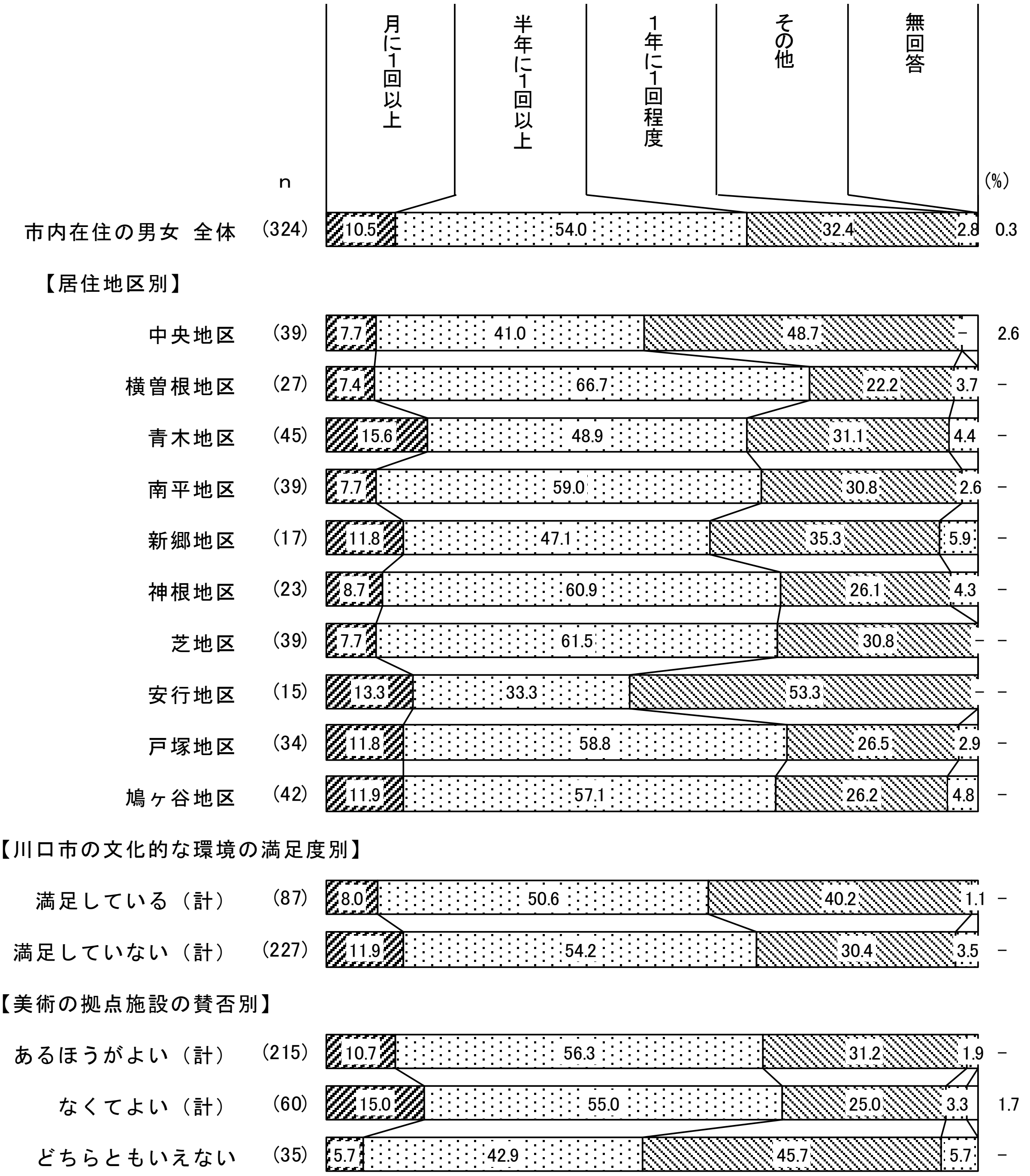
3-4. 美術館へ行く頻度－市内在住の男女－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「月に１回以上」は青木地区（15.6％）で１割半ばと、全体（10.5％）と比べ 5.1 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「１年に１回程度」は“満足している(計)”(40.2％)で約４割と、“満足していない（計)”（30.4％）と比べ 9.8 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「月に１回以上」は“なくてよい（計)”（15.0％）で１割半ばと、“あるほうがよい（計)”（10.7％）と比べ 4.3 ポイント高くなっている。

図表 3-4. 美術館へ行く頻度－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

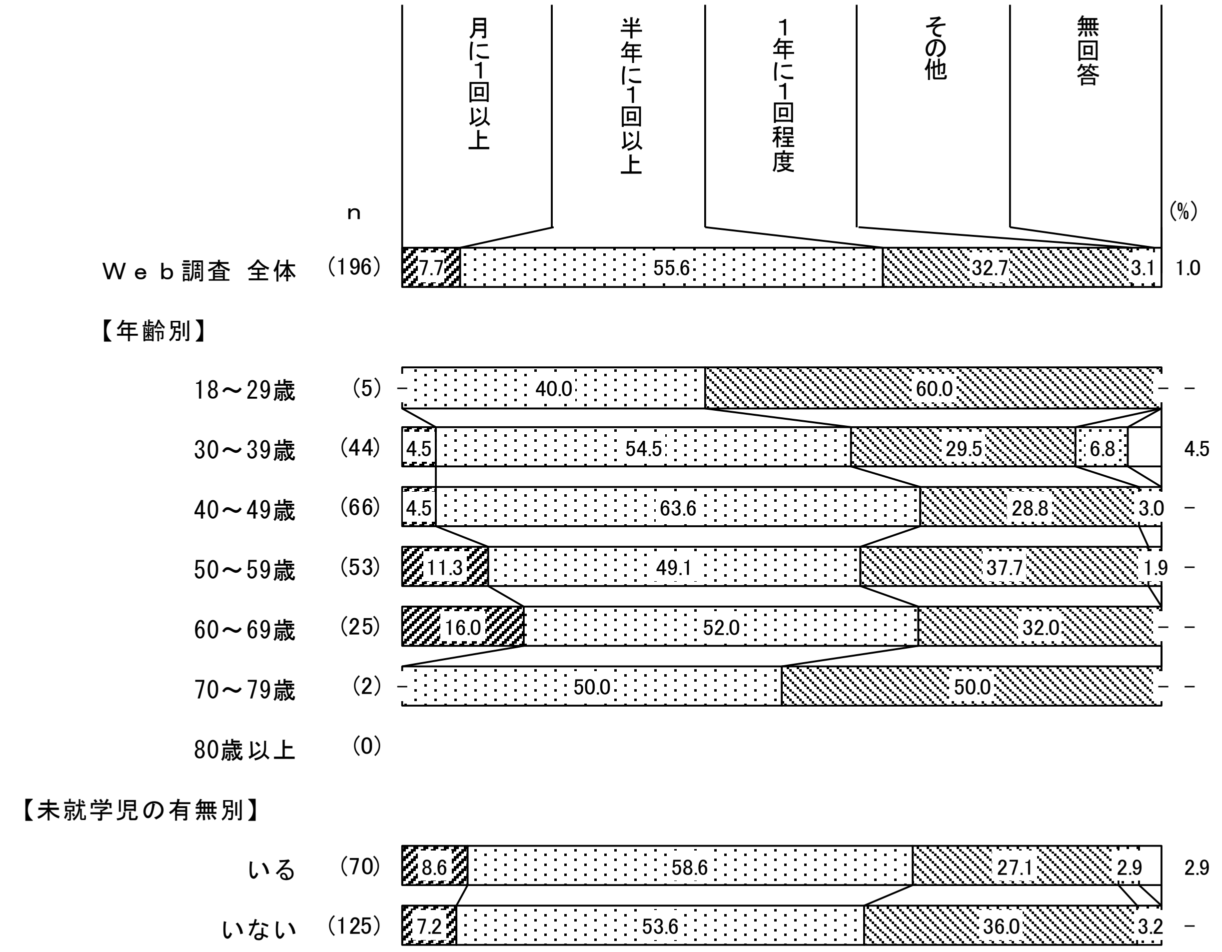


3-5. 美術館へ行く頻度－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「半年に１回以上」は 40～49 歳（63.6%）で６割半ばと、全体（55.6%）と比べ 8.0 ポイント高くなっている。「月に１回以上」は 50～59 歳（11.3%）で１割強と、全体（7.7%）と比べ 3.6 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「半年に１回以上」は“未就学児がいる”（58.6%）で６割弱と、“未就学児はいない”（53.6%）と比べ 5.0 ポイント高くなっている。「１年に１回程度」は“未就学児はいない”（36.0%）で３割半ばと、“未就学児がいる”（27.1%）と比べ 8.9 ポイント高くなっている。

図表 3-5. 美術館へ行く頻度－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）



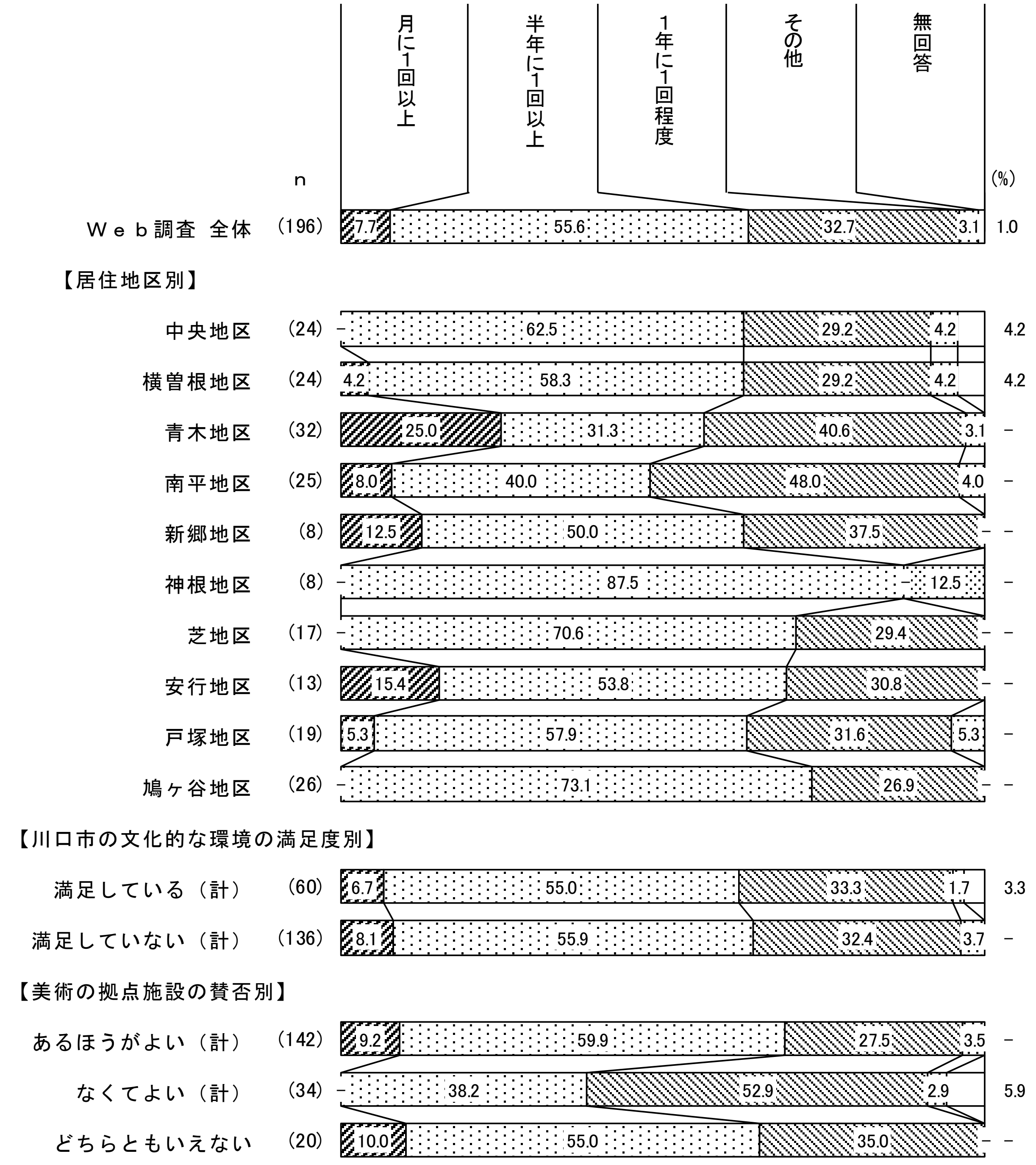
3-6. 美術館へ行く頻度－Ｗｅｂ調査－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「月に１回以上」は青木地区（25.0％）で２割半ばと、全体（7.7％）と比べ 17.3 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、大きな差異はみられない。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「半年に１回以上」は“あるほうがよい（計）”（59.9％）で約６割と、“なくてよい（計）”（38.2％）と比べ 21.7 ポイント高くなっている。「１年に１回程度」は“なくてよい（計）”（52.9％）で５割強と、“あるほうがよい（計）”（27.5％）と比べ 25.4 ポイント高くなっている。

図表 3-6. 美術館へ行く頻度－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

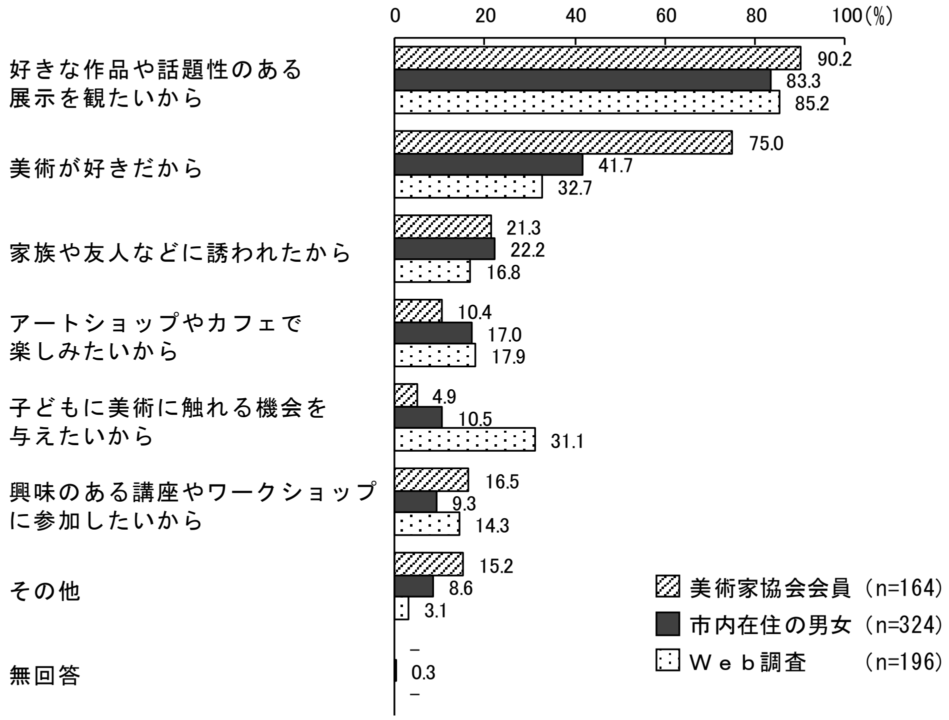


	n	月に1回以上	半年に1回以上	1年に1回程度	その他	無回答 (%)
Ｗｅｂ調査 全体	(196)	7.7	55.6	32.7	3.1	1.0
【居住地区別】						
中央地区	(24)	-	62.5	29.2	4.2	4.2
横曽根地区	(24)	4.2	58.3	29.2	4.2	4.2
青木地区	(32)	25.0	31.3	40.6	3.1	-
南平地区	(25)	8.0	40.0	48.0	4.0	-
新郷地区	(8)	12.5	50.0	37.5	-	-
神根地区	(8)	-	87.5	-	12.5	-
芝地区	(17)	-	70.6	29.4	-	-
安行地区	(13)	15.4	53.8	30.8	-	-
戸塚地区	(19)	5.3	57.9	31.6	5.3	-
鳩ヶ谷地区	(26)	-	73.1	26.9	-	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】						
満足している（計）	(60)	6.7	55.0	33.3	1.7	3.3
満足していない（計）	(136)	8.1	55.9	32.4	3.7	-
【美術の拠点施設の賛否別】						
あるほうがよい（計）	(142)	9.2	59.9	27.5	3.5	-
なくてよい（計）	(34)	-	38.2	52.9	2.9	5.9
どちらともいえない	(20)	10.0	55.0	35.0	-	-

４．美術館へ行く理由

（問２で「１．美術館やギャラリーでの鑑賞」とお答えの方に）
問２－２　美術館やギャラリーへ行くのは、どのような理由からですか。（○いくつでも）

図表４．美術館へ行く理由



この１年間に美術館やギャラリーでの鑑賞をしたと答えた人に、美術館やギャラリーへ行く理由を聞いた。

美術家協会会員（164 人）では、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」が 90.2％と最も多く、次いで「美術が好きだから」が 75.0％、「家族や友人などに誘われたから」が 21.3％、「興味のある講座やワークショップに参加したいから」が 16.5％などの順となっている。

市内在住の男女（324 人）では、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」が 83.3％と最も多く、次いで「美術が好きだから」が 41.7％、「家族や友人などに誘われたから」が 22.2％、「アートショップやカフェで楽しみたいから」が 17.0％などの順となっている。

Ｗｅｂ調査（196 人）では、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」が 85.2％と最も多く、次いで「美術が好きだから」が 32.7％、「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」が 31.1％、「アートショップやカフェで楽しみたいから」が 17.9％などの順となっている。

4-1. 美術館へ行く理由ー美術家協会会員ー（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると､｢美術が好きだから｣は“未就学児がいる”(81.3%) で８割強と、“未就学児はいない”(76.1%) と比べ 5.2 ポイント高くなっている。｢アートショップやカフェで楽しみたいから｣は“未就学児がいる”(15.6%) で１割半ばと､“未就学児はいない”(9.4%) と比べ 6.2 ポイント高くなっている。

図表 4-1. 美術館へ行く理由ー美術家協会会員ー（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	好きな作品や話題性のある展示を観たいから	美術が好きだから	家族や友人などに誘われたから	興味のある講座やワークショップに参加したいから	アートショップやカフェで楽しみたいから	子どもに美術に触れる機会を与えたいから	その他	無回答
美術家協会会員 全体	164	90.2	75.0	21.3	16.5	10.4	4.9	15.2	-
【年齢別】									
18～29歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	2	100.0	100.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-
40～49歳	3	66.7	33.3	66.7	-	-	33.3	33.3	-
50～59歳	16	93.8	75.0	12.5	25.0	12.5	6.3	25.0	-
60～69歳	41	95.1	85.4	26.8	19.5	9.8	7.3	12.2	-
70～79歳	65	86.2	72.3	23.1	16.9	13.8	1.5	15.4	-
80歳以上	26	92.3	80.8	11.5	7.7	3.8	3.8	7.7	-
【未就学児の有無別】									
いる	32	87.5	81.3	21.9	18.8	15.6	6.3	15.6	-
いない	117	90.6	76.1	21.4	17.1	9.4	4.3	15.4	-

4-2. 美術館へ行く理由－美術家協会会員－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「家族や友人などに誘われたから」は“満足している（計)”（25.0％）で２割半ばと、“満足していない（計)”（18.1％）と比べ 6.9 ポイント高くなっている。「興味のある講座やワークショップに参加したいから」は“満足していない（計)”（20.2％）で約２割と、“満足している（計)”（10.0％）と比べ 10.2 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 4-2. 美術館へ行く理由－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	好きな作品や話題性のある展示を観たいから	美術が好きだから	家族や友人などに誘われたから	興味のある講座やワークショップに参加したいから	アートショップやカフェで楽しみたいから	子どもに美術に触れる機会を与えたいから	その他	無回答
美術家協会会員 全体	164	90.2	75.0	21.3	16.5	10.4	4.9	15.2	-
【居住地区別】									
中央地区	13	100.0	69.2	23.1	23.1	7.7	7.7	30.8	-
横曽根地区	15	86.7	73.3	33.3	20.0	20.0	13.3	26.7	-
青木地区	22	90.9	81.8	13.6	18.2	9.1	9.1	9.1	-
南平地区	22	90.9	54.5	9.1	4.5	4.5	-	18.2	-
新郷地区	11	81.8	90.9	18.2	18.2	18.2	-	36.4	-
神根地区	14	92.9	85.7	21.4	50.0	7.1	7.1	14.3	-
芝地区	18	88.9	77.8	16.7	5.6	11.1	5.6	-	-
安行地区	10	90.0	70.0	10.0	20.0	20.0	-	10.0	-
戸塚地区	14	100.0	92.9	57.1	7.1	7.1	7.1	7.1	-
鳩ヶ谷地区	14	78.6	85.7	28.6	14.3	7.1	-	7.1	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】									
満足している（計）	60	88.3	76.7	25.0	10.0	8.3	3.3	13.3	-
満足していない（計）	94	92.6	73.4	18.1	20.2	11.7	6.4	16.0	-
【美術の拠点施設の賛否別】									
あるほうがよい（計）	136	90.4	79.4	22.8	17.6	11.0	5.9	16.2	-
なくてよい（計）	6	100.0	66.7	-	16.7	16.7	-	16.7	-
どちらともいえない	11	90.9	54.5	27.3	-	-	-	18.2	-

4-3. 美術館へ行く理由－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」は 30～39 歳（20.0%）で２割と、全体（10.5%）と比べ 9.5 ポイント高くなっている。「興味のある講座やワークショップに参加したいから」は 18～29 歳（22.7%）で２割強と、全体（9.3%）と比べ 13.4 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」は“未就学児がいる”（25.3%）で２割半ばと、“未就学児はいない”（6.2%）と比べ 19.1 ポイント高くなっている。

図表 4-3. 美術館へ行く理由－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	好きな作品や話題性のある展示を観たいから	美術が好きだから	家族や友人などに誘われたから	アートショップやカフェで楽しみたいから	子どもに美術に触れる機会を与えたいから	興味のある講座やワークショップに参加したいから	その他	無回答
市内在住の男女 全体	324	83.3	41.7	22.2	17.0	10.5	9.3	8.6	0.3
【年齢別】									
18～29歳	22	86.4	45.5	13.6	22.7	-	22.7	13.6	-
30～39歳	35	80.0	42.9	14.3	22.9	20.0	2.9	5.7	-
40～49歳	65	84.6	38.5	15.4	18.5	16.9	10.8	10.8	-
50～59歳	63	85.7	41.3	23.8	15.9	14.3	6.3	9.5	1.6
60～69歳	76	81.6	43.4	28.9	19.7	7.9	10.5	6.6	-
70～79歳	49	79.6	40.8	28.6	8.2	-	4.1	8.2	-
80歳以上	11	90.9	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-
【未就学児の有無別】									
いる	75	77.3	48.0	21.3	16.0	25.3	5.3	2.7	-
いない	243	84.8	39.9	22.6	17.7	6.2	9.9	10.3	0.4

4-4. 美術館へ行く理由－市内在住の男女－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」は青木地区（91.1%）で９割強と、全体（83.3%）と比べ 7.8 ポイント高くなっている。「美術が好きだから」は青木地区（53.3%）で５割半ばと、全体（41.7%）と比べ 11.6 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」は“満足していない（計)”（87.2%）で９割弱と、“満足している（計)”（73.6%）と比べ 13.6 ポイント高くなっている。「美術が好きだから」は“満足していない（計)”（45.4%）で４割半ばと、“満足している（計)”（33.3%）と比べ 12.1 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「美術が好きだから」は“あるほうがよい（計)”（47.0%）で５割弱と、“なくてよい（計)”（31.7%）と比べ 15.3 ポイント高くなっている。「アートショップやカフェで楽しみたいから」は“あるほうがよい（計)”（21.4%）で２割強と、“なくてよい（計)”（6.7%）と比べ 14.7 ポイント高くなっている。

図表 4-4. 美術館へ行く理由－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	好きな作品や話題性のある展示を観たいから	美術が好きだから	家族や友人などに誘われたから	アートショップやカフェで楽しみたいから	子どもに美術に触れる機会を与えたいから	興味のある講座やワークショップに参加したいから	その他	無回答
市内在住の男女 全体	324	83.3	41.7	22.2	17.0	10.5	9.3	8.6	0.3
【居住地区別】									
中央地区	39	84.6	28.2	25.6	2.6	2.6	5.1	5.1	-
横曽根地区	27	88.9	51.9	18.5	18.5	7.4	3.7	7.4	-
青木地区	45	91.1	53.3	15.6	22.2	13.3	13.3	11.1	-
南平地区	39	84.6	35.9	23.1	20.5	15.4	5.1	5.1	-
新郷地区	17	70.6	47.1	35.3	-	5.9	11.8	5.9	-
神根地区	23	73.9	39.1	13.0	-	13.0	13.0	8.7	-
芝地区	39	76.9	35.9	25.6	15.4	15.4	2.6	7.7	-
安行地区	15	80.0	40.0	20.0	33.3	6.7	26.7	13.3	-
戸塚地区	34	82.4	44.1	20.6	29.4	8.8	8.8	14.7	2.9
鳩ヶ谷地区	42	85.7	42.9	23.8	23.8	11.9	9.5	7.1	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】									
満足している（計）	87	73.6	33.3	20.7	12.6	16.1	14.9	9.2	-
満足していない（計）	227	87.2	45.4	22.5	19.4	8.4	7.5	8.4	0.4
【美術の拠点施設の賛否別】									
あるほうがよい（計）	215	84.7	47.0	24.7	21.4	11.6	11.2	8.4	0.5
なくてよい（計）	60	85.0	31.7	15.0	6.7	11.7	6.7	11.7	-
どちらともいえない	35	71.4	34.3	22.9	11.4	5.7	2.9	8.6	-

4-5. 美術館へ行く理由－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」は 40～49 歳（95.5％）で９割半ばと、全体（85.2％）と比べ 10.3 ポイント高くなっている。「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」は 30～39 歳（47.7％）で５割弱と、全体（31.1％）と比べ 16.6 ポイント、40～49 歳（45.5％）で４割半ばと、全体（31.1％）と比べ 14.4 ポイント、それぞれ高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」は“未就学児はいない”（88.8％）で９割弱と、“未就学児がいる”（78.6％）と比べ 10.2 ポイント高くなっている。「美術が好きだから」は“未就学児がいる”（42.9％）で４割強と、“未就学児はいない”（27.2％）と比べ 15.7 ポイント高くなっている。「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」は“未就学児がいる”（58.6％）で６割弱と、“未就学児はいない”（16.0％）と比べ 42.6 ポイント高くなっている。「興味のある講座やワークショップに参加したいから」は“未就学児がいる”（21.4％）で２割強と、“未就学児はいない”（10.4％）と比べ 11.0 ポイント高くなっている。

図表 4-5. 美術館へ行く理由－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

（%）

	n	好きな作品や話題性のある展示を観たいから	美術が好きだから	子どもに美術に触れる機会を与えたいから	アートショップやカフェで楽しみたいから	家族や友人などに誘われたから	興味のある講座やワークショップに参加したいから	その他	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	196	85.2	32.7	31.1	17.9	16.8	14.3	3.1	-
【年齢別】									
18～29歳	5	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-
30～39歳	44	70.5	40.9	47.7	13.6	11.4	22.7	2.3	-
40～49歳	66	95.5	34.8	45.5	18.2	13.6	15.2	3.0	-
50～59歳	53	83.0	30.2	15.1	22.6	22.6	9.4	1.9	-
60～69歳	25	92.0	24.0	-	16.0	24.0	12.0	4.0	-
70～79歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-
【未就学児の有無別】									
いる	70	78.6	42.9	58.6	17.1	18.6	21.4	2.9	-
いない	125	88.8	27.2	16.0	18.4	16.0	10.4	3.2	-

4-6. 美術館へ行く理由－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」は青木地区（68.8%）で７割弱と、全体（85.2%）と比べ 16.4 ポイント低くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」は“満足していない（計)”（87.5%）で９割弱と、“満足している（計)”（80.0%）と比べ 7.5 ポイント高くなっている。「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」は“満足している（計)”（38.3%）で４割弱と、“満足していない（計)”（27.9%）と比べ 10.4 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「美術が好きだから」は“あるほうがよい（計)”（33.1%）で３割半ばと、“なくてよい（計)”（23.5%）と比べ 9.6 ポイント高くなっている。「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」は“なくてよい（計)”（38.2%）で４割弱と、“あるほうがよい（計)”（28.9%）と比べ 9.3 ポイント高くなっている。

図表 4-6. 美術館へ行く理由－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

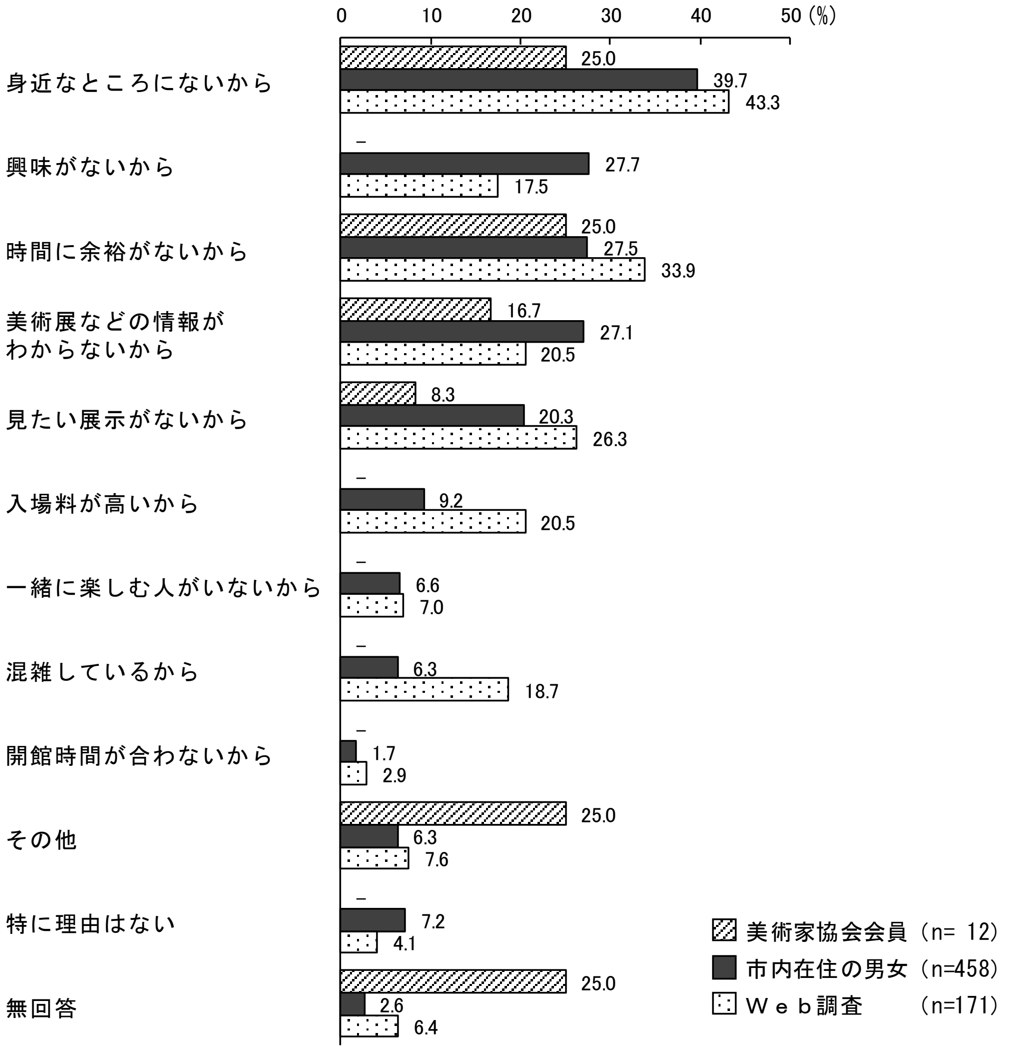
(%)

	n	好きな作品や話題性のある展示を観たいから	美術が好きだから	子どもに美術に触れる機会を与えたいから	アートショップやカフェで楽しみたいから	家族や友人などに誘われたから	興味のある講座やワークショップに参加したいから	その他	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	196	85.2	32.7	31.1	17.9	16.8	14.3	3.1	-
【居住地区別】									
中央地区	24	87.5	20.8	37.5	8.3	20.8	-	-	-
横曽根地区	24	87.5	25.0	29.2	12.5	16.7	12.5	4.2	-
青木地区	32	68.8	31.3	31.3	9.4	9.4	18.8	6.3	-
南平地区	25	84.0	28.0	32.0	24.0	24.0	8.0	8.0	-
新郷地区	8	75.0	62.5	12.5	12.5	25.0	-	-	-
神根地区	8	100.0	25.0	37.5	37.5	-	-	-	-
芝地区	17	94.1	41.2	35.3	29.4	17.6	29.4	-	-
安行地区	13	84.6	23.1	23.1	23.1	23.1	30.8	-	-
戸塚地区	19	89.5	42.1	42.1	21.1	15.8	10.5	-	-
鳩ヶ谷地区	26	92.3	42.3	23.1	19.2	15.4	23.1	3.8	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】									
満足している（計）	60	80.0	33.3	38.3	15.0	11.7	11.7	1.7	-
満足していない（計）	136	87.5	32.4	27.9	19.1	19.1	15.4	3.7	-
【美術の拠点施設の賛否別】									
あるほうがよい（計）	142	84.5	33.1	28.9	19.0	16.9	14.8	2.8	-
なくてよい（計）	34	88.2	23.5	38.2	14.7	11.8	14.7	-	-
どちらともいえない	20	85.0	45.0	35.0	15.0	25.0	10.0	10.0	-

５．美術館へ行かない理由

（この１年間に美術館やギャラリーでの鑑賞をしなかった方に）
問３　あなたがこの１年間に美術館やギャラリーへ行かなかった理由は何ですか。
（○はいくつでも）

図表５．美術館へ行かない理由



この１年間に美術館やギャラリーでの鑑賞をしなかったと答えた人に、その理由を聞いた。

美術家協会会員（12 人）では、「身近なところにないから」、「時間に余裕がないから」がともに 25.0％と多く、「美術展などの情報がわからないから」が 16.7％、「見たい展示がないから」が 8.3％などの順となっている。

市内在住の男女（458 人）では、「身近なところにないから」が 39.7％と最も多く、次いで「興味がないから」が 27.7％、「時間に余裕がないから」が 27.5％、「美術展などの情報がわからないから」が 27.1％などの順となっている。

Ｗｅｂ調査（171 人）では、「身近なところにないから」が 43.3％と最も多く、次いで「時間に余裕がないから」が 33.9％、「見たい展示がないから」が 26.3％、「美術展などの情報がわからないから」が 20.5％などの順となっている。

5-1. 美術館へ行かない理由－美術家協会会員－

（年齢別、未就学児の有無別、居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別 ）

いずれの項目も、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 5-1. 美術館へ行かない理由－美術家協会会員－

（年齢別、未就学児の有無別、居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別 ）

(%)

	n	身近なところにないから	時間に余裕がないから	美術展などの情報がわからないから	見たい展示がないから	入場料が高いから	混雑しているから	一緒に楽しむ人がいないから	開館時間が合わないから	興味がないから	その他	特に理由はない	無回答
美術家協会会員 全体	12	25.0	25.0	16.7	8.3	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0
【年齢別】													
18～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50～59歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～69歳	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	50.0
70～79歳	4	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0
80歳以上	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-
【未就学児の有無別】													
いる	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
いない	8	25.0	37.5	-	12.5	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0
【居住地区別】													
中央地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横曽根地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青木地区	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南平地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新郷地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神根地区	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
芝地区	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0
安行地区	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
戸塚地区	3	33.3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
鳩ヶ谷地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	5	40.0	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満足していない（計）	5	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	60.0	-	20.0
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	10	30.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	20.0	-	30.0
なくてよい（計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
どちらともいえない	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

5-3. 美術館へ行かない理由－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「身近なところにないから」は 80 歳以上(54.8%)で５割半ばと、全体(39.7%)と比べ 15.1 ポイント高くなっている。「時間に余裕がないから」は 40～49 歳（38.9%）で４割弱と、全体（27.5%）と比べ 11.4 ポイント、30～39 歳（36.0%）で３割半ばと、全体（27.5%）と比べ 8.5 ポイント、それぞれ高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「時間に余裕がないから」は“未就学児がいる”（38.7%）で４割弱と、“未就学児はいない”（21.7%）と比べ 17.0 ポイント高くなっている。

図表 5-3. 美術館へ行かない理由－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	身近なところにないから	興味がないから	時間に余裕がないから	美術展などの情報がわからないから	見たい展示がないから	入場料が高いから	一緒に楽しむ人がいないから	混雑しているから	開館時間が合わないから	その他	特に理由はない	無回答
市内在住の男女 全体	458	39.7	27.7	27.5	27.1	20.3	9.2	6.6	6.3	1.7	6.3	7.2	2.6
【年齢別】													
18～29歳	53	47.2	34.0	30.2	34.0	20.8	1.9	11.3	7.5	1.9	1.9	7.5	1.9
30～39歳	100	42.0	32.0	36.0	30.0	24.0	10.0	2.0	5.0	4.0	10.0	5.0	1.0
40～49歳	90	32.2	25.6	38.9	24.4	25.6	7.8	5.6	5.6	-	6.7	4.4	3.3
50～59歳	65	46.2	29.2	20.0	18.5	24.6	21.5	6.2	7.7	1.5	1.5	10.8	1.5
60～69歳	48	29.2	31.3	25.0	27.1	10.4	6.3	6.3	2.1	2.1	6.3	10.4	2.1
70～79歳	66	33.3	25.8	15.2	25.8	19.7	7.6	7.6	13.6	1.5	7.6	10.6	1.5
80歳以上	31	54.8	9.7	3.2	35.5	3.2	-	16.1	-	-	9.7	3.2	9.7
【未就学児の有無別】													
いる	150	39.3	30.7	38.7	24.7	18.7	6.7	5.3	4.0	0.7	10.7	4.0	2.7
いない	300	39.3	27.0	21.7	28.3	21.3	9.7	7.3	7.7	2.3	4.0	8.7	2.3

5-4. 美術館へ行かない理由－市内在住の男女－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「身近なところにないから」は安行地区(57.1%)で６割弱と、全体(39.7%)と比べ 17.4 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「身近なところにないから」は“満足していない（計)”（51.8%）で５割強と、“満足している（計)”（25.7%）と比べ 26.1 ポイント高くなっている。「美術展などの情報がわからないから」は“満足していない（計)”（34.9%）で３割半ばと、“満足している（計)”（17.3%）と比べ 17.6 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「身近なところにないから」は“あるほうがよい（計)”（54.3%）で５割半ばと、“なくてよい（計)”（17.7%）と比べ 36.6 ポイント高くなっている。「美術展などの情報がわからないから」は“あるほうがよい（計)”（33.8%）で３割半ばと、“なくてよい（計)”（13.3%）と比べ 20.5 ポイント高くなっている。

図表 5-4. 美術館へ行かない理由－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	身近なところにないから	興味がないから	時間に余裕がないから	美術展などの情報がわからないから	見たい展示がないから	入場料が高いから	一緒に楽しむ人がいないから	混雑しているから	開館時間が合わないから	その他	特に理由はない	無回答
市内在住の男女 全体	458	39.7	27.7	27.5	27.1	20.3	9.2	6.6	6.3	1.7	6.3	7.2	2.6
【居住地区別】													
中央地区	25	32.0	40.0	32.0	32.0	24.0	12.0	4.0	8.0	-	-	12.0	-
横曽根地区	42	28.6	33.3	21.4	23.8	23.8	4.8	7.1	2.4	-	4.8	4.8	4.8
青木地区	50	40.0	18.0	30.0	26.0	20.0	12.0	6.0	10.0	2.0	8.0	4.0	6.0
南平地区	49	34.7	34.7	26.5	22.4	24.5	10.2	8.2	4.1	2.0	10.2	6.1	2.0
新郷地区	30	33.3	36.7	16.7	26.7	30.0	10.0	10.0	-	-	-	6.7	3.3
神根地区	42	42.9	21.4	23.8	35.7	11.9	7.1	9.5	2.4	2.4	9.5	7.1	2.4
芝地区	71	38.0	28.2	35.2	25.4	12.7	11.3	4.2	11.3	-	7.0	7.0	1.4
安行地区	35	57.1	17.1	28.6	28.6	25.7	2.9	5.7	8.6	2.9	14.3	11.4	2.9
戸塚地区	56	37.5	23.2	26.8	28.6	21.4	8.9	8.9	5.4	1.8	5.4	8.9	1.8
鳩ヶ谷地区	52	48.1	32.7	25.0	26.9	19.2	7.7	1.9	7.7	5.8	1.9	7.7	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	179	25.7	34.1	31.8	17.3	20.1	9.5	7.8	3.9	1.1	5.0	7.8	2.8
満足していない（計）	249	51.8	20.1	26.1	34.9	21.3	9.6	6.4	8.4	2.0	7.6	6.8	2.4
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	219	54.3	8.2	30.1	33.8	18.3	8.7	9.1	9.6	2.3	9.1	5.0	3.7
なくてよい（計）	113	17.7	57.5	28.3	13.3	23.0	9.7	2.7	3.5	0.9	4.4	8.0	2.7
どちらともいえない	92	34.8	40.2	23.9	26.1	26.1	10.9	4.3	2.2	-	1.1	10.9	1.1

5-5. 美術館へ行かない理由－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「身近なところにないから」は 40～49 歳（51.6％）で５割強と、全体（43.3％）と比べ 8.3 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「入場料が高いから」は“未就学児はいない”（29.5％）で約３割と、“未就学児がいる”（9.2％）と比べ 20.3 ポイント高くなっている。

図表 5-5. 美術館へ行かない理由－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

（％）

	n	身近なところにないから	時間に余裕がないから	見たい展示がないから	入場料が高いから	美術展などの情報がわからないから	混雑しているから	興味がないから	一緒に楽しむ人がいないから	開館時間が合わないから	その他	特に理由はない	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	171	43.3	33.9	26.3	20.5	20.5	18.7	17.5	7.0	2.9	7.6	4.1	6.4
【年齢別】													
18～29歳	5	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	40.0
30～39歳	52	34.6	38.5	17.3	9.6	15.4	9.6	19.2	5.8	3.8	13.5	3.8	9.6
40～49歳	64	51.6	28.1	31.3	18.8	18.8	28.1	14.1	7.8	3.1	6.3	3.1	3.1
50～59歳	40	40.0	42.5	32.5	35.0	22.5	15.0	22.5	7.5	2.5	5.0	5.0	-
60～69歳	10	60.0	30.0	20.0	30.0	50.0	20.0	10.0	-	-	-	-	20.0
70～79歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【未就学児の有無別】													
いる	76	39.5	32.9	22.4	9.2	18.4	15.8	17.1	3.9	2.6	14.5	3.9	9.2
いない	95	46.3	34.7	29.5	29.5	22.1	21.1	17.9	9.5	3.2	2.1	4.2	4.2

5-6. 美術館へ行かない理由－Ｗｅｂ調査－（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「身近なところにないから」は“満足していない（計）”（53.1％）で５割半ばと、“満足している（計）”（24.6％）と比べ 28.5 ポイント高くなっている。「時間に余裕がないから」は“満足していない（計）”（42.5％）で４割強と、“満足している（計）”（17.5％）と比べ 25.0 ポイント高くなっている。一方、「興味がないから」は“満足している（計）”（35.1％）で３割半ばと、“満足していない（計）”（8.8％）と比べ 26.3 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「身近なところにないから」は“あるほうがよい（計）”（53.5％）で５割半ばと、“なくてよい（計）”（20.0％）と比べ 33.5 ポイント高くなっている。「美術展などの情報がわからないから」は“あるほうがよい（計）”（27.3％）で３割弱と、“なくてよい（計）”（8.0％）と比べ 19.3 ポイント高くなっている。一方、「興味がないから」は“なくてよい（計）”（38.0％）で４割弱と、“あるほうがよい（計）”（5.1％）と比べ 32.9 ポイント高くなっている。

図表 5-6. 美術館へ行かない理由－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	身近なところにないから	時間に余裕がないから	見たい展示がないから	入場料が高いから	美術展などの情報がわからないから	混雑しているから	興味がないから	一緒に楽しむ人がいないから	開館時間が合わないから	その他	特に理由はない	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	171	43.3	33.9	26.3	20.5	20.5	18.7	17.5	7.0	2.9	7.6	4.1	6.4
【居住地区別】													
中央地区	17	11.8	29.4	5.9	23.5	-	29.4	29.4	5.9	-	17.6	17.6	-
横曽根地区	17	35.3	29.4	41.2	11.8	35.3	29.4	11.8	11.8	5.9	-	-	5.9
青木地区	22	31.8	40.9	31.8	27.3	27.3	13.6	13.6	4.5	9.1	13.6	4.5	-
南平地区	19	47.4	15.8	26.3	15.8	26.3	10.5	21.1	5.3	-	5.3	5.3	5.3
新郷地区	12	75.0	33.3	16.7	8.3	16.7	25.0	8.3	-	-	8.3	-	8.3
神根地区	17	41.2	23.5	35.3	17.6	29.4	5.9	23.5	11.8	11.8	5.9	-	11.8
芝地区	14	57.1	50.0	28.6	21.4	28.6	7.1	28.6	7.1	-	7.1	-	-
安行地区	10	60.0	10.0	40.0	30.0	20.0	30.0	-	-	-	10.0	10.0	-
戸塚地区	21	52.4	42.9	28.6	33.3	14.3	33.3	14.3	9.5	-	-	-	9.5
鳩ヶ谷地区	22	40.9	50.0	13.6	13.6	9.1	9.1	18.2	9.1	-	9.1	4.5	18.2
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	57	24.6	17.5	28.1	15.8	15.8	8.8	35.1	7.0	3.5	1.8	10.5	7.0
満足していない（計）	113	53.1	42.5	25.7	23.0	23.0	23.9	8.8	7.1	2.7	10.6	0.9	5.3
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	99	53.5	36.4	24.2	22.2	27.3	22.2	5.1	7.1	5.1	11.1	3.0	6.1
なくてよい（計）	50	20.0	26.0	30.0	18.0	8.0	12.0	38.0	-	-	4.0	8.0	10.0
どちらともいえない	22	50.0	40.9	27.3	18.2	18.2	18.2	27.3	22.7	-	-	-	-

６．美術に関する好きな作家や作品

問４　美術に関し、好きな作家や作品、ジャンル（例：絵画、彫刻、写真、映像、アニメなど）をご記入ください。

図表６．美術に関する好きな作家や作品

順位	美術家協会会員	件数
1	絵画	74
2	彫刻	22
3	写真	20
4	工芸	17
4	書道	17
6	モネ	15
7	日本画	12
8	ルノワール	9
9	ゴッホ	8
10	水彩	7
11	印象派	6
12	東山魁夷	5
13	風景	4
13	セザンヌ	4
13	油彩	4
13	平山郁夫	4
17	陶芸	3
17	シャガール	3
17	油絵	3
17	版画	3
21	映像	2
21	仏像	2
21	ピカソ	2
21	フェルメール	2
21	ガラス	2
21	映画	2
21	ターナー	2
21	写実	2
21	葛飾北斎	2
21	横山大観	2

順位	市内在住の男女	件数
1	絵画	268
2	写真	115
3	アニメ	57
4	彫刻	54
5	映像	43
6	モネ	32
7	ルノワール	25
8	風景	18
9	ゴッホ	17
10	印象派	14
10	仏像	14
12	フェルメール	11
13	書道	10
13	日本画	10
13	シャガール	10
13	ジブリ	10
17	工芸	9
17	現代アート	9
19	ピカソ	8
19	相田みつを	8
21	陶芸	7
21	セザンヌ	7
21	ミュシャ	7
21	草間彌生	7
21	東山魁夷	7

順位	Ｗｅｂ調査	件数
1	絵画	165
2	写真	89
3	彫刻	40
4	映像	38
5	アニメ	29
6	工芸	13
7	モネ	12
8	ゴッホ	11
9	日本画	9
10	仏像	8
11	ルノワール	7
11	書道	7
13	現代アート	6
13	浮世絵	6
15	印象派	5
15	陶芸	5
15	ピカソ	5
15	油絵	5
15	映画	5
15	伊藤若冲	5
21	風景	4
21	マンガ	4

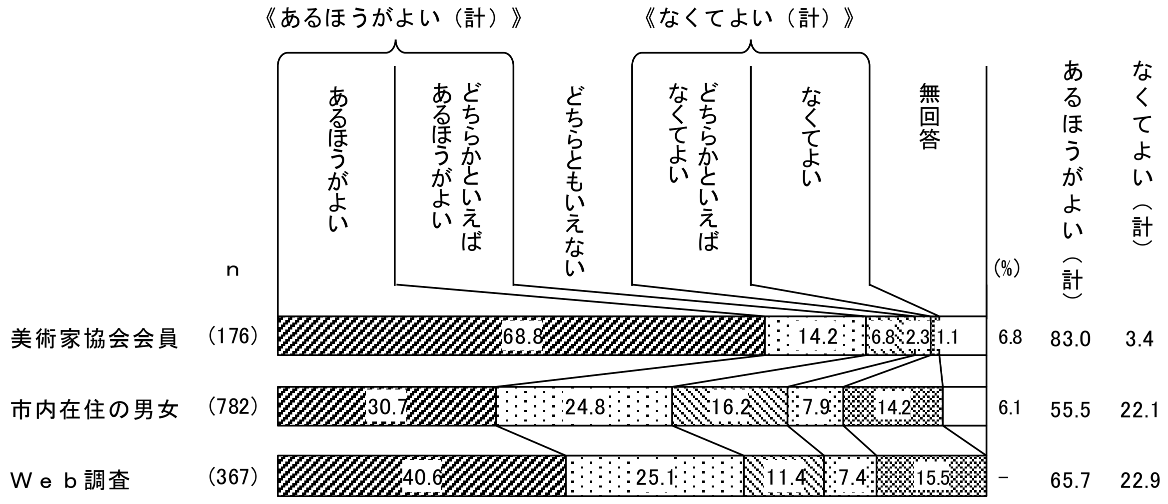
美術に関し、好きな作家や作品、ジャンルを聞いた。

美術家協会会員、市内在住の男女、Ｗｅｂ調査のいずれも「絵画」が最も多く、次いで美術家協会会員は「彫刻」、市内在住の男女、Ｗｅｂ調査はともに「写真」となっている。

７．美術の拠点としての施設

問５　川口市には音楽の拠点としての施設「川口総合文化センター・リリア」がありますが、美術の拠点としての施設もあるほうがよいと思いますか。（○は１つ）

図表７．美術の拠点としての施設



川口市に美術の拠点としての施設があるほうがよいと思うか聞いた。

美術家協会会員では、「あるほうがよい」が 68.8％、「どちらかといえばあるほうがよい」が 14.2％で、この２項目を合わせた『あるほうがよい（計）』が 83.0％となっている。一方、「どちらかといえばなくてよい」が 2.3％、「なくてよい」が 1.1％で、この２項目を合わせた『なくてよい（計）』が 3.4％となっている。

市内在住の男女では、「あるほうがよい」が 30.7％、「どちらかといえばあるほうがよい」が 24.8％で、この２項目を合わせた『あるほうがよい（計）』が 55.5％となっている。一方、「どちらかといえばなくてよい」が 7.9％、「なくてよい」が 14.2％で、この２項目を合わせた『なくてよい（計）』が 22.1％となっている。

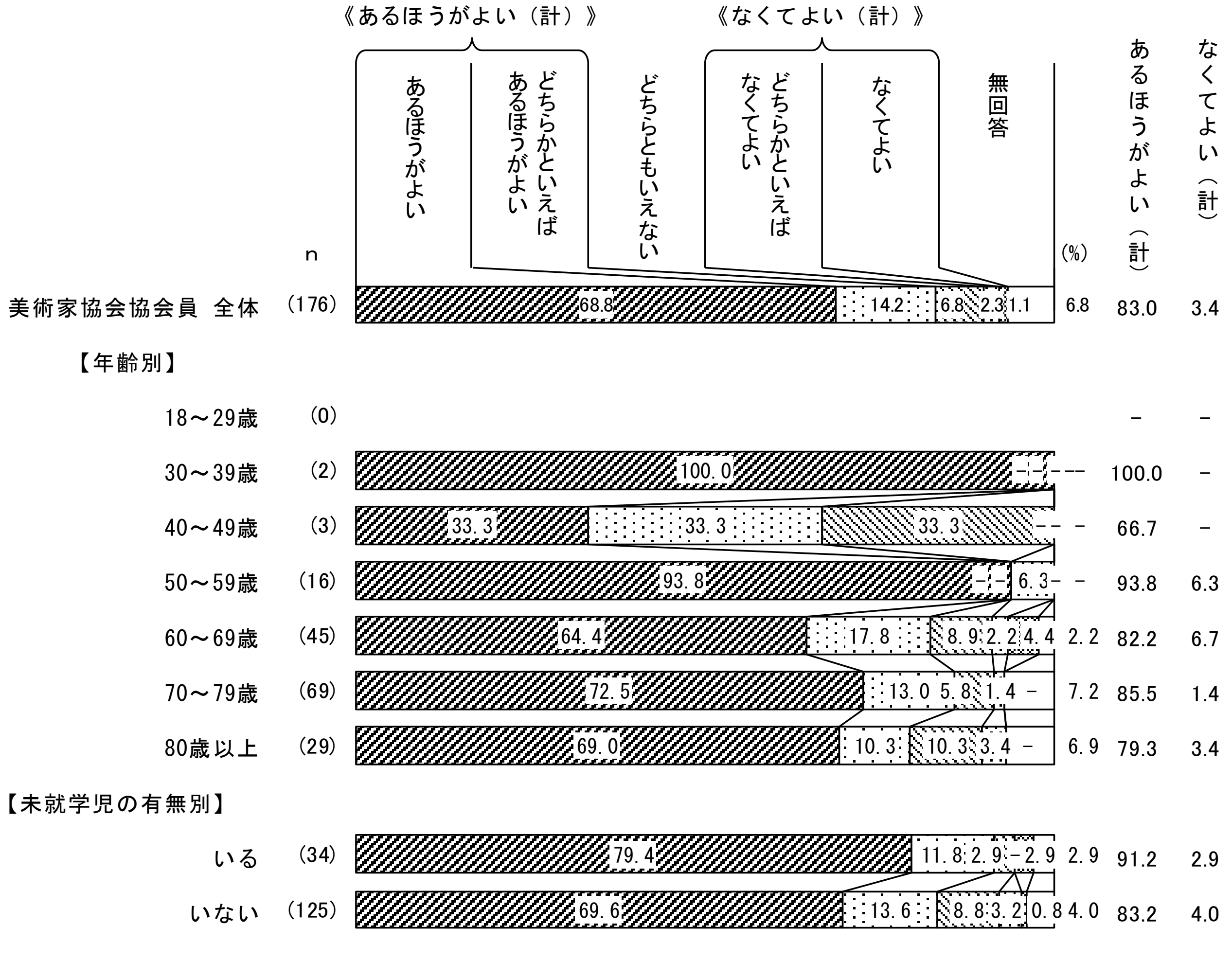
Ｗｅｂ調査では、「あるほうがよい」が 40.6％、「どちらかといえばあるほうがよい」が 25.1％で、この２項目を合わせた『あるほうがよい（計）』が 65.7％となっている。一方、「どちらかといえばなくてよい」が 7.4％、「なくてよい」が 15.5％で、この２項目を合わせた『なくてよい（計）』が 22.9％となっている。

7-1. 美術の拠点としての施設ー美術家協会会員ー（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、『あるほうがよい（計)』は“未就学児がいる”（91.2%）で９割強と、“未就学児はいない”（83.2%）と比べ8.0ポイント高くなっている。

図表 7-1. 美術の拠点としての施設ー美術家協会会員ー（年齢別、未就学児の有無別）

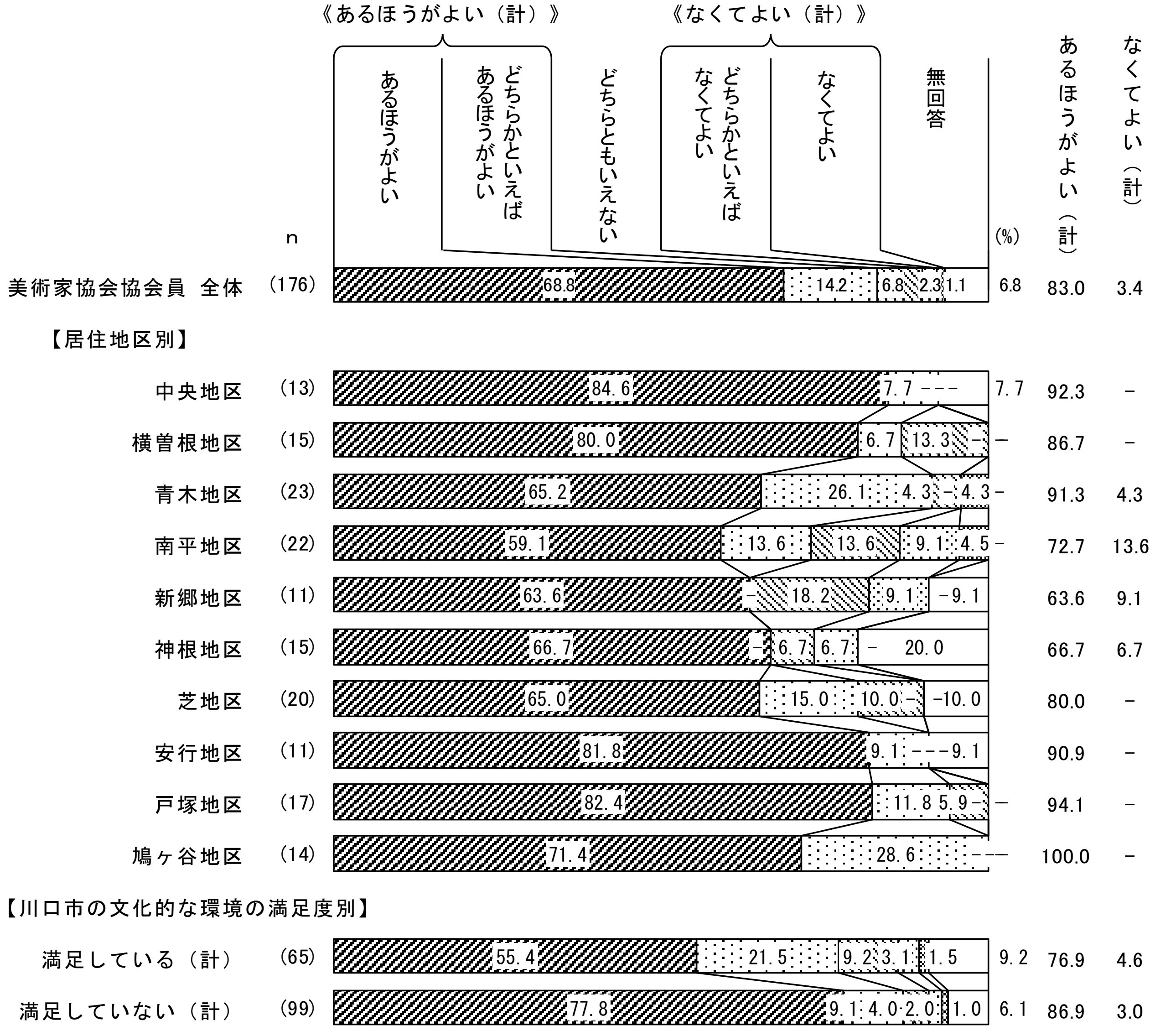


7-2. 美術の拠点としての施設－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別）

居住地区別は、回答者数（n）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、『あるほうがよい（計）』は“満足していない（計）”（86.9%）で８割半ばと、“満足している（計）”（76.9%）と比べ 10.0 ポイント高くなっている。

図表 7-2. 美術の拠点としての施設－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別）

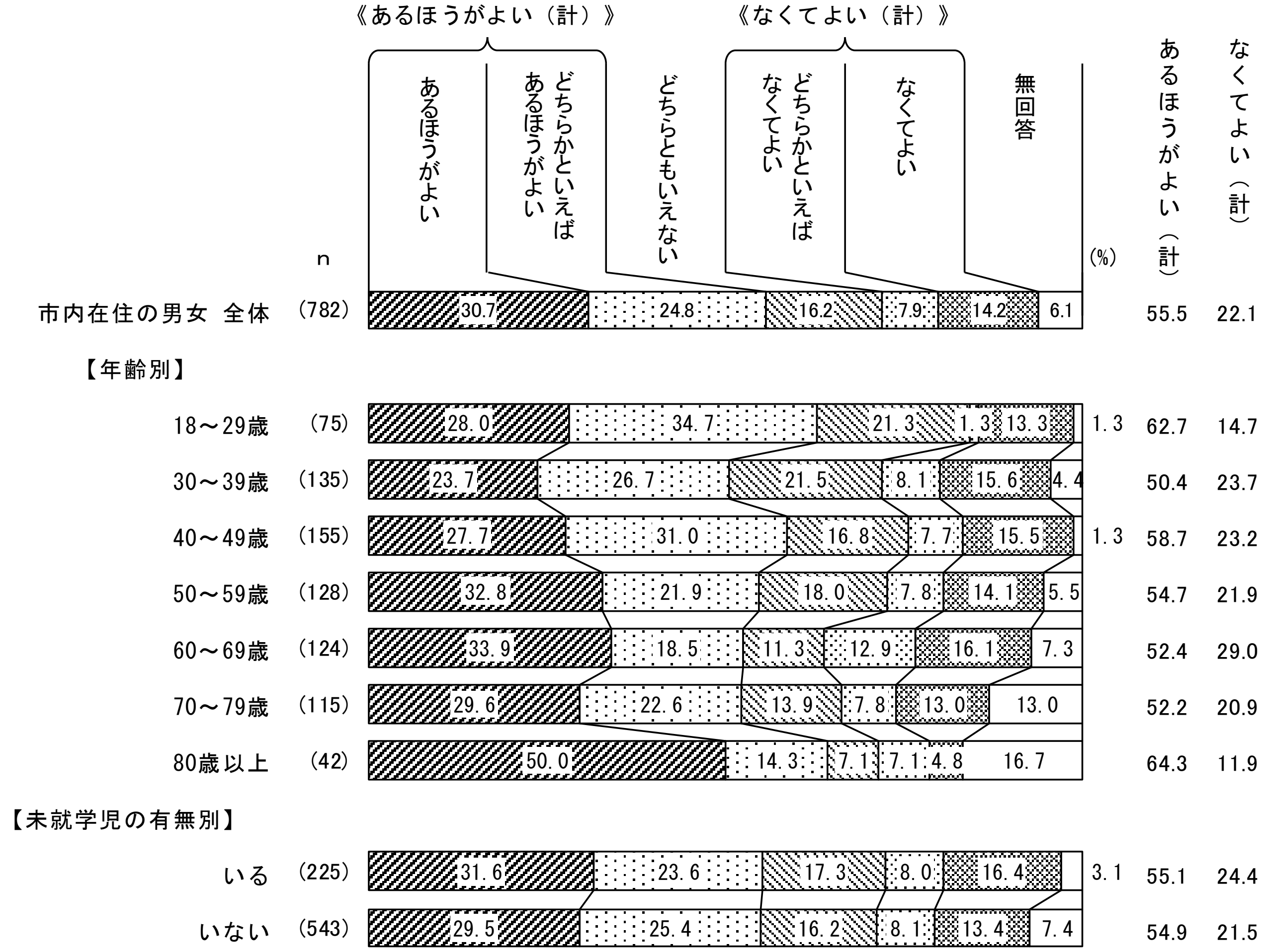


7-3. 美術の拠点としての施設－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、『あるほうがよい（計）』は 80 歳以上（64.3%）で 6 割半ばと、全体（55.5%）と比べ 8.8 ポイント、18～29 歳（62.7%）で 6 割強と、全体（55.5%）と比べ 7.2 ポイント、それぞれ高くなっている。

未就学児の有無別にみると、大きな差異はみられない。

図表 7-3. 美術の拠点としての施設－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

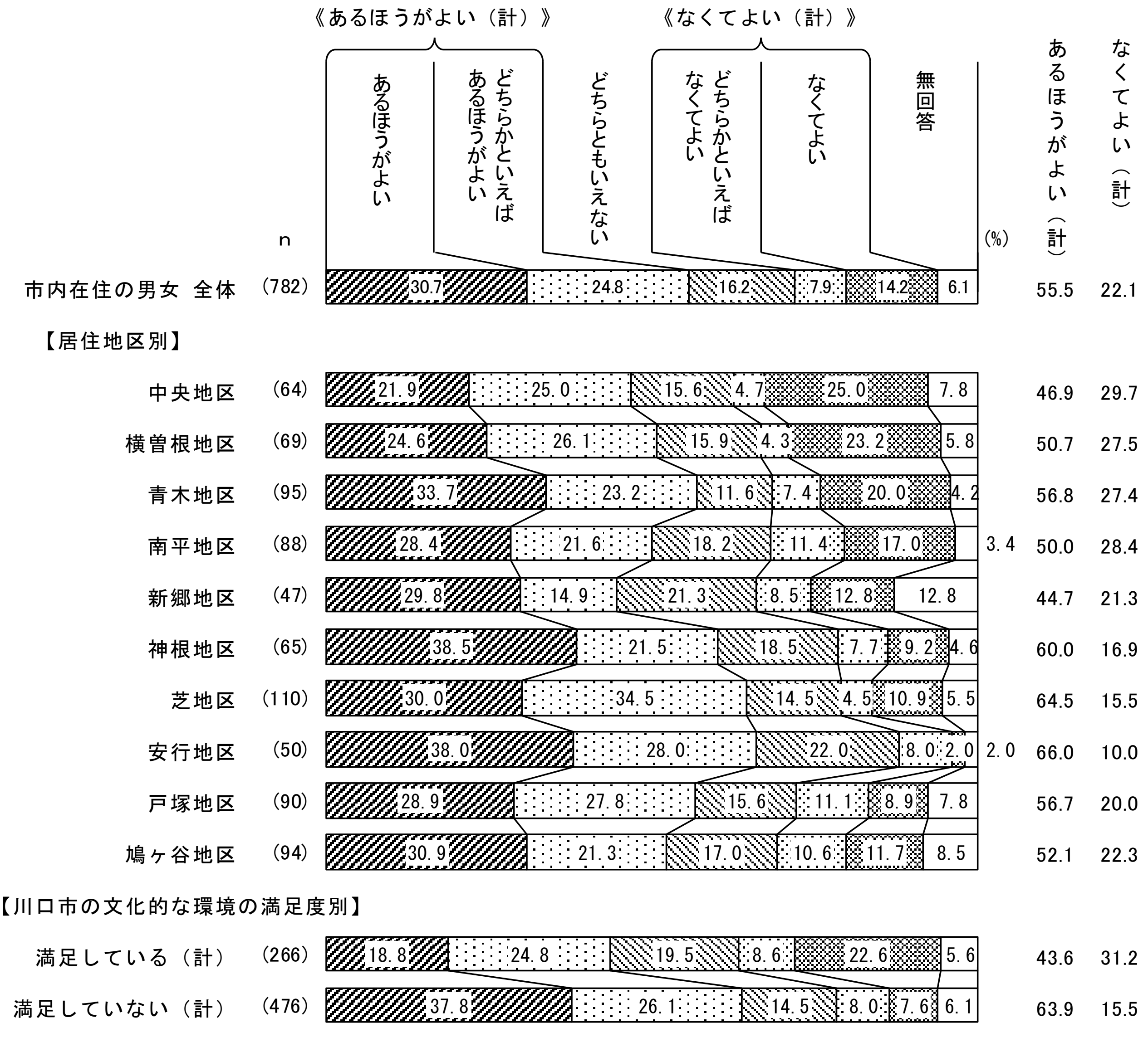


7-4. 美術の拠点としての施設－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別）

居住地区別にみると、『あるほうがよい(計)』は安行地区(66.0%)で６割半ばと、全体(55.5%)と比べ 10.5 ポイント、芝地区（64.5%）で６割半ばと、全体（55.5%）と比べ 9.0 ポイント、それぞれ高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、『あるほうがよい(計)』は“満足していない(計)”(63.9%)で６割半ばと、“満足している(計)”(43.6%)と比べ 20.3 ポイント高くなっている。

図表 7-4. 美術の拠点としての施設－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別）

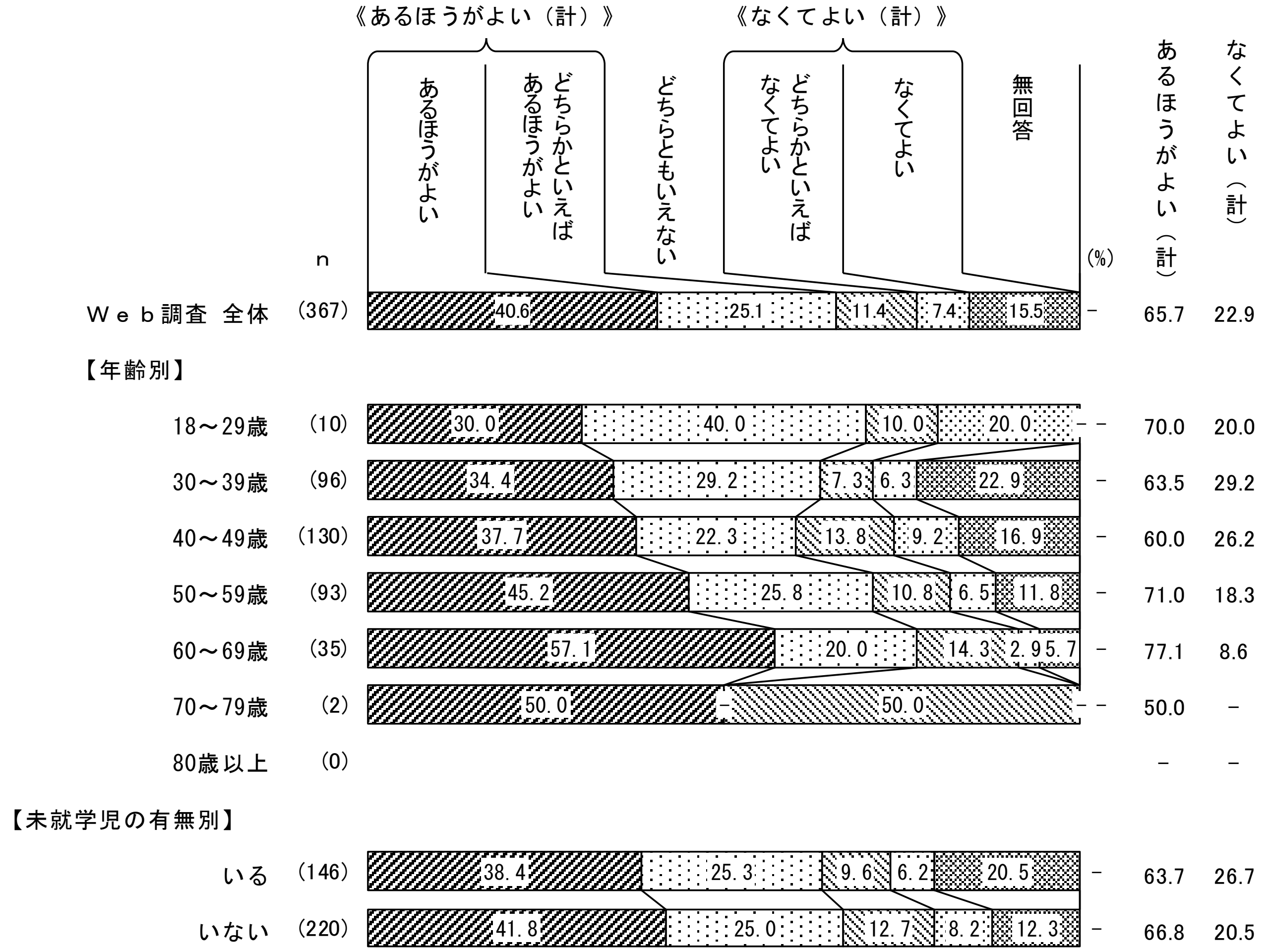


7-5. 美術の拠点としての施設－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、『あるほうがよい（計)』は 60～69 歳（77.1％）で８割弱と、全体（65.7％）と比べ 11.4 ポイント、50～59 歳（71.0％）で７割強と、全体（65.7％）と比べ 5.3 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『なくてよい（計)』は 30～39 歳（29.2％）で約３割と、全体（22.9％）と比べ 6.3 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、『あるほうがよい（計)』は“未就学児はいない”（66.8％）で６割半ばと、“未就学児がいる”（63.7％）と比べ 3.1 ポイント高くなっている。一方、『なくてよい（計)』は“未就学児がいる”（26.7％）で２割半ばと、“未就学児はいない”（20.5％）と比べ 6.2 ポイント高くなっている。

図表 7-5. 美術の拠点としての施設－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

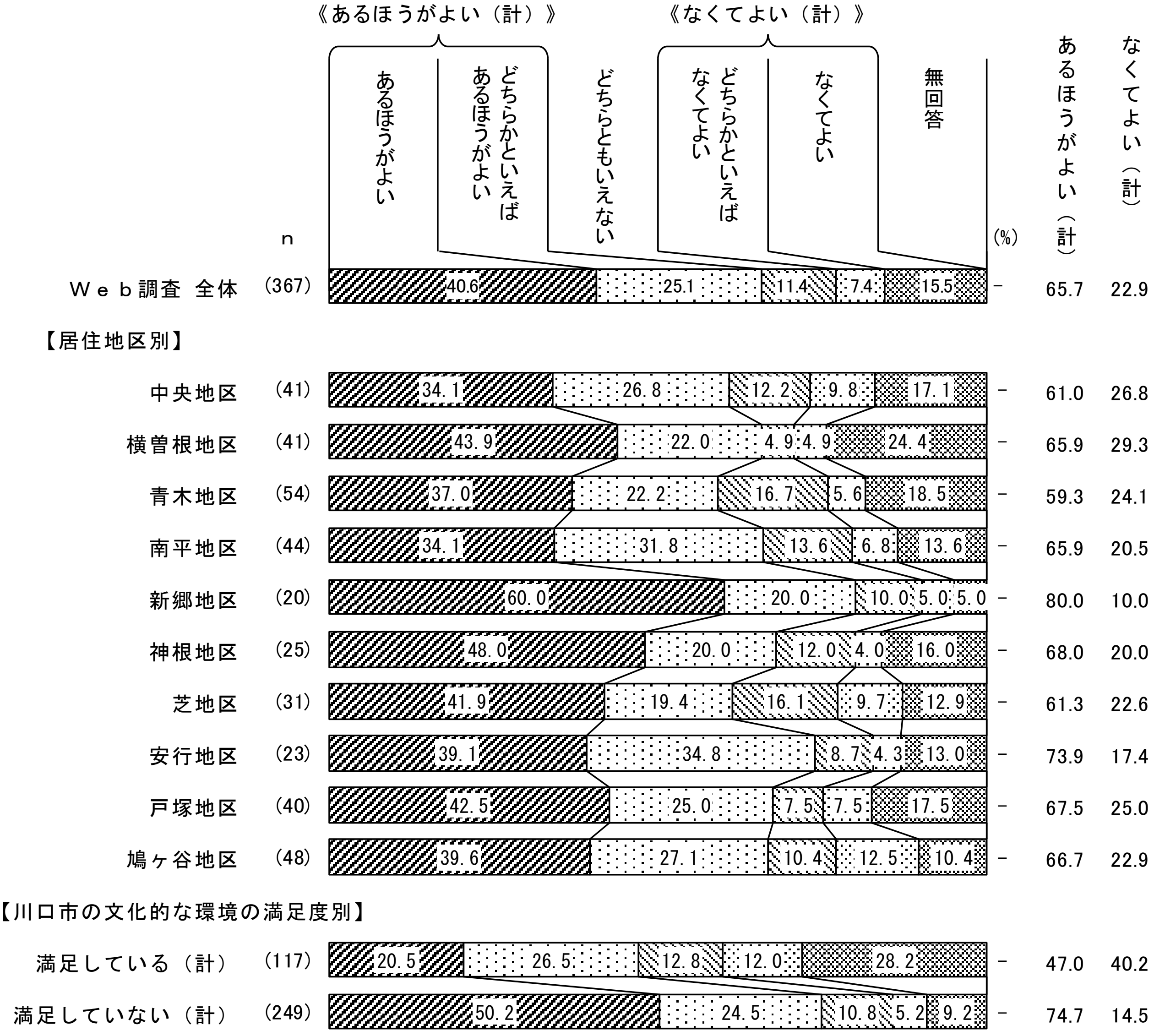


7-6. 美術の拠点としての施設－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別）

居住地区別にみると、大きな差異はみられない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、『あるほうがよい（計）』は“満足していない（計）”（74.7%）で７割半ばと、“満足している（計）”（47.0%）と比べ 27.7 ポイント高くなっている。一方、『なくてよい（計）』は“満足している（計）”（40.2%）で約４割と、“満足していない（計）”（14.5%）と比べ 25.7 ポイント高くなっている。

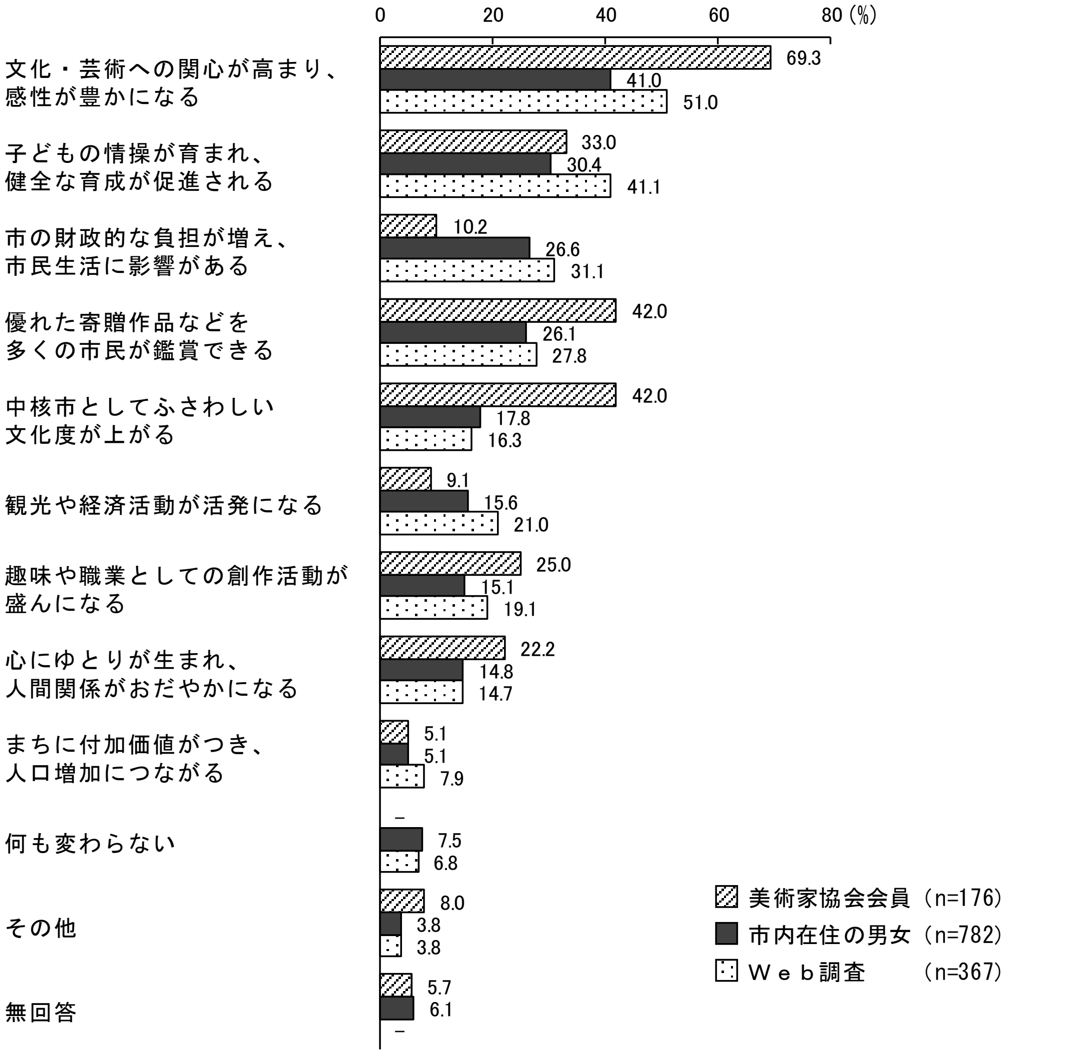
図表 7-6. 美術の拠点としての施設－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別）



８．美術館建設の影響

問６　川口市内に美術館をつくる場合、あなたも含め、市民の意識や活動はどのように変化し、まちにどのような影響があると考えますか。（○は３つまで）

図表８．美術館建設の影響



川口市内に美術館をつくる場合、市民の意識や活動はどのように変化し、まちにどのような影響があると考えるか聞いた。

美術家協会会員では、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」が 69.3％と最も多く、次いで「優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる」、「中核市としてふさわしい文化度が上がる」がともに 42.0％などの順となっている。

市内在住の男女では、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」が 41.0％と最も多く、次いで「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」が 30.4％、「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」が 26.6％などの順となっている。

Ｗｅｂ調査では、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」が 51.0％と最も多く、次いで「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」が 41.1％、「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」が 31.1％などの順となっている。

8-1. 美術館建設の影響－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は“未就学児はいない”（73.6％）で７割半ばと、“未就学児がいる”（64.7％）と比べ 8.9 ポイント高くなっている。「趣味や職業としての創作活動が盛んになる」は“未就学児がいる”（35.3％）で３割半ばと、“未就学児はいない”（23.2％）と比べ 12.1 ポイント高くなっている。

図表 8-1. 美術館建設の影響－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる	優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる	中核市としてふさわしい文化度が上がる	子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される	趣味や職業としての創作活動が盛んになる	心にゆとりが生まれ、人間関係がおだやかになる	市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある	観光や経済活動が活発になる	まちに付加価値がつき、人口増加につながる	何も変わらない	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	69.3	42.0	42.0	33.0	25.0	22.2	10.2	9.1	5.1	-	8.0	5.7
【年齢別】													
18～29歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	2	50.0	-	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	100.0	-	50.0	-
40～49歳	3	100.0	66.7	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-
50～59歳	16	75.0	56.3	62.5	25.0	43.8	-	6.3	6.3	6.3	-	12.5	-
60～69歳	45	68.9	37.8	44.4	33.3	20.0	26.7	11.1	13.3	4.4	-	11.1	2.2
70～79歳	69	69.6	47.8	39.1	37.7	20.3	24.6	7.2	10.1	4.3	-	7.2	7.2
80歳以上	29	72.4	27.6	44.8	24.1	27.6	24.1	20.7	6.9	3.4	-	3.4	3.4
【未就学児の有無別】													
いる	34	64.7	41.2	44.1	29.4	35.3	26.5	5.9	5.9	5.9	-	5.9	5.9
いない	125	73.6	44.0	44.8	35.2	23.2	22.4	12.0	11.2	5.6	-	8.8	2.4

8-2. 美術館建設の影響－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（n）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「中核市としてふさわしい文化度が上がる」は“満足していない（計)”（51.5％）で５割強と、“満足している（計)”（29.2％）と比べ 22.3 ポイント高くなっている。「観光や経済活動が活発になる」は“満足していない（計)”（14.1％）で１割半ばと、“満足している（計)”（3.1％）と比べ 11.0 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（n）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 8-2. 美術館建設の影響－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる	優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる	中核市としてふさわしい文化度が上がる	子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される	趣味や職業としての創作活動が盛んになる	心にゆとりが生まれ、人間関係がおだやかになる	市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある	観光や経済活動が活発になる	まちに付加価値がつき、人口増加につながる	何も変わらない	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	69.3	42.0	42.0	33.0	25.0	22.2	10.2	9.1	5.1	-	8.0	5.7
【居住地区別】													
中央地区	13	53.8	46.2	61.5	46.2	7.7	7.7	-	7.7	15.4	-	23.1	7.7
横曽根地区	15	60.0	66.7	66.7	26.7	20.0	26.7	13.3	13.3	6.7	-	6.7	-
青木地区	23	73.9	26.1	43.5	26.1	30.4	34.8	26.1	-	4.3	-	13.0	-
南平地区	22	72.7	36.4	27.3	27.3	27.3	22.7	18.2	13.6	4.5	-	9.1	-
新郷地区	11	72.7	27.3	27.3	36.4	27.3	27.3	9.1	-	9.1	-	9.1	9.1
神根地区	15	53.3	26.7	33.3	26.7	26.7	13.3	13.3	20.0	-	-	13.3	20.0
芝地区	20	65.0	40.0	35.0	30.0	35.0	15.0	5.0	15.0	10.0	-	5.0	10.0
安行地区	11	90.9	63.6	45.5	45.5	9.1	36.4	-	9.1	-	-	9.1	-
戸塚地区	17	76.5	52.9	58.8	35.3	29.4	23.5	5.9	11.8	-	-	-	-
鳩ヶ谷地区	14	85.7	50.0	50.0	35.7	28.6	14.3	-	7.1	7.1	-	-	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	65	64.6	44.6	29.2	27.7	24.6	20.0	12.3	3.1	6.2	-	6.2	6.2
満足していない（計）	99	72.7	40.4	51.5	37.4	26.3	23.2	9.1	14.1	5.1	-	9.1	6.1
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	146	78.8	47.3	48.6	36.3	26.0	25.3	5.5	11.0	5.5	-	6.2	0.7
なくてよい（計）	6	16.7	-	-	-	-	-	83.3	-	-	-	33.3	-
どちらともいえない	12	41.7	33.3	25.0	33.3	41.7	8.3	33.3	-	8.3	-	16.7	-

8-3. 美術館建設の影響－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は 80 歳以上（50.0%）で５割と、全体（41.0%）と比べ 9.0 ポイント高くなっている。「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」は 40～49 歳（38.7%）で４割弱と、全体（30.4%）と比べ 8.3 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」は“未就学児がいる”（36.4%）で３割半ばと、“未就学児はいない”（27.6%）と比べ 8.8 ポイント高くなっている。「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」は“未就学児がいる”（30.7%）で約３割と、“未就学児はいない”（25.4%）と比べ 5.3 ポイント高くなっている。

図表 8-3. 美術館建設の影響－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる	子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される	市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある	優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる	中核市としてふさわしい文化度が上がる	観光や経済活動が活発になる	趣味や職業としての創作活動が盛んになる	心にゆとりが生まれ、人間関係がおだやかになる	まちに付加価値がつき、人口増加につながる	何も変わらない	その他	無回答
市内在住の男女 全体	782	41.0	30.4	26.6	26.1	17.8	15.6	15.1	14.8	5.1	7.5	3.8	6.1
【年齢別】													
18～29歳	75	32.0	34.7	21.3	32.0	22.7	17.3	22.7	6.7	1.3	13.3	1.3	1.3
30～39歳	135	29.6	31.9	28.9	24.4	8.9	17.8	17.0	7.4	8.1	11.9	4.4	5.9
40～49歳	155	46.5	38.7	31.6	21.9	12.9	18.1	17.4	11.0	4.5	7.7	2.6	0.6
50～59歳	128	46.1	27.3	23.4	26.6	22.7	21.9	12.5	18.0	4.7	6.3	3.9	6.3
60～69歳	124	46.0	22.6	29.0	31.5	21.8	13.7	7.3	16.1	7.3	4.8	6.5	6.5
70～79歳	115	40.0	26.1	27.0	21.7	20.0	5.2	16.5	24.3	2.6	5.2	4.3	13.9
80歳以上	42	50.0	31.0	14.3	35.7	23.8	11.9	11.9	28.6	4.8	-	-	11.9
【未就学児の有無別】													
いる	225	40.4	36.4	30.7	24.0	15.1	13.3	12.4	14.2	5.8	8.9	1.8	3.1
いない	543	41.3	27.6	25.4	27.3	19.0	16.6	16.0	14.7	4.8	7.0	4.6	7.4

8-4. 美術館建設の影響－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は青木地区（49.5％）で約５割と、全体（41.0％）と比べ 8.5 ポイント高くなっている。「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」は新郷地区（38.3％）で４割弱と、全体（26.6％）と比べ 11.7 ポイント高くなっている。「優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる」は新郷地区（38.3％）で４割弱と、全体（26.1％）と比べ 12.2 ポイント高くなっている。「中核市としてふさわしい文化度が上がる」は鳩ヶ谷地区（26.6％）で２割半ばと、全体（17.8％）と比べ 8.8 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は“満足していない（計）”（47.9％）で５割弱と、“満足している（計）”（30.1％）と比べ 17.8 ポイント高くなっている。「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」は“満足している（計）”（32.7％）で３割強と、“満足していない（計）”（21.8％）と比べ 10.9 ポイント高くなっている。「観光や経済活動が活発になる」は“満足していない（計）”（19.7％）で約２割と、“満足している（計）”（8.6％）と比べ 11.1 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は“あるほうがよい（計）”（63.1％）で６割半ばと、“なくてよい（計）”（6.9％）と比べ 56.2 ポイント高くなっている。「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」は“あるほうがよい（計）”（42.6％）で４割強と、“なくてよい（計）”（8.7％）と比べ 33.9 ポイント高くなっている。「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」は“なくてよい（計）”（61.3％）で６割強と、“あるほうがよい（計）”（11.1％）と比べ 50.2 ポイント高くなっている。

図表 8-4. 美術館建設の影響－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

（%）

	n	文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる	子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される	市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある	優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる	中核市としてふさわしい文化度が上がる	観光や経済活動が活発になる	趣味や職業としての創作活動が盛んになる	心にゆとりが生まれ、人間関係がおだやかになる	まちに付加価値がつき、人口増加につながる	何も変わらない	その他	無回答
市内在住の男女 全体	782	41.0	30.4	26.6	26.1	17.8	15.6	15.1	14.8	5.1	7.5	3.8	6.1
【居住地区別】													
中央地区	64	35.9	20.3	37.5	23.4	20.3	23.4	10.9	9.4	3.1	12.5	3.1	6.3
横曽根地区	69	30.4	21.7	29.0	33.3	11.6	17.4	15.9	7.2	－	8.7	7.2	7.2
青木地区	95	49.5	27.4	34.7	23.2	17.9	5.3	14.7	11.6	7.4	2.1	7.4	5.3
南平地区	88	42.0	33.0	22.7	20.5	17.0	22.7	14.8	12.5	3.4	13.6	4.5	4.5
新郷地区	47	29.8	25.5	38.3	38.3	17.0	12.8	10.6	17.0	4.3	6.4	6.4	6.4
神根地区	65	40.0	35.4	26.2	29.2	9.2	13.8	13.8	24.6	3.1	7.7	1.5	6.2
芝地区	110	41.8	28.2	24.5	30.9	15.5	14.5	17.3	20.9	8.2	4.5	0.9	7.3
安行地区	50	48.0	36.0	22.0	24.0	24.0	22.0	20.0	22.0	8.0	6.0	2.0	2.0
戸塚地区	90	45.6	35.6	23.3	27.8	18.9	8.9	17.8	11.1	3.3	5.6	1.1	7.8
鳩ヶ谷地区	94	42.6	37.2	17.0	19.1	26.6	18.1	12.8	13.8	6.4	9.6	4.3	6.4
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	266	30.1	25.2	32.7	19.2	15.4	8.6	13.9	11.7	2.6	13.9	3.0	5.6
満足していない（計）	476	47.9	34.7	21.8	29.8	20.0	19.7	16.2	17.0	6.7	4.2	3.6	6.1
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	434	63.1	42.6	11.1	35.0	26.5	21.2	21.0	21.9	7.6	0.9	2.3	0.7
なくてよい（計）	173	6.9	8.7	61.3	10.4	2.9	6.9	4.6	2.3	2.3	21.4	9.2	2.3
どちらともいえない	127	26.8	28.3	38.6	23.6	15.0	14.2	15.0	13.4	2.4	14.2	3.1	0.8

8-5. 美術館建設の影響－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は 60～69 歳（71.4％）で７割強と、全体（51.0％）と比べ 20.4 ポイント高くなっている。「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」は 30～39 歳（53.1％）で５割半ばと、全体（41.1％）と比べ 12.0 ポイント高くなっている。「優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる」は 50～59 歳（35.5％）で３割半ばと、全体（27.8％）と比べ 7.7 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」は“未就学児がいる”（56.8％）で５割半ばと、“未就学児はいない”（30.5％）と比べ 26.3 ポイント高くなっている。「優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる」は“未就学児はいない”（31.8％）で３割強と、“未就学児がいる”（21.2％）と比べ 10.6 ポイント高くなっている。

図表 8-5. 美術館建設の影響－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる	子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される	市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある	優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる	観光や経済活動が活発になる	趣味や職業としての創作活動が盛んになる	中核市としてふさわしい文化度が上がる	心にゆとりが生まれ、人間関係がおだやかになる	まちに付加価値がつき、人口増加につながる	何も変わらない	その他	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	367	51.0	41.1	31.1	27.8	21.0	19.1	16.3	14.7	7.9	6.8	3.8	－
【年齢別】													
18～29歳	10	50.0	50.0	50.0	20.0	20.0	30.0	20.0	10.0	－	－	－	－
30～39歳	96	40.6	53.1	34.4	25.0	13.5	16.7	13.5	13.5	9.4	8.3	3.1	－
40～49歳	130	53.8	39.2	33.1	22.3	21.5	19.2	13.8	10.0	5.4	8.5	6.9	－
50～59歳	93	50.5	34.4	26.9	35.5	24.7	22.6	20.4	19.4	9.7	3.2	2.2	－
60～69歳	35	71.4	34.3	17.1	37.1	28.6	11.4	22.9	25.7	11.4	8.6	－	－
70～79歳	2	－	－	50.0	－	50.0	50.0	－	－	－	－	－	－
80歳以上	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
【未就学児の有無別】													
いる	146	48.6	56.8	31.5	21.2	17.1	19.9	15.8	11.6	8.2	7.5	3.4	－
いない	220	52.3	30.5	30.9	31.8	23.2	18.2	16.8	16.4	7.3	6.4	4.1	－

8-6. 美術館建設の影響－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」は芝地区（51.6%）で５割強と、全体（41.1%）と比べ 10.5 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は“満足していない（計)”（56.2%）で５割半ばと、“満足している（計)”（40.2%）と比べ 16.0 ポイント高くなっている。「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」は“満足している（計)”（40.2%）で約４割と、“満足していない（計)”（26.5%）と比べ 13.7 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる」は“あるほうがよい（計)”（71.0%）で７割強と、“なくてよい（計)”（4.8%）と比べ 66.2 ポイント高くなっている。「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」は“あるほうがよい（計)”（51.5%）で５割強と、“なくてよい（計)”（16.7%）と比べ 34.8 ポイント高くなっている。「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」は“なくてよい（計)”（66.7%）で６割半ばと、“あるほうがよい（計)”（14.1%）と比べ 52.6 ポイント高くなっている。

図表 8-6. 美術館建設の影響－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

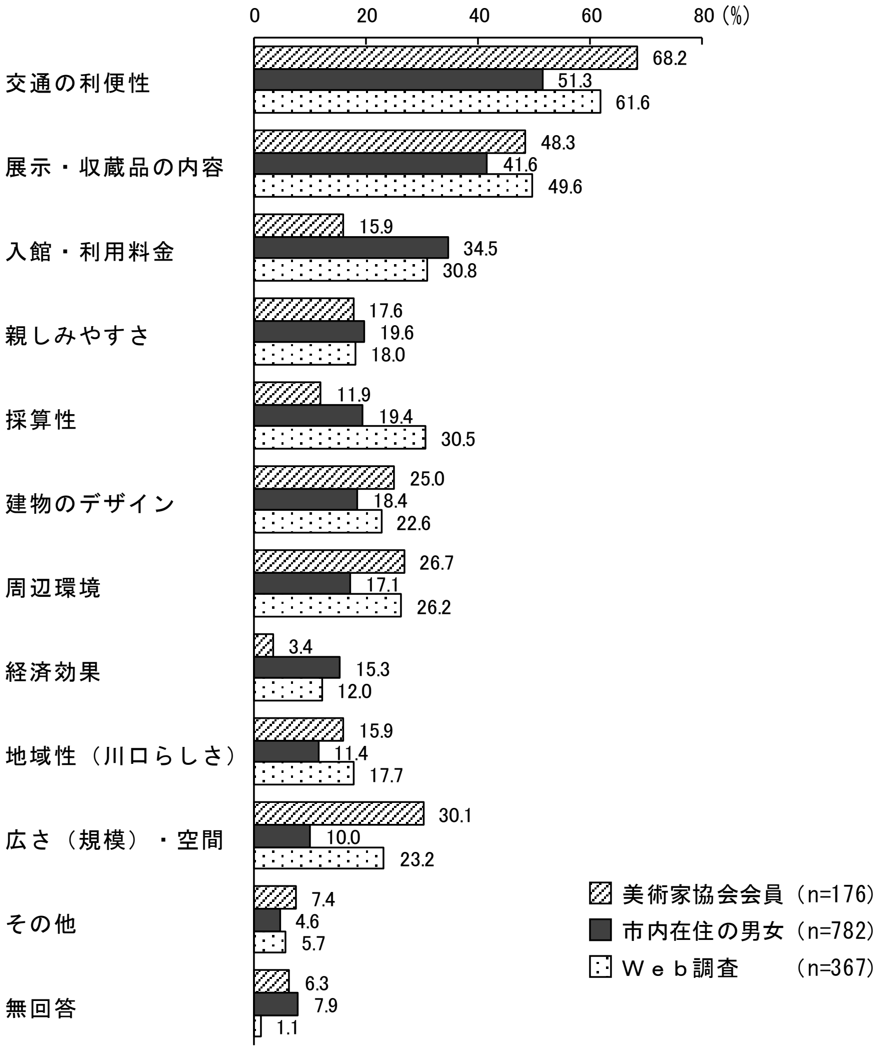
(%)

	n	文化・芸術への関心が高まり、感性が豊かになる	子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される	市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある	優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる	観光や経済活動が活発になる	趣味や職業としての創作活動が盛んになる	中核市としてふさわしい文化度が上がる	心にゆとりが生まれ、人間関係がおだやかになる	まちに付加価値がつき、人口増加につながる	何も変わらない	その他	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	367	51.0	41.1	31.1	27.8	21.0	19.1	16.3	14.7	7.9	6.8	3.8	－
【居住地区別】													
中央地区	41	48.8	36.6	34.1	29.3	19.5	14.6	24.4	9.8	9.8	7.3	2.4	－
横曽根地区	41	51.2	34.1	39.0	26.8	29.3	17.1	22.0	17.1	14.6	7.3	4.9	－
青木地区	54	48.1	48.1	25.9	31.5	20.4	20.4	16.7	14.8	5.6	11.1	5.6	－
南平地区	44	56.8	31.8	31.8	27.3	13.6	31.8	9.1	15.9	9.1	4.5	9.1	－
新郷地区	20	65.0	55.0	20.0	30.0	45.0	5.0	15.0	10.0	－	－	－	－
神根地区	25	44.0	44.0	40.0	20.0	16.0	20.0	24.0	20.0	4.0	－	－	－
芝地区	31	54.8	51.6	32.3	29.0	9.7	25.8	6.5	19.4	9.7	3.2	－	－
安行地区	23	47.8	43.5	30.4	21.7	21.7	26.1	13.0	8.7	8.7	4.3	8.7	－
戸塚地区	40	42.5	35.0	35.0	20.0	17.5	12.5	17.5	10.0	5.0	12.5	－	－
鳩ヶ谷地区	48	54.2	41.7	22.9	35.4	25.0	14.6	14.6	18.8	8.3	8.3	4.2	－
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	117	40.2	34.2	40.2	19.7	13.7	17.1	8.5	12.0	3.4	9.4	3.4	－
満足していない（計）	249	56.2	44.6	26.5	31.7	24.5	20.1	20.1	16.1	10.0	5.6	4.0	－
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	241	71.0	51.5	14.1	33.6	28.2	25.3	23.7	20.7	11.6	3.7	0.8	－
なくてよい（計）	84	4.8	16.7	66.7	8.3	3.6	6.0	1.2	1.2	－	17.9	9.5	－
どちらともいえない	42	28.6	31.0	57.1	33.3	14.3	9.5	4.8	7.1	2.4	2.4	9.5	－

９．美術館建設に重視すべき事柄

問７　川口市内に美術館の建設を検討する場合、どのような事柄を重視すべきと考えますか。
（○は３つまで）

図表９．美術館建設に重視すべき事柄



川口市内に美術館の建設を検討する場合、どのような事柄を重視すべきか聞いた。

美術家協会会員では、「交通の利便性」が 68.2％と最も多く、次いで「展示・収蔵品の内容」が 48.3％、「広さ（規模）・空間」が 30.1％、「周辺環境」が 26.7％などの順となっている。

市内在住の男女では、「交通の利便性」が 51.3％と最も多く、次いで「展示・収蔵品の内容」が 41.6％、「入館・利用料金」が 34.5％、「親しみやすさ」が 19.6％などの順となっている。

Ｗｅｂ調査では、「交通の利便性」が 61.6％と最も多く、次いで「展示･収蔵品の内容」が 49.6％、「入館・利用料金」が 30.8％、「採算性」が 30.5％などの順となっている。

9-1. 美術館建設に重視すべき事柄－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、「交通の利便性」は“未就学児がいる”（79.4％）で約８割と、“未就学児はいない”（68.8％）と比べ 10.6 ポイント高くなっている。「広さ（規模）・空間」は“未就学児はいない”（32.0％）で３割強と、“未就学児がいる”（20.6％）と比べ 11.4 ポイント高くなっている。

図表 9-1. 美術館建設に重視すべき事柄－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	交通の利便性	展示・収蔵品の内容	広さ（規模）・空間	周辺環境	建物のデザイン	親しみやすさ	入館・利用料金	地域性（川口らしさ）	採算性	経済効果	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	68.2	48.3	30.1	26.7	25.0	17.6	15.9	15.9	11.9	3.4	7.4	6.3
【年齢別】													
18～29歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
30～39歳	2	50.0	100.0	50.0	50.0	－	50.0	－	50.0	－	－	50.0	－
40～49歳	3	100.0	－	－	－	33.3	100.0	66.7	－	－	－	－	－
50～59歳	16	87.5	37.5	25.0	37.5	37.5	25.0	6.3	18.8	6.3	12.5	12.5	－
60～69歳	45	64.4	51.1	37.8	31.1	22.2	11.1	22.2	6.7	17.8	2.2	6.7	4.4
70～79歳	69	72.5	47.8	33.3	23.2	24.6	18.8	15.9	17.4	11.6	2.9	7.2	7.2
80歳以上	29	65.5	51.7	6.9	27.6	31.0	17.2	10.3	24.1	10.3	3.4	3.4	3.4
【未就学児の有無別】													
いる	34	79.4	50.0	20.6	32.4	26.5	20.6	17.6	14.7	5.9	5.9	5.9	2.9
いない	125	68.8	48.8	32.0	27.2	25.6	18.4	16.8	16.8	14.4	3.2	8.0	4.0

9-2. 美術館建設に重視すべき事柄－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「展示・収蔵品の内容」は“満足していない（計）”（52.5%）で５割強と、“満足している（計）”（41.5%）と比べ 11.0 ポイント高くなっている。「広さ（規模）・空間」は“満足していない（計）”（37.4%）で４割弱と、“満足している（計）”（20.0%）と比べ 17.4 ポイント高くなっている。「入館・利用料金」は“満足している（計）”（21.5%）で２割強と、“満足していない（計）”（11.1%）と比べ 10.4 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 9-2. 美術館建設に重視すべき事柄－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	交通の利便性	展示・収蔵品の内容	広さ（規模）・空間	周辺環境	建物のデザイン	親しみやすさ	入館・利用料金	地域性（川口らしさ）	採算性	経済効果	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	68.2	48.3	30.1	26.7	25.0	17.6	15.9	15.9	11.9	3.4	7.4	6.3
【居住地区別】													
中央地区	13	69.2	46.2	46.2	30.8	30.8	38.5	7.7	7.7	-	-	15.4	7.7
横曽根地区	15	66.7	40.0	26.7	26.7	46.7	6.7	6.7	33.3	6.7	-	13.3	6.7
青木地区	23	65.2	60.9	47.8	26.1	30.4	21.7	8.7	8.7	13.0	-	4.3	-
南平地区	22	86.4	59.1	27.3	13.6	18.2	13.6	31.8	18.2	22.7	9.1	9.1	-
新郷地区	11	81.8	27.3	18.2	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1
神根地区	15	60.0	46.7	33.3	20.0	-	13.3	13.3	6.7	20.0	-	-	20.0
芝地区	20	80.0	35.0	25.0	35.0	20.0	25.0	30.0	15.0	-	-	5.0	5.0
安行地区	11	54.5	54.5	27.3	36.4	36.4	36.4	9.1	36.4	9.1	-	9.1	-
戸塚地区	17	58.8	58.8	17.6	17.6	29.4	11.8	11.8	17.6	17.6	5.9	-	5.9
鳩ヶ谷地区	14	78.6	42.9	7.1	50.0	28.6	14.3	28.6	7.1	7.1	7.1	14.3	-
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	65	69.2	41.5	20.0	29.2	23.1	18.5	21.5	20.0	12.3	3.1	6.2	6.2
満足していない（計）	99	69.7	52.5	37.4	25.3	28.3	17.2	11.1	12.1	11.1	4.0	9.1	7.1
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	146	72.6	53.4	35.6	30.8	28.1	17.8	16.4	16.4	8.9	2.7	6.2	1.4
なくてよい（計）	6	83.3	50.0	-	-	-	-	16.7	-	66.7	33.3	16.7	-
どちらともいえない	12	75.0	33.3	8.3	8.3	25.0	33.3	25.0	16.7	33.3	-	8.3	-

9-3. 美術館建設に重視すべき事柄－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「入館・利用料金」は 18～29 歳（45.3%）で４割半ばと、全体（34.5%）と比べ 10.8 ポイント、40～49 歳（43.9%）で４割半ばと、全体（34.5%）と比べ 9.4 ポイント、30～39 歳（43.7%）で４割半ばと、全体（34.5%）と比べ 9.2 ポイント、それぞれ高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「建物のデザイン」は“未就学児がいる”（21.3%）で２割強と、“未就学児はいない”（16.9%）と比べ 4.4 ポイント高くなっている。「周辺環境」は“未就学児はいない”（18.0%）で２割弱と、“未就学児がいる”（14.2%）と比べ 3.8 ポイント高くなっている。

図表 9-3. 美術館建設に重視すべき事柄－市内在住の男女－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	交通の利便性	展示・収蔵品の内容	入館・利用料金	親しみやすさ	採算性	建物のデザイン	周辺環境	経済効果	地域性（川口らしさ）	広さ（規模）・空間	その他	無回答
市内在住の男女 全体	782	51.3	41.6	34.5	19.6	19.4	18.4	17.1	15.3	11.4	10.0	4.6	7.9
【年齢別】													
18～29歳	75	42.7	48.0	45.3	22.7	22.7	24.0	17.3	16.0	9.3	12.0	4.0	1.3
30～39歳	135	49.6	37.8	43.7	19.3	20.7	23.7	15.6	22.2	8.9	8.1	3.0	5.2
40～49歳	155	52.3	44.5	43.9	18.1	24.5	20.0	12.9	18.7	12.9	11.0	3.9	1.9
50～59歳	128	57.8	47.7	25.8	18.0	18.0	16.4	18.0	15.6	10.9	13.3	6.3	7.0
60～69歳	124	49.2	41.1	24.2	21.0	19.4	17.7	18.5	12.1	15.3	8.1	5.6	12.1
70～79歳	115	50.4	36.5	27.0	19.1	16.5	10.4	20.9	8.7	7.8	7.8	5.2	17.4
80歳以上	42	59.5	33.3	26.2	23.8	7.1	14.3	16.7	7.1	14.3	11.9	2.4	14.3
【未就学児の有無別】													
いる	225	51.6	40.0	36.4	21.3	19.1	21.3	14.2	14.7	11.6	11.6	6.2	4.4
いない	543	51.2	42.7	33.7	18.8	20.1	16.9	18.0	15.8	11.0	9.0	3.7	9.4

9-4. 美術館建設に重視すべき事柄－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「交通の利便性」は安行地区（60.0%）で約６割と、全体（51.3%）と比べ 8.7 ポイント高くなっている。「展示・収蔵品の内容」は南平地区（51.1%）で５割強と、全体（41.6%）と比べ 9.5 ポイント高くなっている。「入館・利用料金」は神根地区（46.2%）で４割半ばと、全体（34.5%）と比べ 11.7 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「展示・収蔵品の内容」は“満足していない（計）”（47.7%）で５割弱と、“満足している（計）”（32.0%）と比べ 15.7 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「交通の利便性」は“あるほうがよい（計）”（61.5%）で６割強と、“なくてよい（計）”（31.8%）と比べ 29.7 ポイント高くなっている。「展示・収蔵品の内容」は“あるほうがよい（計）”（53.0%）で５割半ばと、“なくてよい（計）”（23.7%）と比べ 29.3 ポイント高くなっている。「採算性」は“なくてよい（計）”（43.4%）で４割半ばと、“あるほうがよい（計）”（10.4%）と比べ 33.0 ポイント高くなっている。

図表 9-4. 美術館建設に重視すべき事柄－市内在住の男女－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	交通の利便性	展示・収蔵品の内容	入館・利用料金	親しみやすさ	採算性	建物のデザイン	周辺環境	経済効果	地域性（川口らしさ）	広さ（規模）・空間	その他	無回答
市内在住の男女 全体	782	51.3	41.6	34.5	19.6	19.4	18.4	17.1	15.3	11.4	10.0	4.6	7.9
【居住地区別】													
中央地区	64	56.3	39.1	29.7	10.9	26.6	14.1	14.1	29.7	7.8	6.3	3.1	9.4
横曽根地区	69	46.4	43.5	20.3	20.3	30.4	11.6	14.5	23.2	4.3	7.2	7.2	10.1
青木地区	95	43.2	48.4	29.5	17.9	24.2	17.9	26.3	10.5	11.6	12.6	6.3	6.3
南平地区	88	48.9	51.1	30.7	18.2	20.5	21.6	15.9	18.2	10.2	6.8	5.7	6.8
新郷地区	47	57.4	40.4	42.6	12.8	17.0	12.8	6.4	14.9	10.6	14.9	4.3	10.6
神根地区	65	53.8	35.4	46.2	18.5	16.9	18.5	16.9	16.9	7.7	9.2	3.1	4.6
芝地区	110	52.7	40.9	40.0	25.5	11.8	20.0	14.5	10.0	10.0	11.8	4.5	9.1
安行地区	50	60.0	40.0	40.0	20.0	6.0	26.0	24.0	12.0	22.0	14.0	-	2.0
戸塚地区	90	54.4	35.6	36.7	23.3	20.0	25.6	12.2	14.4	12.2	12.2	4.4	7.8
鳩ヶ谷地区	94	48.9	40.4	31.9	21.3	21.3	12.8	21.3	10.6	16.0	7.4	4.3	10.6
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	266	44.0	32.0	37.6	21.4	28.6	14.7	15.4	16.9	10.2	6.8	6.0	7.5
満足していない（計）	476	56.3	47.7	34.5	18.9	14.3	21.6	18.9	14.5	12.8	12.0	2.9	6.3
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	434	61.5	53.0	40.1	23.7	10.4	25.6	21.4	11.8	14.5	14.3	2.1	0.7
なくてよい（計）	173	31.8	23.7	20.8	13.3	43.4	6.4	9.2	26.6	9.2	2.9	12.7	8.7
どちらともいえない	127	60.6	40.9	46.5	20.5	24.4	17.3	18.9	17.3	7.9	7.1	3.9	0.8

9-5. 美術館建設に重視すべき事柄－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別にみると、「展示・収蔵品の内容」は 60～69 歳（60.0％）で約６割と、全体（49.6％）と比べ 10.4 ポイント高くなっている。「入館・利用料金」は 30～39 歳（39.6％）で約４割と、全体（30.8％）と比べ 8.8 ポイント高くなっている。

未就学児の有無別にみると、「入館・利用料金」は“未就学児がいる”（34.2％）で３割半ばと、“未就学児はいない”（28.2％）と比べ 6.0 ポイント高くなっている。「交通の利便性」は“未就学児はいない”（63.2％）で６割半ばと、“未就学児がいる”（58.9％）と比べ 4.3 ポイント高くなっている。

図表 9-5. 美術館建設に重視すべき事柄－Ｗｅｂ調査－（年齢別、未就学児の有無別）

(％)

	n	交通の利便性	展示・収蔵品の内容	入館・利用料金	採算性	周辺環境	広さ（規模）・空間	建物のデザイン	親しみやすさ	地域性（川口らしさ）	経済効果	その他	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	367	61.6	49.6	30.8	30.5	26.2	23.2	22.6	18.0	17.7	12.0	5.7	1.1
【年齢別】													
18～29歳	10	70.0	20.0	30.0	20.0	40.0	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-
30～39歳	96	64.6	43.8	39.6	33.3	30.2	22.9	24.0	21.9	12.5	13.5	5.2	2.1
40～49歳	130	60.0	50.0	30.0	33.1	20.8	20.8	19.2	16.2	18.5	12.3	8.5	-
50～59歳	93	58.1	53.8	22.6	28.0	26.9	26.9	26.9	12.9	20.4	12.9	4.3	1.1
60～69歳	35	62.9	60.0	34.3	20.0	28.6	22.9	22.9	28.6	20.0	5.7	2.9	2.9
70～79歳	2	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
80歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【未就学児の有無別】													
いる	146	58.9	47.9	34.2	32.9	28.1	23.3	24.0	18.5	16.4	14.4	6.2	1.4
いない	220	63.2	50.9	28.2	29.1	25.0	23.2	21.4	17.7	18.6	10.5	5.5	0.9

9-6. 美術館建設に重視すべき事柄－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別にみると、「交通の利便性」は戸塚地区（80.0％）で約８割と、全体（61.6％）と比べ 18.4 ポイント高くなっている。「地域性（川口らしさ)」は芝地区（32.3％）で３割強と、全体（17.7％）と比べ 14.6 ポイント高くなっている。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「交通の利便性」は“満足していない(計)”(65.5％）で６割半ばと、“満足している（計)”（53.8％）と比べ 11.7 ポイント高くなっている。「展示・収蔵品の内容」は“満足していない(計)”(53.4％）で５割半ばと、“満足している(計)”(41.9％）と比べ 11.5 ポイント高くなっている。「入館・利用料金」は“満足していない（計)”（34.1％）で３割半ばと、“満足している（計)”（23.1％）と比べ 11.0 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別にみると、「交通の利便性」は“あるほうがよい（計)”（71.8％）で７割強と、“なくてよい（計)”（34.5％）と比べ 37.3 ポイント高くなっている。「展示・収蔵品の内容」は“あるほうがよい（計)”（56.8％）で５割半ばと、“なくてよい（計)”（23.8％）と比べ 33.0 ポイント高くなっている。一方、「採算性」は“なくてよい（計)”（60.7％）で約６割と、“あるほうがよい（計)”（18.3％）と比べ 42.4 ポイント高くなっている。

図表 9-6. 美術館建設に重視すべき事柄－Ｗｅｂ調査－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

	n	交通の利便性	展示・収蔵品の内容	入館・利用料金	採算性	周辺環境	広さ（規模）・空間	建物のデザイン	親しみやすさ	地域性（川口らしさ）	経済効果	その他	無回答
Ｗｅｂ調査 全体	367	61.6	49.6	30.8	30.5	26.2	23.2	22.6	18.0	17.7	12.0	5.7	1.1
【居住地区別】													
中央地区	41	51.2	53.7	26.8	34.1	12.2	17.1	24.4	12.2	24.4	7.3	7.3	2.4
横曽根地区	41	68.3	56.1	29.3	43.9	22.0	22.0	17.1	12.2	9.8	19.5	7.3	－
青木地区	54	42.6	40.7	29.6	25.9	31.5	24.1	27.8	14.8	16.7	9.3	13.0	1.9
南平地区	44	61.4	47.7	27.3	34.1	22.7	29.5	22.7	20.5	13.6	9.1	6.8	－
新郷地区	20	70.0	70.0	30.0	20.0	35.0	25.0	15.0	25.0	15.0	10.0	5.0	－
神根地区	25	72.0	60.0	20.0	20.0	32.0	24.0	32.0	20.0	16.0	16.0	－	－
芝地区	31	48.4	51.6	29.0	35.5	35.5	19.4	29.0	9.7	32.3	16.1	3.2	3.2
安行地区	23	69.6	47.8	30.4	34.8	39.1	26.1	17.4	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3
戸塚地区	40	80.0	40.0	42.5	30.0	15.0	15.0	12.5	30.0	22.5	12.5	2.5	－
鳩ヶ谷地区	48	66.7	45.8	37.5	22.9	29.2	29.2	25.0	20.8	16.7	14.6	2.1	－
【川口市の文化的な環境の満足度別】													
満足している（計）	117	53.8	41.9	23.1	37.6	23.1	17.9	17.1	15.4	15.4	15.4	7.7	2.6
満足していない（計）	249	65.5	53.4	34.1	26.9	27.7	25.7	24.9	19.3	18.9	10.4	4.8	0.4
【美術の拠点施設の賛否別】													
あるほうがよい（計）	241	71.8	56.8	34.0	18.3	31.1	30.3	29.0	21.2	20.3	6.6	2.1	－
なくてよい（計）	84	34.5	23.8	26.2	60.7	13.1	9.5	6.0	4.8	7.1	23.8	16.7	4.8
どちらともいえない	42	57.1	59.5	21.4	40.5	23.8	9.5	19.0	26.2	23.8	19.0	4.8	－

10. 国内の好きな美術館

問８　国内で、好きな（行ったことのある）美術館や行ってみたい美術館がありましたら、名称と理由をご記入ください。

図表 10. 国内の好きな美術館

順位	美術家協会会員	件数
1	東京都美術館（現代美術館）	34
2	国立新美術館	26
3	足立美術館	18
4	国立西洋美術館	16
5	根津美術館	10
6	国立博物館	9
7	埼玉県立近代美術館	8
7	三菱一号美術館	8
7	成川美術館	8
10	大原美術館	5
11	金沢２１世紀美術館	4
11	大塚国際美術館	4
11	東京国立近代美術館	4
11	東京都庭園美術館	4
11	ポーラ美術館	4
11	世田谷美術館	4
11	東京都写真美術館	4
18	上野の森美術館	3
19	ＭＯＡ美術館	2
19	地中美術館	2
19	ブリヂストン美術館	2
19	出光美術館	2
19	ホキ美術館	2
19	山梨県立美術館	2
19	宇都宮美術館	2
19	永青文庫	2
19	植田正治写真美術館	2

順位	市内在住の男女	件数
1	国立西洋美術館	86
2	足立美術館	51
3	国立新美術館	46
4	東京都美術館（現代美術館）	40
5	箱根彫刻の森美術館	32
6	金沢２１世紀美術館	30
7	上野の森美術館	27
8	国立博物館	26
9	三鷹の森ジブリ美術館	22
10	大塚国際美術館	17
11	森美術館	14
12	東京国立近代美術館	11
12	東京都庭園美術館	11
14	埼玉県立近代美術館	10
15	ポーラ美術館	9
15	ＭＯＡ美術館	9
17	根津美術館	8
17	地中美術館	8
19	三菱一号美術館	7
19	大原美術館	7
19	箱根ガラスの森美術館	7

順位	Ｗｅｂ調査	件数
1	国立西洋美術館	34
2	東京都美術館（現代美術館）	19
2	国立新美術館	19
4	金沢２１世紀美術館	18
5	足立美術館	17
5	上野の森美術館	17
7	国立博物館	13
7	箱根彫刻の森美術館	13
9	森美術館	10
10	東京国立近代美術館	8
11	三鷹の森ジブリ美術館	5
11	ポーラ美術館	5
13	埼玉県立近代美術館	4
13	東京都庭園美術館	4
13	大原美術館	4
13	ＭＯＡ美術館	4
17	大塚国際美術館	3
17	東京富士美術館	3
19	根津美術館	2
19	三菱一号美術館	2
19	世田谷美術館	2
19	永青文庫	2
19	横浜美術館	2

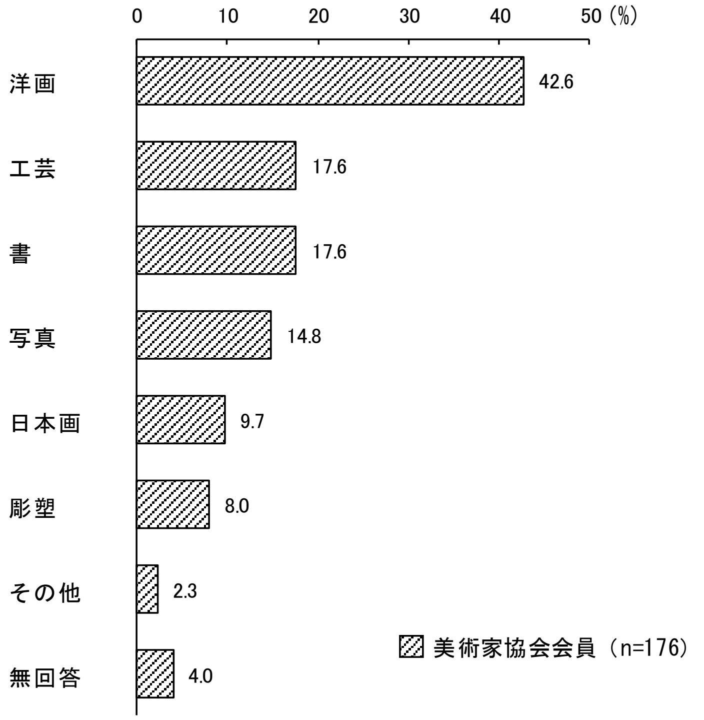
国内で、好きな（行ったことのある）美術館や行ってみたい美術館があるか聞いた。

市内在住の男女、Ｗｅｂ調査では『国立西洋美術館』が最も多く、「有名な作品が鑑賞できる」、「交通の便がよい」などの理由があげられた。美術家協会会員では『東京都美術館』が最も多く、「企画展がよく、利便性もよい」などの理由があげられた。その他、『国立新美術館』は「建物のデザインがよい」、「空間が広い」など、『足立美術館』は「庭園が美しい」、などの理由で上位にあげられている。

11. 主な創作分野

（美術家協会会員の方々に）
問９　主な創作分野は何ですか。（○は２つまで）

図表 11. 主な創作分野



美術家協会会員に主な創作分野を聞いたところ、「洋画」が 42.6％と最も多く、次いで「工芸」、「書」がともに 17.6％、「写真」が 14.8％などの順となっている。

11-1. 主な創作分野－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、「工芸」は“未就学児はいない”（19.2%）で約２割と、“未就学児がいる”（11.8%）と比べ 7.4 ポイント高くなっている。「日本画」は“未就学児はいない”（12.0%）で１割強と、“未就学児がいる”（5.9%）と比べ 6.1 ポイント高くなっている。

図表 11-1. 主な創作分野－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	洋画	工芸	書	写真	日本画	彫塑	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	42.6	17.6	17.6	14.8	9.7	8.0	2.3	4.0
【年齢別】									
18～29歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
40～49歳	3	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-
50～59歳	16	25.0	25.0	37.5	18.8	12.5	12.5	-	6.3
60～69歳	45	40.0	17.8	13.3	17.8	4.4	8.9	2.2	2.2
70～79歳	69	43.5	18.8	20.3	15.9	8.7	4.3	2.9	2.9
80歳以上	29	48.3	13.8	6.9	10.3	20.7	10.3	-	6.9
【未就学児の有無別】									
いる	34	41.2	11.8	14.7	17.6	5.9	5.9	2.9	5.9
いない	125	40.8	19.2	19.2	15.2	12.0	8.0	2.4	2.4

11-2. 主な創作分野ー美術家協会会員ー
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「洋画」は“満足していない（計)”（45.5%）で４割半ばと、“満足している（計)”（38.5%）と比べ 7.0 ポイント高くなっている。「日本画」は“満足していない（計)”（12.1%）で１割強と、“満足している（計)”（4.6%）と比べ 7.5 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 11-2. 主な創作分野ー美術家協会会員ー
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

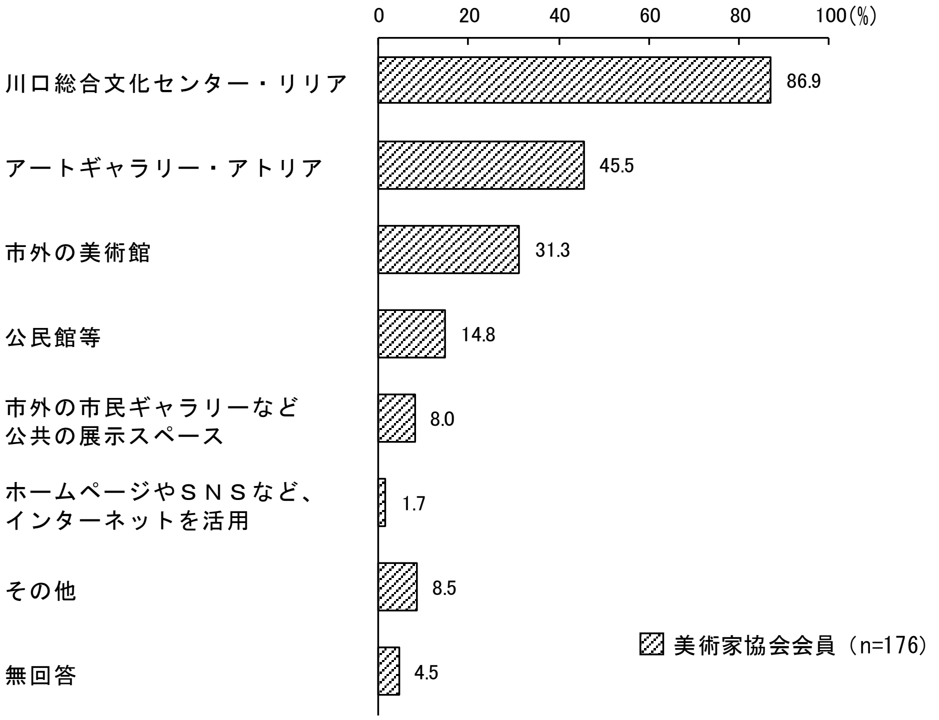
(%)

	n	洋画	工芸	書	写真	日本画	彫塑	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	42.6	17.6	17.6	14.8	9.7	8.0	2.3	4.0
【居住地区別】									
中央地区	13	61.5	15.4	7.7	23.1	23.1	7.7	-	-
横曽根地区	15	40.0	13.3	20.0	6.7	-	6.7	-	13.3
青木地区	23	26.1	30.4	26.1	17.4	8.7	4.3	4.3	-
南平地区	22	31.8	13.6	13.6	22.7	13.6	9.1	-	-
新郷地区	11	45.5	-	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1	-
神根地区	15	53.3	13.3	6.7	20.0	6.7	-	-	6.7
芝地区	20	45.0	10.0	25.0	5.0	10.0	15.0	-	5.0
安行地区	11	45.5	45.5	9.1	-	9.1	9.1	9.1	-
戸塚地区	17	47.1	11.8	11.8	29.4	11.8	-	5.9	5.9
鳩ヶ谷地区	14	35.7	28.6	35.7	-	-	14.3	-	7.1
【川口市の文化的な環境の満足度別】									
満足している（計）	65	38.5	18.5	16.9	16.9	4.6	7.7	3.1	4.6
満足していない（計）	99	45.5	16.2	19.2	13.1	12.1	7.1	2.0	3.0
【美術の拠点施設の賛否別】									
あるほうがよい（計）	146	42.5	17.8	19.2	14.4	11.6	7.5	2.1	4.1
なくてよい（計）	6	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-
どちらともいえない	12	33.3	-	25.0	25.0	-	8.3	8.3	-

12. 作品の主な発表場所

（美術家協会会員の方々に）
問10　作品の主な発表の場所はどこですか。（○は２つまで）

図表 12. 作品の主な発表場所



美術家協会会員に作品の主な発表の場所を聞いたところ、「川口総合文化センター・リリア」が 86.9％と最も多く、次いで「アートギャラリー・アトリア」が 45.5％、「市外の美術館」が 31.3％、「公民館等」が 14.8％などの順となっている。

12-1. 作品の主な発表場所－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、「市外の美術館」は“未就学児はいない”（34.4％）で３割半ばと、“未就学児がいる”（26.5％）と比べ 7.9 ポイント高くなっている。「公民館等」は“未就学児はいない”（17.6％）で２割弱と、“未就学児がいる”（5.9％）と比べ 11.7 ポイント高くなっている。

図表 12-1. 作品の主な発表場所－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

(%)

	n	川口総合文化センター・リリ	アートギャラリー・アトリア	市外の美術館	公民館等	市外の市民ギャラリーなど公	ホームページやSNSなど、	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	86.9	45.5	31.3	14.8	8.0	1.7	8.5	4.5
【年齢別】									
18～29歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
30～39歳	2	100.0	－	100.0	－	50.0	－	－	－
40～49歳	3	100.0	66.7	66.7	－	－	－	－	－
50～59歳	16	87.5	50.0	43.8	－	6.3	6.3	18.8	6.3
60～69歳	45	84.4	51.1	24.4	8.9	11.1	4.4	11.1	2.2
70～79歳	69	87.0	39.1	37.7	23.2	5.8	－	7.2	4.3
80歳以上	29	89.7	48.3	13.8	13.8	10.3	－	3.4	6.9
【未就学児の有無別】									
いる	34	85.3	47.1	26.5	5.9	14.7	2.9	5.9	8.8
いない	125	88.8	43.2	34.4	17.6	7.2	1.6	9.6	2.4

12-2. 作品の主な発表場所－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「アートギャラリー・アトリア」は“満足している（計）”（58.5％）で６割弱と、“満足していない（計）”（40.4％）と比べ 18.1 ポイント高くなっている。「市外の美術館」は“満足していない（計）”（40.4％）で約４割と、“満足している（計）”（18.5％）と比べ 21.9 ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 12-2. 作品の主な発表場所－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

(%)

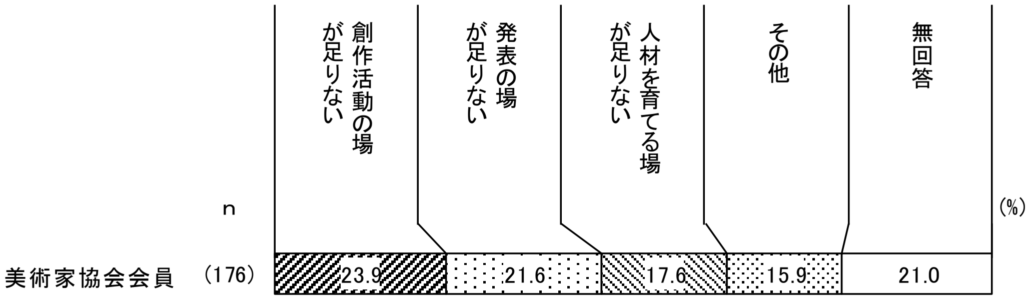
	n	川口総合文化センター・リリ	アートギャラリー・アトリア	市外の美術館	公民館等	市外の市民ギャラリーなど公	ホームページやSNSなど、	その他	無回答
美術家協会会員 全体	176	86.9	45.5	31.3	14.8	8.0	1.7	8.5	4.5
【居住地区別】									
中央地区	13	100.0	38.5	53.8	－	7.7	－	7.7	－
横曽根地区	15	73.3	46.7	13.3	13.3	－	13.3	6.7	20.0
青木地区	23	91.3	47.8	43.5	8.7	13.0	4.3	8.7	－
南平地区	22	90.9	59.1	22.7	13.6	4.5	－	9.1	－
新郷地区	11	100.0	72.7	18.2	18.2	－	－	－	－
神根地区	15	80.0	46.7	40.0	20.0	20.0	－	13.3	6.7
芝地区	20	80.0	35.0	40.0	5.0	30.0	－	5.0	5.0
安行地区	11	100.0	45.5	27.3	27.3	－	－	9.1	－
戸塚地区	17	76.5	29.4	17.6	41.2	－	－	5.9	5.9
鳩ヶ谷地区	14	92.9	35.7	35.7	7.1	－	－	14.3	7.1
【川口市の文化的な環境の満足度別】									
満足している（計）	65	92.3	58.5	18.5	12.3	4.6	1.5	4.6	6.2
満足していない（計）	99	84.8	40.4	40.4	15.2	9.1	2.0	10.1	3.0
【美術の拠点施設の賛否別】									
あるほうがよい（計）	146	86.3	44.5	34.2	15.1	9.6	2.1	9.6	4.8
なくてよい（計）	6	83.3	66.7	－	－	－	－	－	－
どちらともいえない	12	100.0	41.7	25.0	16.7	－	－	8.3	－

13. 美術活動を行う課題

（美術家協会会員の方々に）

問11　市内で美術活動を行う上での課題は何ですか。（○は１つ）

図表 13. 美術活動を行う課題



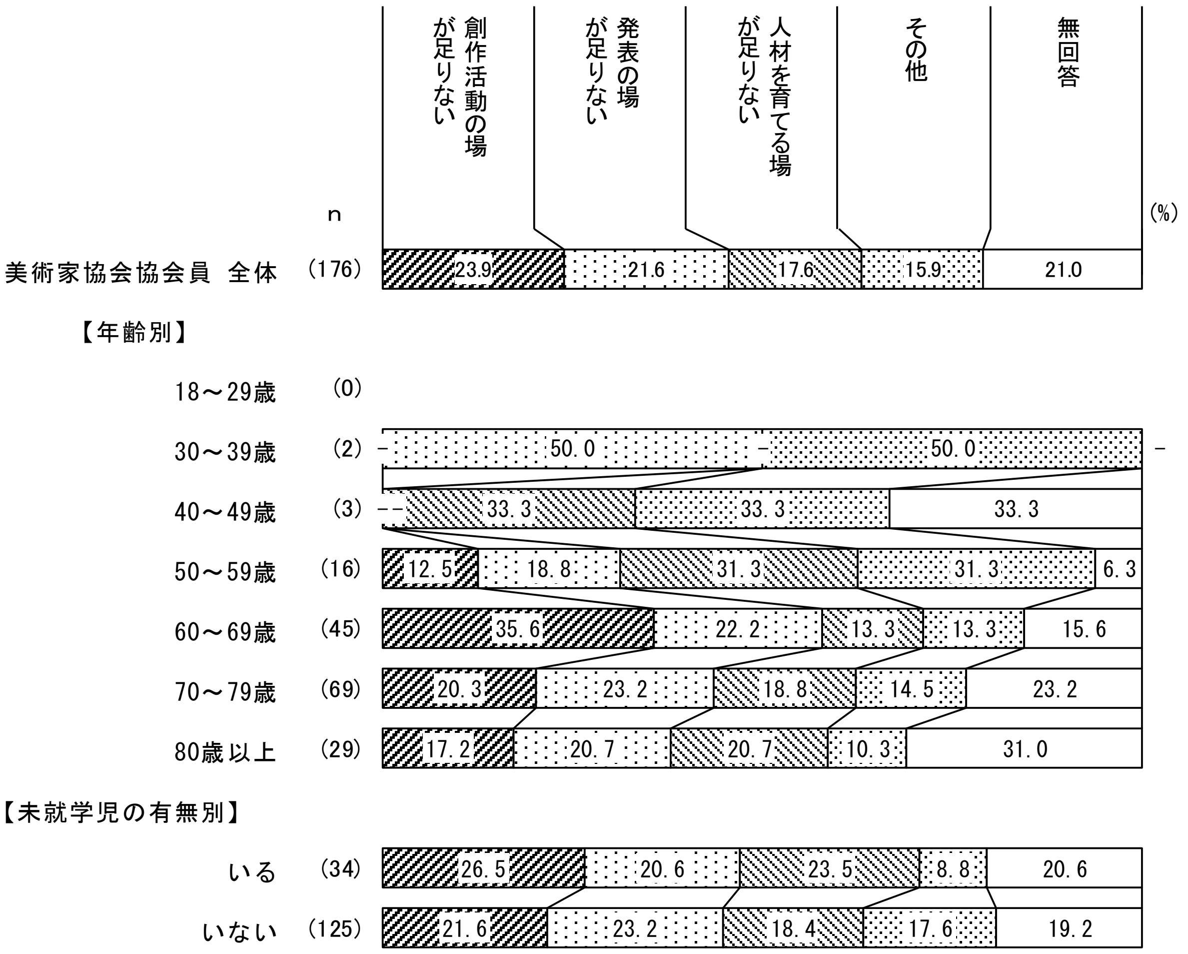
美術家協会会員に市内で美術活動を行う上での課題を聞いたところ、「創作活動の場が足りない」が 23.9％と最も多く、次いで「発表の場が足りない」が 21.6％、「人材を育てる場が足りない」が 17.6％の順となっている。

13-1. 美術活動を行う課題－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）

年齢別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

未就学児の有無別にみると、「創作活動の場が足りない」は“未就学児がいる”（26.5%）で２割半ばと、“未就学児はいない”（21.6%）と比べ 4.9 ポイント高くなっている。「人材を育てる場が足りない」は“未就学児がいる”（23.5%）で２割半ばと、“未就学児はいない”（18.4%）と比べ 5.1 ポイント高くなっている。

図表 13-1. 美術活動を行う課題－美術家協会会員－（年齢別、未就学児の有無別）



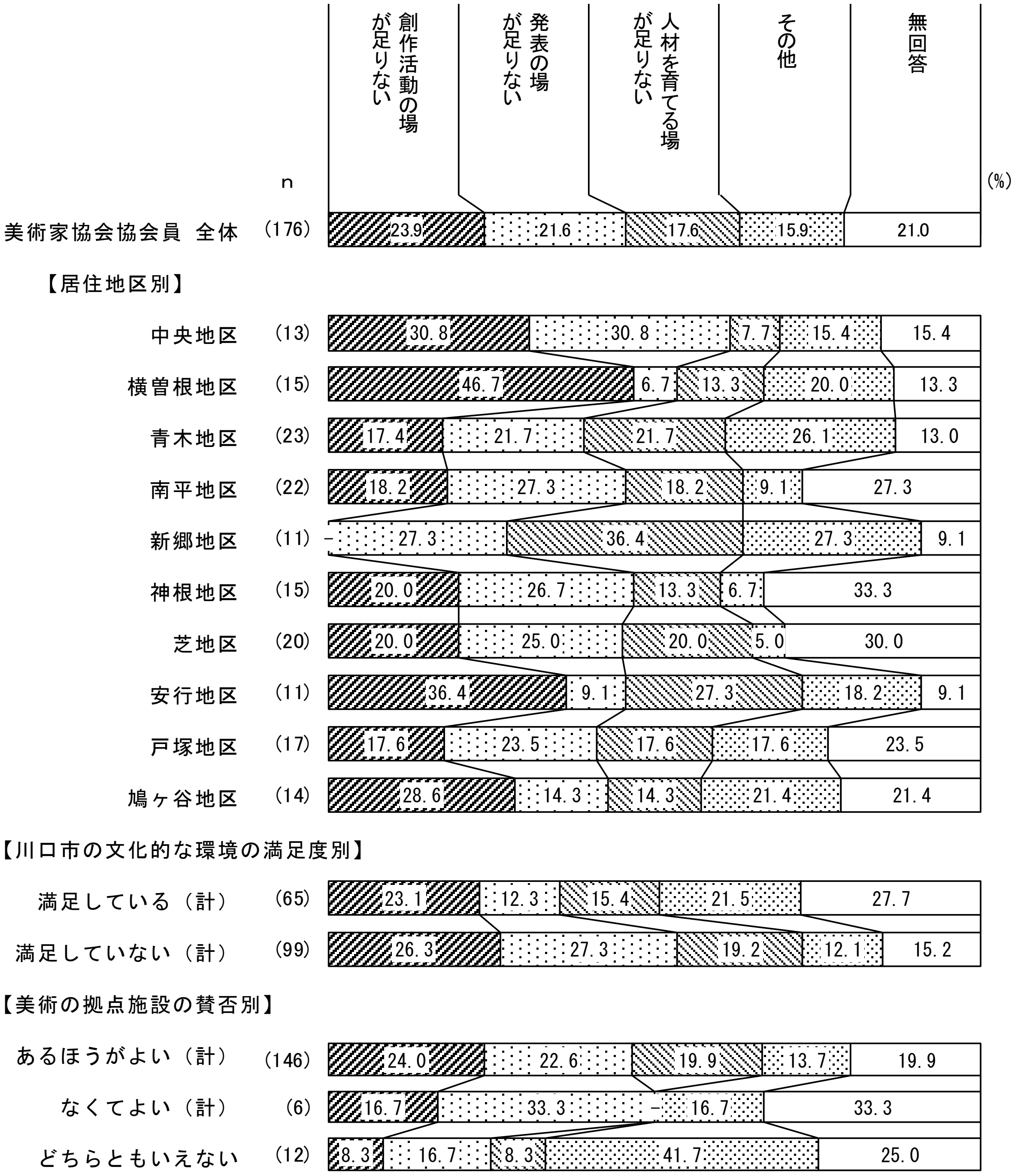
13-2. 美術活動を行う課題－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）

居住地区別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

川口市の文化的な環境の満足度別にみると、「発表の場が足りない」は“満足していない（計）”（27.3％）で３割弱と、“満足している（計）”（12.3％）と比べ15.0ポイント高くなっている。

美術の拠点施設の賛否別は、回答者数（ｎ）が小さく誤差を考慮し説明しない。

図表 13-2. 美術活動を行う課題－美術家協会会員－
（居住地区別、川口市の文化的な環境の満足度別、美術の拠点施設の賛否別）



14. 川口にふさわしい美術館

（美術家協会会員の方々に）
問12 川口にふさわしい美術館はどのようなものと考えますか。できるだけ具体的にイメージをご記入ください。

※全回答を掲載

◆東京に近い利便性を最大限に活用する（都内ではできない企画＋田舎ではできない企画＝川口でしかできない企画)。川口市民の転入層の多さを考えると、伝統や地域性を重視しすぎると若年層の関心はさらに遠のくと思われる。かといって現代アートは思いの外若年層も関心をもたない。スキップシティと連携してＮＨＫとタイアップやコミック、アニメ原画展など古典的、伝統的美術の展示の両方に対応できるハイブリッド型美術館が川口にはふさわしい。また、閉館時間をＰＭ９：００までにする（曜日限定でも可)。(30～39 歳，中央地区)
◆人口が多く、又、外の市に比べて芸術への関心が多いと思われる川口ですので、展示の内容は全世代に対応できる様、ジャンルや時代の幅が広い方が良いと思います。また、本当に良い作品というものは、人の心に感動を呼び生き方をも考えさせてくれるものです。ですので、展示作品は吟味された本当に良いものであれば必ず観る人はわかりますので、川口にふさわしいのは本格的な美術館と考えます。(30～39 歳，中央地区)
◆親しみやすく、交通の便がよく、行きやすい場所にある。建物のまわりは市民が憩える公園のようなのが望ましい。(50～59 歳，中央地区)
◆癒しと学びの空間で大人も子供も落ち着いてアートと触れ合える場所。自然とマナーや他人への配慮も学べる場所だと思う。(50～59 歳，中央地区)
◆市民に愛される、市のシンボルとなる様な建物であって欲しい。大規模でなくても親しみのある建物であって欲しい。川口市立美術館独自の企画展示のできる場所であって欲しいです。(60～69 歳，中央地区)
◆外観（建物のデザイン）→アトリアや図書館のデザインを踏襲して。(70～79 歳，中央地区)
◆交通の便がよく、一般の人達が親しみやすい環境づくり（70～79 歳，中央地区)
◆常設展示室がある－川口ゆかりの作品や市の所蔵作品、市民の寄贈、委託作品を常時展示してほしい。特別展、イベント展の会場は、天井が高いスペースがるといい。(70～79 歳，中央地区)
◆鋳物の街、植木の街なので、鋳物や植木を利用して美術館の周りにおしゃれなレストラン、カフェを併設して、鑑賞後の余韻に浸りたい。(70～79 歳，中央地区)
◆住環境にあった建物のデザイン性重視、建築家は安藤忠雄（70～79 歳，中央地区)
◆美術館らしい建物（80 歳以上，中央地区)
◆川口市在住の作家の支援をしてくれる美術館。作家として活動していくには生活面や制作場所、発表の場など様々な問題があり、特に若い人達が続けていくのは大変な困難がある。そのような人達が将来希望を持って生活の基盤を作れる市であって欲しいので、川口市の作家を大切にしてくれる美術館を希望する。そうなれば日本中のアーティストを目指す人が川口に集まり川口市の文化度が上がっていくと思う。(50～59 歳，横曽根地区)
◆四季折々の植物（安行で育てられた物）の庭があり、庭に面した明るくてオープンな展示スペース。絵画教室が併設（レンタルで借りることもできる）されていればベスト。(60～69 歳，横曽根地区)

◆緑あふれる中に落ち着いた雰囲気が良い。(60～69 歳，横曽根地区)

◆川口の作家の展示、美術品収集、保管。美術振興のための講習会、発表会。美術品の常設展示、企画展開催。有名作家の川口での講演、指導 (60～69 歳，横曽根地区)

◆アトリアのような自然の木のぬくもりを感じる温かいイメージ、訪れる人にやすらぎを与えてくれるようなイメージの空間 (60～69 歳，横曽根地区)

◆都内に行けば多くの美術館があるので、川口ならではの美術品の展示や多くの市民が利用できる場所があると良いと思います。(60～69 歳，横曽根地区)

◆ＮＨＫ跡、スキップシティ、市立川口等近辺に、喫茶室等も近くにあれば気軽に立ち寄れると思います。厳粛すぎると閑散として寂しいものになります。大切なのは交通の便もしっかりしている場所が良いと思います。(70～79 歳，横曽根地区)

◆気軽に足を運べて、鑑賞後にほっと出来る場があればいいなと思います。(70～79 歳，横曽根地区)

◆川口市民以外の人々が鑑賞に来られる様な美術館である事。美術館の中に絵画教室、絵画の鑑賞の仕方、楽しみ方などの教室を定期的に開催すると良いと思います。(70～79 歳，横曽根地区)

◆市外の人も美術活動が出来る、親しみやすく、交通の便が良く、文化的であるなど…。(80 歳以上，横曽根地区)

◆市の特長がふんだんに生かされた建物。常設展示で川口市の文化人を紹介。美術館運営のイベントを開催。(50～59 歳，青木地区)

◆利用する側に立っての検討を重ねて欲しい。設計の段階からいろいろな分野で活躍している方からの意見を参考にして、同じ失敗を繰り返さないで欲しい。(60～69 歳，青木地区)

◆東京に近い分だけつい東京方面に足が向いてしまいます。川口の中で企画物の展覧会、ワークショップを行ってもらうと楽しみも増えます。市民参加型。(60～69 歳，青木地区)

◆誰もが行きやすい場所で､緑に囲まれ､心やすまる所にあれば､子供の頃から美術に親しめて、生活も潤うと思う。(60～69 歳，青木地区)

◆今の川口に新たな美術館は必要ないと思います。川口といえば誰々の作品と言えるまでの人が残念ながら今の段階ではいません。それより今は足りない保育所をつくりたいです。待機児童ゼロのまちというのはどうでしょうか。アトリアも市民の発表の場だったはずですが、１年の内２ヶ月ほどしか市民は使えません。(60～69 歳，青木地区)

◆発表の施設（展示室）の使用は市民美術団体を優先として、また使用料を無料にする。駐車場の完備 (60～69 歳，青木地区)

◆特に「川口」を意識する必要はないと思う。むしろ交通の便が良いこと。中核市に見合った規模を持つこと、また国宝級の美術品を展示出来るための条件を備えておくこと、などが考えられる。(70～79 歳，青木地区)

◆スペース的に余裕のあるゆったりとした空間が必要｡リーズナブル(高コストパフォーマンス)で良質（非常にむずかしいが）な商品を提供するグリル（食堂）を併設する。その為には入札によるテナントが良いかも。(70～79 歳，青木地区)

◆川口の作家の作品を展示する。町の鋳物を知らせる竹ざお、かじやの作品 (70～79 歳，青木地区)

◆都心に近いため常設も企画展も不自由しないので、地域性を持った小さなものでよいと思う。(70～79 歳，青木地区)

◆黒川紀章の差品「ゴッホ美術館」のような建物で空間的な、そして憩いの場をもった建物を希望する。(80 歳以上，青木地区)

◆いわゆる企画展オンリーでは息切れ、他に意義がありません。市民の老若男女のあらゆる層が参加できる包括的なスペース運営企画が肝だと思います。(80 歳以上，青木地区)

◆県近代美術館の半分程度の規模、利便性を考えか川口駅付近（80 歳以上，青木地区）
◆駅から近いところが良いかと思います。市民だけではなく他の地域の人々にも足を運んでもらうにはアクセスの良い場所がベストです。川口市内にはＪＲ、埼玉高速線で８つもの駅があるので…。車いすやベビーカーなどの動線が良くバリアフリーには最新な構成にしてほしいです。収納スペースは大きい方がいいかと。市内在住作家の作品を多く収納することにより展覧会開催の費用も他所から借りるよりおさえられる。（60～69 歳，南平地区）
◆具体的なイメージはありませんが、単なる箱ものでなく楽しめ、利用価値のある美術館ができることを希望します。（60～69 歳，南平地区）
◆川口市の基礎を築き上げたものは鋳物産業であります。今でこそ工場は少なくなりましたが、その広い工場跡地にマンション群が建ち並び人口が増え、中核市へと発展してまいりました。そこで美術館の一部に鋳金工芸作品の常設展示場を設けて頂きたいと思います。できれば青木町運動公園の聖火台１号機を正面玄関に移設して、鋳物の街川口から聖火台の街川口へとアピールできれば良いと思います。（60～69 歳，南平地区）
◆常設館（川口のイメージがあふれる作品）と企画館（その時々の話題等を考慮した作品）の併設および企画、管理体制の確保。（60～69 歳，南平地区）
◆川口のいたる所は鋳物や工場やそれに添った感じが強いので、それらも大切ですが、田舎でもなく都会でもなく、サブタウンらしい、例えば宇宙のイメージとか、昼間のイメージと夜のイメージ、鑑賞する側が楽しめる。ガウディの建築のような非現実的であり、あたたかくやさしく迎え入れてくれるような建物がよい。（60～69 歳，南平地区）
◆日本をはじめ世界の巨匠といわれる作品を展示していただきたい。あくまで一流の本物を市民に見せていただきたい。（60～69 歳，南平地区）
◆有名な作家作品と共に市民の作品をＰＲされ、気軽に入れる雰囲気でしょうか？（70～79 歳，南平地区）
◆問７の項目があてはまる美術館があれば最高だと思います。（70～79 歳，南平地区）
◆既存の施設活用（公民館等）により、市内各地域で子どもから大人まで親しめる芸術の環境づくり。海外や一流の作品は川口で収蔵、展示するより近隣の施設で充分。（70～79 歳，南平地区）
◆東京都美術館が好きです！散策ができ、買い物ができ、食事ができ、展示あり、１日いても楽しくなる館。品格も大事です！（70～79 歳，南平地区）
◆グリーンセンターの様な所にあると素敵な感じがします。（70～79 歳，南平地区）
◆創作向上出来るようなものがあっても良いのではないでしょうか。（80 歳以上，南平地区）
◆川口は美術品の良い作品を持っている方が寄贈すると思う（80 歳以上，南平地区）
◆収蔵作品の展示＋著名（話題作家）の作品の展示会を開催できるスペースと市民が自由に使えるギャラリー兼用。駅周辺が望ましい。キュポールの図書館など改装。リリアの活用（80 歳以上，南平地区）
◆子供から大人、老人まで利用出来る様な所にして欲しい。人口増加はこれからも増えると思いますので、多様な人々が利用出来る様な場所に。講習会も出来ると良いと思います。（80 歳以上，南平地区）
◆川口市は東京都心に近く、大規模美術館が多く、有名なあるいは自分の好きな美術作品が数多く見られます。それに負けない美術品を購入、展示しなければ客は集まらないと思います。私は美術館というよりも川口市でなければ見られない郷土（歴史）資料館を造った方が良いような気がします。（80 歳以上，南平地区）
◆自然が多くくつろげる場所で雰囲気が良く、お茶目的で来られた方が美術もあるのかと美術は二次的に見ていただける場所が良いと思う。（40～49 歳，新郷地区）
◆リリア、アトリアだけで充分だと思いますが、強いて言えば、川口駅直結の小規模なスペース、

川口駅周辺の環境を整備して、ゲームセンターなどをなくし、駅ビルを作りその中に美術館を入れる。通勤、通学の人々が気軽に入れるような場所。今あるアトリアを改装する。３階くらいにする。（50～59 歳，新郷地区）

◆周辺の環境もあわせて市民がくつろげる北浦和の県立近代美術館が親しみやすく、市民としてはこのレベルの美術館が利用しやすいと思っている。家族連れで散歩がてら美術館に寄って鑑賞し、子ども達の情操教育の活性化にもつながると感じている。（50～59 歳，新郷地区）

◆有名な方の絵画なども素晴らしいですが、市民参加型で小中校生などの作品の発表の機会があればと思います。美術に関する楽しいワークショップがあればぜひ参加してみたいです。（60～69 歳，新郷地区）

◆国内外の格調高い美術品を集めて展示。館内に美術展示以外に創作指導室、美術図書室、ゆったりしたカフェ、世界の美術品が見られるオーディオ室（70～79 歳，新郷地区）

◆上野の森的に緑に囲まれた美術館は落ちつきますね。（70～79 歳，新郷地区）

◆川口は文化的には歴史がほぼなく、芸術を愛でる気風も盛んではありません。郊外に大きな美術館を建て、将来お荷物になるよりも、駅近くのビルの一室でこじんまりと気の利いた家族ぐるみで楽しめる、親しみのある美術館にしてほしいです。収蔵品を持たなければ、様々な楽しい企画も出来るでしょう。作品の寄贈は受けず、展示したい時は借りれば良いのです。（70～79 歳，新郷地区）

◆高年齢者が利用した時、休憩所がほしい。リリア等よく利用しても休む場所が少ない。（80 歳以上，新郷地区）

◆川口にゆかりのある作家の方の作品を多く。岩田健さんの作品がみたいです。四国は遠い！！（50～59 歳，神根地区）

◆川口にふさわしいというとなかなか難しいですが、思いつくがまま書かせていただきました。「美術が市民に身近な存在となるようなコンセプトの美術館」　①美術と市民との距離を縮める：現代アート（コンセプチュアルアート、インスタレーションなども含めた広い意味での美術）からのアプローチも良いのですが、現代アートからのアプローチは今までアトリアが中心に行ってきたので、絵画、彫刻など造形芸術としての美術と市民との距離を縮めるというスタンスでの企画や展示もしていただきたいと思います。企画展などはアトリアとの連携もいいかもしれませんが、アトリアと美術館の役割分担や差別化も必要であると思います。　②地元に根ざした美術の紹介：川口にゆかりのある作家の作品を中心にコレクションするのがいいと思いますが、それだけでは幅が狭くなるかもしれないので、それらをベースに県内外の関連作品も入れていくといいと思います。また、川口は鋳物をはじめとする「ものづくり」の町でもあるので、身近な職人の仕事のような作品もコレクションに入れ、常設展示で紹介することもいいと思います。　③市民の作品発表の場を提供する：市民の作品発表の場として、一般展示室を設定して常時貸し出せるようにできるといいと思います。これは知人等を通して市民が美術館へ足を運ぶきっかけにもなるでしょう。ただし、美術館での展示ですから、展示内容の審査を経て貸し出すことも必要かと思います。（50～59 歳，神根地区）

◆作品が５０点、１００点、３００点以上の区分展示が出来、天井高く、照明が充実し、収蔵品が確保出来て、駐車場があって、自然に囲まれている場所をイメージする。（70～79 歳，神根地区）

◆市民に向けた楽しめる場、いこいの場としてあって欲しい。一団体で行うのではなく、かたよりのない広い範囲で使用可能な建物が欲しい。現在は自己的な（一団体）面がみられると思います。（70～79 歳，神根地区）

◆外観にこだわらず、中身を充実したものにしてほしい。（70～79 歳，神根地区）

◆少数の特定の人々の税の使い方の様な気がします。（70～79 歳，神根地区）

◆広い展示スペースも必要ですが、市民が気軽に個展等発表が出来る鳩居堂のような狭いスペ

ースでも雰囲気の良い部屋に仕切れるのも良いと思います。（70～79 歳，神根地区）

◆交通の便の良い所、周りの自然環境も良く周りを散策出来る所、鋳物の川口のイメージの文化度をアップさせられる程の立派なもの、中途半端でないもの（70～79 歳，神根地区）

◆金属工芸など地場産業にゆかりのあるものなどの展示。美術全般にわたる文化活動の中心となる活動の拠点に。（70～79 歳，神根地区）

◆建設費用はなるべく小規模。緑にかこまれている。昔の技術、キューポラのイメージ。古くさくてもいい。現代につなげる明るい建物。（60～69 歳，芝地区）

◆常設展を充実させ交通の利便性を考えてほしい。少人数での展示会等も受け入れ出来るスペースも兼ねて頂けたらと。費用もあまり高くなく…。（60～69 歳，芝地区）

◆駅から近く、いつでもフラリと寄ることができる。どちらかというと若い層（？）が増えている町として、リリアやキュポラの様な既存の建物やビル内に設置することに賛成する。（60～69 歳，芝地区）

◆品格のあるデザイン、静かな環境、ゆとりのある安らぎの空間。館内の温度、空調、ライティング管理、駐車場の整備も必須でしょう。しかし、優れた能力のある館長や学芸員も必須で、建物は立派でもそれを動かすのは人間です。これがなければすぐ腐り出すでしょう。（60～69 歳，芝地区）

◆収蔵品の展示（常設）と市民ギャラリーを併設した方が良いと思います。いつでも美術に接する事が出来る様に…。（70～79 歳，芝地区）

◆常時（名作等）飾ってある部屋と個人、グループ等稼働できる部屋、又、研究会等生涯学習（成人学校（学生含む生徒、ボランティアを含む）のできる場所（専門）＋収蔵庫（70～79 歳，芝地区）

◆都心に近いので運営のしかたで県外からも集客が見込める展覧会が考えられる。（70～79 歳，芝地区）

◆有名な絵ばかりでなく市民の歴史画や、移り変わる町並み、鋳物工場の絵などを市民や子供達に見ていただきたいと思います。（70～79 歳，芝地区）

◆年に７回位展覧会があるのですが、道具を持参して練習が出来る場所、一日貸切であること。交通の便が良好であること。（70～79 歳，芝地区）

◆市民が気軽に入れる場としての美術館。それに参加出来る（例として、作品に触れる事が出来る）。現在アート作品は目で見る事のみが主流。（70～79 歳，芝地区）

◆川口市に美術館を作る目的は何か？と考えてみると、それは川口市民の憩いの場として美術品に触れ合うことは心にゆとりが生まれ、川口市に対する愛着の年が一層深まる事になると思う。又、展示品を観て小中学生に美に対する心が育まれると思う。美術館は他市に対する見栄ではなく、市民の心を楽しくして下さる方が良い。（80 歳以上，芝地区）

◆伝統の鋳物、キューポラ、機械騒音のイメージから一変した近代化したモダンな建築とし、明治文化躍進を表徴する色彩とし、単に美術鑑賞のみならず子供から大人まで自由に学習出来て憩いの場ともなる環境の美術館にして欲しい。現況下、グリーンセンターや今後出来る火葬場付近に設置できなものか。心などある場所を希望したい。（80 歳以上，芝地区）

◆交通の便が良く、ゆったりとした白い空間の中で作品が展示されて、一般の人が気軽に立ち寄れる美術館。端のほうでお茶を頂ける場所がある。（60～69 歳，安行地区）

◆自然と調和の取れた施設であること。あまりに交通の便にこだわると陳腐なものになりがちと思われます。（60～69 歳，安行地区）

◆文化施設が少ないので「多くの人が足を運べる」親しみやすい美術館（70～79 歳，安行地区）

◆交通の便の良い美術館を。小～大学生の作品、アマチュア、プロの作品などわかれて見られる美術館がほしい。（70～79 歳，安行地区）

◆他国、他県の美術品を備えるのでなく、川口市の内で代表と思われる事、物の収蔵と展示。（70

～79 歳，安行地区）
◆駅から近い。明るい室内。豊富な作品展示（70～79 歳，安行地区）
◆環境の良い場所と荒川沿いの見晴らしの良い所。グリーンセンターの周辺、緑の多く、近くに川がある場所（70～79 歳，安行地区）
◆近隣市町村との歴史的芸術家等と一体と考えてはどうか！例：蕨画塾（70～79 歳，安行地区）
◆概ね皆様が指摘されていた開かれた美術館、地元の文化芸術振興に寄与することが大きな眼目、テーマであると考えます。（70～79 歳，安行地区）
◆川口市の川口宿、鳩ヶ谷宿、日光御成道まつりが近年ビックイベントとして定着しつつある。この歴史的出来事と関連して、江戸時代の歴史的背景をベースに江戸時代、近代の美術の流れを踏まえた時代を中心とした美術館のイメージを造りあげること。（80 歳以上，安行地区）
◆地域性のあるものの企画を含め、特化した作品展示、他と違うスタンス（50～59 歳，戸塚地区）
◆作品を鑑賞する事で心に安らぎを持てる様な美術館（60～69 歳，戸塚地区）
◆都心に近く、広い土地の確保は難しけれど、こせこせしない空間がとれる様に考えてほしい。ここに来れば心の解放ができる様な…。（60～69 歳，戸塚地区）
◆広く市民が使用できる美術館が良い。（70～79 歳，戸塚地区）
◆グリーンセンター内に自然と一体のもの、グリーンセンターが変わる、生きる。駐車場設備必須。川口居住の作家の発掘、育成、顕彰、文化芸術家が住む中核都市。（70～79 歳，戸塚地区）
◆建物だけでなく周りに緑があると良いと思います。（70～79 歳，戸塚地区）
◆埼玉の表玄関にふさわしい近代的な建物であってほしい。老若男女どなたでも行ってみたい、是非入って見てみたいという気持ちになって、しかも安全性の為にエレベーター等取り付けてほしい。川口にふさわしい鋳物で作った工芸美術作品を玄関に陳列したら良い。（70～79 歳，戸塚地区）
◆川口市民で美術活動をしている人達に展示、発表の場を提供したり、講習会等で技能、技術を伝えレベルアップが図れる施設であること。駅から近く交通の便が良いこと。将来に向かっても他市に誇れるような施設を備えていること等である。（70～79 歳，戸塚地区）
◆寄贈された優れた美術作品の量が分からないので答えかねます。箱物だけに市税が使われたり、維持管理に負担がかかる様でも困ります。都内での美術展を見に行く機会が多いので川口市に美術館はあまり必要を感じません。アトリアの規模を大きくし、寄贈作品の展示会を多く計画し、市民へのＰＲ活動に工夫して欲しいと思います。（70～79 歳，戸塚地区）
◆環境の良い親しみやすい（年齢を問わない）利用料金の安い所であってほしい。（70～79 歳，戸塚地区）
◆川口の美術館に行ったらあの作品に出会える、そういう作品の収集を望みたい。現在、川口在住で個人が所有する著名な作家の作品の調査とその借用、買い上げ、寄贈を望みたい。市民の市民による市民のための美術館では中核市では物足りない。ワンランク上の人をひきつけてやまない優れた作品（無理だと思うが）。（80 歳以上，戸塚地区）
◆リリアの様に便が良い事（80 歳以上，戸塚地区）
◆川口の産業、文化に根付いた感じの美術館が良いと思う。（40～49 歳，鳩ヶ谷地区）
◆多くの人が足を運びやすい場所に存在し（川口駅周辺）、入りやすく誰もが鑑賞したくなるような外観を持つ美術館。（50～59 歳，鳩ヶ谷地区）
◆上野をはじめ都内近郊には数多くの美術館があるので、もし川口市に出来るのであれば、会場へのアクセスの良いことと、子供が入りたくなるような、例えば小さな建物でもガウディの弟子ジュジョールが制作した「卯の家」のような美術館が夢があって楽しいのではないでしょうか。（50～59 歳，鳩ヶ谷地区）
◆中核市にふさわしいデザイン性のある建物が良い。東京にも近い場所であり交通至便な市で

あるので、市外からの来館者を考え、立地は駅の近くがよいと思います。著名な作家の作品に加え、川口にゆかりのある（在住の）作家の作品も多く展示してほしいと思います。（50～59歳，鳩ヶ谷地区）

◆川口市内で活躍している人のコーナーや、子ども達や社会人まで利用できるコーナー、有名な企画展や特別展等もよいと思う。絵本等の企画展もうれしい。（50～59歳，鳩ヶ谷地区）

◆“川口”の自然環境と都市からのアクセスをいかした特徴をもち、他には類のない美術館を希望します。絵画、彫刻、工芸、書等様々な学芸員を有し、市内外からの寄贈作品に対応し、かつ、これらを賃借できるように願います。これをもって展覧会運営に発展できると思います。収蔵作品の保管管理が充実していることが必要であります。作品の搬入搬出として館周辺の道路事情も検討いただきたいです。（50～59歳，鳩ヶ谷地区）

◆基本的には川口出身又はゆかりのある作家の作品を収蔵、展示する美術館だと思います。（60～69歳，鳩ヶ谷地区）

◆・交通の便、使用料金、天井の低さ、搬入、搬出の不便さ。展示場所（区画や展示方法の不便さ、来場者への配慮、空間がとれない）。専門的な美術館として多種目的でないこと。６部としての展示室の間取り（６部屋のほかの他種の間取り）。総合案内、車の駐車場等（70～79歳，鳩ヶ谷地区）

◆伝統工芸品（鋳物）や染め物、体験型美術館（大人向け）（80歳以上，鳩ヶ谷地区）

◆川口市の作家の作品を集めてほしい。拡散してしまうと手遅れになる。有名な先生が多数います。まず最初に取り組むのはこの事と思います。（無回答，無回答）

◆一目見て又は外観で美術館とわかる高級感とおしゃれな建物を望みます。アトリアは美術展示してる所に見えないので、どこなの？とよく聞かれます。（無回答，無回答）

◆美術品を購入して展示するか、それとも在住の方の作品展示の場を提供するのか。何より交通の便が大切。絵を見る機会はあるので美術品購入して展示の必要はない。予算も大変。（無回答，無回答）

◆自然が感じられる美術館（無回答，無回答）

◆①川口市らしい収蔵品と展示（鋳物工芸品、キューポラの写真等）②他県からも見たいと思える催し物を行う（60～69歳，無回答）

◆①駅に近くて誰でもすぐに鑑賞できる。②グループ展ができる箇所と企画展ができるところを作って欲しい。（無回答，無回答）

◆アトリアのように天井の高いギャラリー。市長の作品が展示できる広さ。常時美術展示のある空間。交通の便のよい所（無回答，無回答）

15. 美術活動発展のための意見等

（美術家協会会員の方々に）
問13　市内の美術活動をさらに発展させるため、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

※全回答を掲載

◆ポイントは２０代、３０代、４０代の興味はあるが忙しくて美術と接点の少ない年齢層の誘引。その層に対して短時間で美術を楽しんでもらえる美術館は意外と有効なのかもしれない（内容が濃ければ）。次に中高生。この層は意外と美術に興味が強い。が、しかし、学校だけの環境では美術とどんどん接点がなくなりやすい。学校帰りに見てみたい美術館があれば非常に良い教育環境ではないか。そして、５年後彼らは社会人です。美術に親しみををもった立派な川口市民です。
◎都市の中心地に位置する美術館の存在意義
聞き及ぶ構想通りの立地で計画が振興するとしたら、首都圏でも希有な好立地都市型美術館の一つとなる。それは芸術、美術に興味のある一握りの層のためだけにある美術館ではなく、全ての市民と都市そのものの文化発展のためにある美術館になる必然性がある。
◎川口にしかない美術館
川口の特性
・人口増加都市…転入者多数＋高出生率＝子供～労働世代が比較的多い。労働世代層は芸術、美術と疎遠になりやすいこと、子供は将来性を考慮して、この層の嗜好性と注目度には特に注視が必要。それをよく理解し育成、協調、活性化できる方向性を模索、工夫することが重要。・東京隣接…好利便性＋北関東玄関口＝「ほぼ東京」
東京駅や上野まで鉄道で直通する立地である以上、それと競うのは無意味。しかし、ほかの東京隣接地（横浜周辺、東京臨海地区、多摩八王子地区、千葉臨海地区など）の文化施設、展示施設と競合しても独創性や存在感を主張できる美術館を目指したい。
具体的な案
・都内の大型美術館と競合しない独自の価値観を模索する。独創的（川口ならでは特異性）かつコンパクトな展覧会
美術性を十分に考察しつつ、他の美術館にはあまり行かない層が率直に面白いと思って足を運ぶ企画。アトリアでの前例を見ても明らかな通り、前衛的、難解なテーマ性に偏った現代アートには若年層もほとんど興味を持たないことを過去の最大の教訓としたい。古典、近代の美術の展覧会も魅力的ではあるが、都内他美術館との競合を考えると、そういった展示ばかりを企画する必要性は少ないと思われる。市内行事と連携、またアトリア、リリア、スキップシティなど他施設と連携して企画を開催することで相互の周知、集客を活性化できるのではないか。
具体例
・スキップシティと連携してＮＨＫ関連の展示…各ドラマ展、Ｅテレ展、ＮＨＫスペシャル展、報道展、こども番組展など
・映画祭と連携して映画機材展、アニメのセル画展など
・御成祭りと連携して江戸文化展、徳川名品展
・映像の街としてコミック、アニメ、ゲーム等の原画展など
・たらら祭り＋オートレースと連携してバイクデザイン展

・開館時間の検討…夕方５時に閉館する美術館では川口駅直近の地理的利便性の十分なポテンシャルを発揮しきれないと考察する。例えば、夕方に仕事や学校が終わってから電車を利用し駅付近で用事を済ませた時点でもまだ開館している美術館であるとすれば、川口駅直近の立地条件をして必然的に労働世代や学生の入館者数の増加を見込める。少なくとも１９時閉館。できれな２０時閉館。金、土曜なら２１時閉館を検討していただきたい。部活動を終えた中高生もバイト帰りの学生さんも気分転換に立ち寄れる。むしろ、家族で夕食後にそろって美術館へ。平日でも夕方からファミリー層が憩う場所。コストなど都合によっては開館時間が１２時ぐらいになっても良いのかもしれない。午前中に美術館を利用する層の多くは高齢層、主婦層さらには既に芸術、美術に強い関心のある層であると予測でき、開館時間にかかわらず興味がある展示があれば積極的に通う層であると推測できる。逆に今までは学生も労働世代も勤務時間や就学時間が終わった後では施設が閉館していたのだから、美術館に行きたくても閉めだされてきたとも言える。そういった今まで美術とは接点が少なかった層にも親しみをもってもらい、新たな文化的波及効果を生みだす美術館でなければ、市の文化発展の拠点として本来の意味で不十分である。

・年間パスポート（のようなもの）の導入…収益性よりも市民の文化高揚を目的とするのであるなら、一定額で入館し放題の年間パスポートなどを積極的に取り入れてはどうか。例えば、企画＋常設展７００円、常設展のみ２００円程度の料金っだったと仮定したら、一人２０００円で一年間入館し放題であれば購入者は少ないと推測する。

各論的な具体例は状況に応じて変化するし、上質なコンテンツを提供する必然性も存在するにせよ、できる限り多くの市民に愛される美術館でなくては、わざわざ建設する意味も薄れてしまう。

建設、運営の際に比較、参考とするのは美術館ばかりである必要はなく、多くの人の心を豊かにする施設全般であってもよい。たとえば都内のコンパクトな水族館（すみだ、品川、サンシャインなど）などの空間利用方法の展示の工夫、エンターテインメント性は非常に優れている。そういったいろいろな施設の展示形式も比較。参考の視野の入れて広い意味での市民が愛着を持てる美術館になって欲しい。市民に愛されるといった言葉だけでは目標が漠然としてしまいがちなので、数値目標として運営が安定し広報、周知が徹底される開館３年後には「市民の１０％が入場したことがある」美術館であってほしい。その後も「市民の５％が１年に一度は来場する」美術館であることを目指して欲しい。※ただし入場者数の総合計ではなく固有の個人の人数であり、同一人物が複数回入場した場合は１人と計算する数値として。（30～39 歳，中央地区）

◆市内に美術館ができて気軽に鑑賞できる様になる事はとても良いことだ思います。市内の小中学校の授業の一環として見学に行ったり開館時間を長く取る事で仕事帰りの方も立ち寄りやすくし、子供から大人まで全世代が少しでも多く芸術に触れる機会を増やしていただければと思います。（30～39 歳，中央地区）

◆子供たちが美術を楽しめるプログラムがもっと増えればよいと思う。（50～59 歳，中央地区）

◆物作りの町として発展してきた歴史のある町なので、その精神を伝え、その業を学ぶ場所があって、多くの人々が参加できる様な機会を増やしていければと希望します。（60～69 歳，中央地区）

◆小、中学生を対象とした美術展をたくさん行う。（70～79 歳，中央地区）

◆アトリアやリリアなどで低料金の絵画教室や工芸教室を開いてほしい。（70～79 歳，中央地区）

◆芝園中などで活動してる人がいるが、教室や体育館を利用して展示室をつくり、小額入場料で一般の人にも入場できる美術館を。市の施設をもっと利用して展示場を地区地区にもっと増設してほしい。（70～79 歳，中央地区）

◆美術館を通じ美術への認識を高めたい（80 歳以上，中央地区）

◆①美術館の建設　②アーティストの支援　③アーティスト同士や市民との交流の場　④市営のアトリエ　⑤アートコーディネーターの育成　⑥展覧会等のあり方を考える。美術家協会の会員になっても何のメリットもない。さらには運営、審査をしても全てボランティアになってしまうので。（50～59 歳，横曽根地区）
◆川口市展をもっと伝えて、幅広い年齢層の人達の出品が増えたらいいと思う。（60～69 歳，横曽根地区）
◆実現できる日を楽しみにしております。（60～69 歳，横曽根地区）
◆市美術展の活性化。若い人のために美術を啓蒙する場の提供。若い美術家への支援（60～69 歳，横曽根地区）
◆以前幕張にあった北澤美術館が好きで良く行きましたが、なくなってしまいとても残念です。清里の北澤美術館も閉館しましたね！良い美術館が無くなってしまうことは悲しいことです。そうならないよう維持し、良い作品展示、ワークショップ等で活動していくことが大切かと思います（全道展より参照）。（60～69 歳，横曽根地区）
◆川口市展にも力を入れて特別展示等の企画があると嬉しい。（60～69 歳，横曽根地区）
◆各地域の絵画クラブの作品を順番に１ヶ月くらいずつ展示できる場所があればと思います。見知らぬ他のクラブの人達がどんな活動（スケッチ旅行やデッサンｅｔｃ）をされているのか勉強になると思い、又興味があります。交流も自然と生まれると思います。（70～79 歳，横曽根地区）
◆小学生、中学生、高校生が授業の一環として絵画等を鑑賞する機会を多く設けてほしい。子供が美術とふれあう事により健やかに成長すると思います。（70～79 歳，横曽根地区）
◆賞を多くし美術活動に多くの市民が参加し発展につなげる。これからの人達が脚光をあびる事のできる活動の場。高齢者の初心者にも興味を持ってとっつきやすい活動内容を提供してほしい。募集人数も広く多く設けて、たくさんの人が参加でき発展する様にお願いしたい。レストランも入れてほしい。（50～59 歳，青木地区）
◆美術活動等にもっと予算を充てて欲しい。利用者が使いやすいことを第一に考えて欲しい。市内在住者に利用しやすくして欲しい。（例、現在リリアの展示ホールは、市民も他県の方も使用料等が同じなのはおかしいと思う）中核都市として誇れる活動をお願いしたい。（60～69 歳，青木地区）
◆川口市の美術展を拝見しても、他県、他市に比べると、質の高い作品が多く見られます。プロ、アマに関わらず、創作活動をしている方々が沢山いらっしゃる事と思います。さらに発表出来る事、発表する場所がある事が望ましいと思います。（60～69 歳，青木地区）
◆若者達の美術（絵画）コンテストを毎年行い、新しく出来る美術館で展示する。（60～69 歳，青木地区）
◆せっかくアトリアがあるのですから、もっと自由に市民の発表の場として使えるよう以前のように戻してほしいです。（60～69 歳，青木地区）
◆川口市文化振興基金の文化振興助成事業の制度見直し。市展並びに市関係美術団体等の美術展の出展において、市内及び市外の中学校、高等学校、大学生の出展を奨励し、また出展料は無料にする。（60～69 歳，青木地区）
◆芸術に対する市民の関心を喚起することが必要。そのためには、美術協会などが中心となり、小規模でもよいが機関誌等を発行するのも一案。また小中学生の芸術指導をより重視させ、各種の学童の展覧会などを行うなどの将来を見据えた方策も考えるべきと思う。（70～79 歳，青木地区）
◆公民館での美術講座が少ない気がする。講師の質も含めて啓蒙が必要。（70～79 歳，青木地区）
◆入場無料で誰でも観られる会場（70～79 歳，青木地区）
◆閉鎖性に注意（70～79 歳，青木地区）

◆高校生の活動をもう少し多めに取り入れたらどうでしょうか。（70～79 歳，青木地区）
◆川口市は都市計画に関する事務など独立に行うことが出来る中核市ですので大賛成です（美術館建設には）。（80 歳以上，青木地区）
◆究極は小中学校の教育課題ということになるのでしょうか。昨今、部活言えばスポーツですが、それをスポーツ、文化、ＩＴと３つのエリアを体験させるのは如何でしょうか。（80 歳以上，青木地区）
◆将来を考え小・中・高校生の作品を展示する場を設ける。父兄、知人の入館が期待できる。（80 歳以上，青木地区）
◆美術館の外観やデザイン性よりも使い勝手が良い方が絶対にベストです。例えば、北浦和の県立美術館や六本木の国立新美術館のように外観重視の美術館は展示などに不自由な面が多々あり、利用する者として困る場合が多いので。高名な建築家に設計を依頼しないでほしいです。無駄な税金は使わない方向でいっていただきたいです。（60～69 歳，南平地区）
◆小、中、高校生への美術に関する興味をかきたてるような施策を実行する。例えば市展にも小学生、中学生、高校生の作品が展示できるようにする。（60～69 歳，南平地区）
◆メディア（図書、インターネット等）を活用して展示会や美術作品、美術関連の活動状況等の情報が手軽に得られる場がほしい。１０名～２０名程度の会員が手軽に作品展を開催できる場所がほしい（川口駅近場で照明等の設備環境が整っている）。（60～69 歳，南平地区）
◆美術館は堅苦しいので失礼ながら個人のお宅でも見学（数名）させて頂きたい。そこには必ず自由気ままに作った作品があるはず。展示会に出展されてる方々も悪い気はしないはず。彫刻家の方に会いたい！！（60～69 歳，南平地区）
◆市内の美術活動…市民が日本、世界の歴史上あるいは現代の本物の美術、芸術を目にする機会を多く提供することが大事なことで、計画されている美術館がその役割を担えることを期待します。偏ることのない考え方による美術品等の選択が大事だと思います（市民が創作に参加すること等はアトリアでワークショップなどで行われているので）。例えば、東京富士美術館と姉妹美術館になるなどして連動できるとすばらしい。美術館へのアクセスに近隣の商店も参加していくと（美術館へ誘導するような仕組み）経済効果も期待でき大事な要素だと思います。（60～69 歳，南平地区）
◆非常に難しいと思います。若い方達は余裕がなく、子供の教育費。高齢者で持っている現状の美術界、若い方達の力が欲しいです。（70～79 歳，南平地区）
◆子供に夢を！そこにも愛とチャンスを！（70～79 歳，南平地区）
◆有名な絵画等をお願いしたいと思います。（70～79 歳，南平地区）
◆高齢化が増えて絵画教室が欲しい。民間の施設は高い（月謝）。（80 歳以上，南平地区）
◆終わった人が自由に出入りできる施設があれば。（80 歳以上，南平地区）
◆市民が楽しめる場所になると良いでしょう。（80 歳以上，南平地区）
◆公募展で高額の賞金を出したり買い取って市内に設置する。（40～49 歳，新郷地区）
◆アートギャラリーアトリアの利用料を市民にはもう少し下げていただき、美術系の学生達には発表の場として一般より安価で利用できるようにするなど。（50～59 歳，新郷地区）
◆まず子ども達に芸術、美術の関心をもたせるような働きかけをしてほしい。市民の中で美術活動している方たちとのふれ合いの機会をつくって頂きたい。又、美術活動は大変お金がかかるので若い子たちは中断せざるを得ない。美術活動にも行政の支援をして頂ける窓口を作ってほしい。中核市としての文化向上は川口の未来を写していくはずです。（50～59 歳，新郷地区）
◆レベルは高くなくても美術を楽しんでいる方はたくさんいると思います。楽しく、明るい展示施設があれば…。（60～69 歳，新郷地区）
◆①市展参加者の事前絵画の指導会。②美術の基本的な教育に参加出来るカリキュラム。③町全体をアートな環境作り（70～79 歳，新郷地区）

◆子供達に芸術の種を蒔くことが大切と思います。海外の美術館では、床に寝ころんで先生から作品の説明を聞いたり、模写したり、又若いママが乳母車に子供をのせて鑑賞している姿を良く見ました。子供達と又行ってみたくなる様な美術館を望んでいます。平面にかぎらず、面や埴輪、染や織、衣装、ガラス、陶器等、若い女性にも興味のあるものも展示してほしいです。（70～79 歳，新郷地区）

◆リリアの３Ｆギャラリーは人気があって取るのが大変。アトリアは駅から遠くて使用料が高い。（70～79 歳，新郷地区）

◆指導者の好意に甘えだけではいけないと思います。（80 歳以上，新郷地区）

◆産業文化会館の跡地を売却するのでなく、美術館やものづくりの専門学校などつくってほしいです。（50～59 歳，神根地区）

◆なかなか難しい問題だと思いますが、美術を市民に身近なものにすることが大切だと思います。これは日本という国全体でもいえることですが、難しいことでもあります。始めはイベント的な現代アートで敷居を下げるのも良いのですが、そこから造形芸術としての美術へきちんとつなげていけるのが理想です。では、具体的にどうすればいいかというとなかなか名案が浮かびません（50～59 歳，神根地区）

◆さいたま市のような美術、工芸に関する設備の整っている施設が足りないと感じています。短期の講座などで体験できればもっと興味を持つのではと思います。（60～69 歳，神根地区）

◆創作活動が出来る施設を設ける。（70～79 歳，神根地区）

◆現在「アトリア」がありますが、大変使用しづらく（面積に対する展示スペース、活動）アトリア等、建設した建物をもっと有効に活用して欲しい。場所的には市の中心地で便利ですが、地上の面積を広く取り、地下１階とし、Ｂ１～３～５階建てに出来ないでしょうか。有効活用（展示制作場等）して欲しい。幼、小、中、高の方も制作出来る場、展示出来る場があっても良いのでは。（70～79 歳，神根地区）

◆公民館以外にも美術の勉強の場がほしい。（70～79 歳，神根地区）

◆寄贈された優れた作品等、市内で見ることが出来れば創作活動への発展にもつながると思う。（70～79 歳，神根地区）

◆ギャラリーをもっと増やして欲しい（70～79 歳，神根地区）

◆美術館内に研修室など併設する。川口市展などの公募展や企画展を増やす。文化庁の「リーディングミュージアム」には直接関係ないと思いますが、日本も先進国並みにアートへの注目度が今後上がっていくのは確実なので十分に検討して下さい。有名な美術品は益々値上がりしてしまうので必要ない。所蔵品を誇りようなことは不要です。（70～79 歳，神根地区）

◆賞とりレースばかり、本来の美術を高めるということから逸脱している感あり。美術を始めるにしても費用の面で…負担が多い感がある。（60～69 歳，芝地区）

◆学校とコミュニケーションをとり学校公開日等にして創作活動の後援などをして、各々の分野で裾野を広げていただけたらと思います。（60～69 歳，芝地区）

◆市内の公民館では本格的な大型の絵画制作には向いていません。室内が狭く、イーゼル等を収納する物置に限界があります。現在の（旧）芝園中学校のような「芸術村」を作り、常に芸術を愛する者達がアトリエとして(安い賃貸料で)使用できる場を作って頂けましたら幸いです。（60～69 歳，芝地区）

◆事務的でなく本気になること（60～69 歳，芝地区）

◆絵の好きな子供の為にフリーな教室があればと思います。（70～79 歳，芝地区）

◆町内会文化部など連携（公民館含む)。役所の担当で積極的（仕事としてだけでなく）な市民として働く意欲ができたらいい。地方の美術家など市民に顔の見れる動きをしている所もあります。（70～79 歳，芝地区）

◆市内の美術展でリリアもあるが、狭く高さもないため、とても作品を主体に考えていると思え

ません。芸術作品の展示にふさわしいあり方を考えないで、中核都市の名に相当な専門的な高い視点をもって発展させるべきと思います。（70～79 歳，芝地区）

◆ワークショップ、予算増（市展）（70～79 歳，芝地区）

◆市の美術活動は２０年前に比べれば高齢の為昔ほど活力がなくなってきたと思う。又、若者達は日々の生活に追われ芸術に対する愛着が少なくなったと思う。スマホの影響が大きいと思う。川口の美術館が美術活動の拠点になることを切望する。（80 歳以上，芝地区）

◆私は長年にわたり浦和や上尾、伊奈の美術館に作品を出品（油絵）してきました。特に伊奈の県活センターに２５年世話になりましたが、是非川口にも美術館の設立をお願いする切であるとして、海外、特にフランスの様に美術館で自習して美術心育成している様に出来るなら交通至便な所に美術館を建てて、市民の幼年から老人まで見たり触れたり作ったり手近に美術を楽しみ、市民の人間関係に心のゆとりを醸成すると思慮します。小学生の頃より美術館を利用して美術活動の輪（グループ）が大人に至るまでこの輪がつながり人間関係ができて市民全体に波及するでしょう。上尾市はよい見本です。いくつもの美術団体があって展示、展覧会が開かれています。今回川口にも美術館が６０万都市の面目にも更に博物館が欲しくなりますが、まずはこれで川口市長奥ノ木様で竣工し面目躍如されますことをこれねがう次第です。（80 歳以上，芝地区）

◆指導者の育成を重視すべきではないでしょうか。さらには感性を育てる為にも自然環境を大切にする必要があると思います。（60～69 歳，安行地区）

◆各公民館活動の中で専門性もありながら、美術館に発表の場を広げられるようにしては。（70～79 歳，安行地区）

◆川口市の広報に各公民館の美術展情報を掲載してほしい。（70～79 歳，安行地区）

◆活動は継続して初めてこの先も展望が開かれるものと思っています。市の支援は欠かせないと思います。（70～79 歳，安行地区）

◆美術の展覧会の賞に素晴らしい作品がありますが、中には理解出来ない作品があるような気がいたします。（70～79 歳，安行地区）

◆時代の流れに必要性が薄くなった建築物（学校、施設等）を開放してほしい。市民のアイデアを取り入れる。既存の施設を多目的に。市民の目で。（70～79 歳，安行地区）

◆１２の諸条件を充たすよう多くの議題として討議、討論して進める。全国の美術館の実態を可能な限り参考にして、他美術館との競争ではなく、独自の企画内容、集客法を優先していく方向にすれば良い。（70～79 歳，安行地区）

◆小中学校から楽しい美術（枠にはまらず）という体験がもう少しあったらと思います。（60～69 歳，戸塚地区）

◆鋳物の伝統を生かして、工芸や彫刻作家のメッカになれば良い。街路景観、メモリアル作品など、創作教育など出来れば良い。７０万都市に向かって美術館は市のシンボルとなれる確信する。（70～79 歳，戸塚地区）

◆①川口市美術展の審査員以外の埼玉県、東京の名の知れた先生方を招き、１～３日間のカルチャーの教室を開き、幅広く多くの人に興味と技術をもっていただき美術愛好家を沢山つくること。②市展の審査員の先生を川口市在住の方だけでなく、埼玉県周りの地区内からも取り入れてほしい。（70～79 歳，戸塚地区）

◆美術の公募展の審査は公平性を保つ為、第三者を加える。美術館に有名な作家の作品を展示すると予算が高額となる。市展の作品を多く展示出来るようにして欲しい（制作意欲の高揚が図れる）。（70～79 歳，戸塚地区）

◆中核都市だから美術館をという発想には違和感があります。美術館建設よりも保育所建設と内容の充実や学校教育や教員増を望みます。立派な人材育成のため。（70～79 歳，戸塚地区）

◆美術作品を収蔵することより心が豊かにゆとりが生まれるような美術館になって欲しい。（70

～79 歳，戸塚地区）

◆市内だけの美術活動は自己満足に陥りやすい。有名な作品の借用なども考慮して広く交流し多面的な視野に立ち優れた作品の収集を望みたい。ただ高価な芸術品を買い入れても、それに合うだけの経済効果があるかどうかは疑問である。宝の持ち腐れになることも懸念される。これは本当に難しい問題である。（80 歳以上，戸塚地区）

◆美術館と名のつくものを建設するのであれば、中央の展覧会も呼び込めるようにするのもいいと思います。メジャーな名の知れた展覧会も開催して欲しいです。（50～59 歳，鳩ヶ谷地区）

◆コミュニケーションを大切に多くとることです。（50～59 歳，鳩ヶ谷地区）

◆“川口らしさ”を全面に持ち、川口美術家協会の先生方とも意見を合わせ取り組んでいけたらいいと思います。様々な角度から美術館建設構想は練り上げられなくてはならないと思います。アンケート回答において、順をおっていないところがあるかもしれませんが、ご対応の程よろしくお願いいたします。（50～59 歳，鳩ヶ谷地区）

◆特に妙案は浮かびません。（60～69 歳，鳩ヶ谷地区）

◆美術館専門の広報（70～79 歳，鳩ヶ谷地区）

◆利便性のよい場所に美術館を建てる。産業会館の跡地に美術館を…。工芸の専門学校をつくり若者に工芸を学ぶ機会を増やす。その隣に美術館をつくる。例：ものつくり専門学校（80 歳以上，鳩ヶ谷地区）

◆小、中、高の学校の取り組みからと思う。発表の場所等、非常に少ないと思う。（無回答，無回答）

◆中央あるいは海外芸術家による作品展や講演を増やして欲しい。（60～69 歳，無回答）

◆市民が気楽に楽しめる空間としてください。美術を鑑賞できる空間、市民の作品を鑑賞、発表できる空間、作品を創作できる空間がほしいです。美術館の場所として今のアトリアを改築するとか増築するとかしていただけたらいいと思います。（無回答，無回答）

16. 川口市の美術に関する施策への意見等

（市内在住の男女、Ｗｅｂ調査回答者に）
問９　川口市の美術に関する施策について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

※回答の一部を掲載

◆上野の美術館とまでは言わないが、美術館を作って頂いたら、有名な絵画の展示に力を入れてほしい。美術に興味のない層も来たくなるような話題性のある企画モノの展示。川口市にゆかりのある方が残していかれた美術品の展示。川口市の歴史に関する美術の展示。→新潟市にある歴史博物館みなとぴあのようなイメージ。子供達の教育に役立つ美術の展示。（18～29 歳，中央地区）
◆美術が好きで、よく美術館に足を運んでいましたが、去年赤ちゃんが生まれて、なかなか行くことができなくなってしまいました。もし川口に美術館ができるのなら、赤ちゃんや子ども連れでも入りやすい所になると良いなと思います。できれば赤ちゃんの授乳室（調乳室）やおむつがえコーナーもあると行きやすいなぁ…。（30～39 歳，中央地区）
◆川口市民だけではなく外から人が集まるよう、魅力ある展示内容や、ゆっくりお茶やランチをしたくなる空間造りを実現してほしい（40～49 歳，中央地区）
◆美術館が近くにあれば見に行ってみたいです。（50～59 歳，中央地区）
◆既存の施設（リリア、アトリア等）を充実させる。近くに大きな美術館（県立北浦和、都内と都立、国立）があるので、それ以上のものを建設、維持するには財政的負担が大きすぎる。（60～69 歳，中央地区）
◆川口市独自の美術に関する展示物があれば、是非美術館建設の際に展示公開して下さい。（70～79 歳，中央地区）
◆リリアあたりに美術館ができればいいなと思っていました。現時点でのリリアは何が行われているのかよくわからないので、一年に二度行けばいいほうです。ＴＶ放送等で取り上げられるような有名な作者の展覧会が川口で行われるようになるといいですね。（80 歳以上，中央地区）
◆話題性、おもしろさを兼ね備えていないと流行ることはないと思います。小、中学生向けに自由研究でも使えるテーマのあるコーナーをつくるのもいいかと思います（みんなが同じものをする可能性があるため、それが理由で逆に利用しない可能性も有り）。美術とは関係ありませんが、アリオの横あたりに駅をつくってほしいです。ＪＲじゃなくても、地下鉄を開通するなど…。そうすればアリオ利用者も増え、リボンシティに住んでいる人も楽で嬉しいと思います（７年前からずっとあればいいなと思っていました）。（18～29 歳，横曽根地区）
◆子供達の社会科見学など、教育の場ができ良いと思う。（30～39 歳，横曽根地区）
◆川口駅近（歩１０分以内）なら企画展（アニメ、ｇａｍｅ、映像…）次第で市外からお客さん来てくれそう。西口公園の奥、公衆トイレがある辺り、あまり栄えていないので、カフェやショップ等いい感じで街づくりできると桜がさけば市民が集まり、普段は子供がワイワイ遊んでてちょっとした文化エリアに出来そう。もし、駅近に出来ないのなら大きな公園の中にあるような東京都現代美術館のようなものが好ましいかも。（40～49 歳，横曽根地区）
◆美術より音楽ホールをリリアに頼らず作って欲しい。（50～59 歳，横曽根地区）
◆市内の幼児、児童、生徒の作品や市民、作家の作品を公的施設を全て利用し、年間（毎日）を通して展示し、紹介文などを添えて、いつでもどこでも誰でも参加したり、観たりできること

をまず検討してほしいです。市内には公的施設が多数あり、美術に特化した施設にいかなければ観る、参加できない仕組みは、全市民の実態を考えた方策にはならないと思います。公民館、図書館、スポーツ施設、学校、保育園、幼稚園、保健所など、どこでも可能であること、身近な場所であればこそ常に関心が持て、郷土愛（互いを知る、地域を知る）ともなると思います。（60～69 歳，横曽根地区）

◆税金はあまり使わないで、市の有力者、市長、議員（国会、県会、市会）等の出資を集めてほしい。（70～79 歳，横曽根地区）

◆美術館の大きさ、デザインより展示内容を重視して欲しいです。以前、高崎市美術館に行きましたが、そんなに広くもない、設備も充実してはいないけど、展示内容（展示作品）がとても良く、大人になっても心に残っています。そんな美術館ができるのを楽しみにしています。（18～29 歳，青木地区）

◆つまらない内容だったら、お金のムダになるので作らないでほしい。子供たちも見られて、深い関心と興味が持てるものがいい。建物だけ建てて、内容がからっぽなのはやめてほしい。期待しませんので、お金のムダ遣いはやめてほしいです。でも魅力的で面白いものだったら嬉しいです。（30～39 歳，青木地区）

◆市民や現在の人の創作物の発表の場であればある程度あってもいいと思うが、過去の美術品には興味ない（40～49 歳，青木地区）

◆川口市が中核市になり美術館の新設も考えられるが、維持するにあたり、採算性を考えて必要がないと思う。川口市は東京都に近い為、やはり規模が違うので都内の美術館とはスケールが違う。無駄である。（50～59 歳，青木地区）

◆川口には美術館は似合わない。川口の地下の自転車置き場を明るくきれいに改修して下さい。危険を毎回感じています。いつか事件がおきるのではないかと…。（60～69 歳，青木地区）

◆東京都、さいたま市に立派な美術館がある。川口市に絶対に必要ない。（70～79 歳，青木地区）

◆交通の利便性を考えて、駅のそばではなく駐車場が広くとれる場所にして欲しい。展示の情報を知らせて欲しい。（80 歳以上，青木地区）

◆無理に作らなくて良い。他があるからといって作るのはおかしい。他にお金の使い途を考えるべき。（18～29 歳，南平地区）

◆とても時代遅れ。アトリアは美術館ではないのでしょうか。所蔵したいなら倉庫を借りるなり作ればいいのでは？中核都市の８割に美術館があるから作りたい、という理由であれば反対です。少し遠方ですが、市立ですと水戸芸術館、豊田市美術館、２１世紀美術館には足を運びます。これくらい現代の若く優れた作家を扱い、挑戦的な展覧会を企画し続ける気概があればいいですね。美術館とは少し違いますが、守谷市のＡＲＣＵＳというレジデンス施設には国外から若手アーティストを毎年受け入れ、地域の人と交流しているようです。こういう試みも参考になるではないでしょうか。特にビジョンもなく、問６選択肢１～８にあるような当たり障りないきれいな事を並べてできただけのぬるい施設ならばどうでしょう。不要です。その予算でアトリアに優れたキュレーターを配置する方がよっぽど中核市にふさわしいと思います。（30～39 歳，南平地区）

◆川口市は東京都に隣接しているため都内の立派な美術館へは利便性が高く利用できる環境にある。建設費用、運営費用など市の少ない予算から捻出するよりは都内美術館を市民に鑑賞させる機会を多く提供する方が有益であると考えます。（40～49 歳，南平地区）

◆地域活性化に繋がると良い。（50～59 歳，南平地区）

◆川口市の美術館を作るなら今までのない、すべての市民が楽しめる施設にしてほしい。健康な人も、介護が必要な人も、これからは高齢化が進んでいく。この問題から逃げることは出来ない。これからの川口の大いに期待しています。ガンバレ川口！！（60～69 歳，南平地区）

◆公民館で絵のサークル活動は汚すので使用許可されない様でした。鹿浜の公民館で絵画サー

クルに参加していました。川口の公民館及び市役所職員は親切でない。美術館を開館しても快適でないと思う。財政難で市民の為に役に立つ開館を作ると言っていながら、その土地を売却するぐらいなら、美術館なんていらないのでは！？私はおそらく都内及び県外の美術館へ行くと思う。埼玉県民の意識が低いのではなく、お役人が田舎っぽいと思う。（70～79 歳，南平地区）

◆ディズニーやジブリ等のアニメや有名なキャラクターの美術館だと、市内ではない方も来てくれると思います。（18～29 歳，新郷地区）

◆バリアフリー（高齢者や障害者の方に優しい施設）。幅広い世代に対応できる文化施設。見に行って空間が気持ち良く、時間がたつのを忘れてしまう…落ち着ける施設を希望します。（18～29 歳，新郷地区）

◆子どもたちの感性や情操教育に役立つ、豊かになる様に美術に触れる機会を増やして頂けると嬉しいです（学校の社会科見学の様にカリキュラムに組み込む等）。（30～39 歳，新郷地区）

◆川口市やその地域周辺の歴史が分かる史料が見たい（40～49 歳，新郷地区）

◆小規模のギャラリーはあるが、常設展示が安定していていつ行っても落ち着けるスペースがないと思う。企画展にしてもセンスがいまひとつ。古典を呼ぶ資金力に欠けるとしても、企画次第で近代～現代アート、アニメーション作品、職人の工芸品とか目玉として特化したものはあると思う。（50～59 歳，新郷地区）

◆美術に関してのみの会館は必要ない。何らかの施設に併設で、アクセスの良い所で、そこそこの内容のある物であれば行きたいと思う。（60～69 歳，新郷地区）

◆老々介護、いじめ問題、待機保育児問題等、美術の施策よりもっと優先する問題があると思います。住んでよかったと思ってもらえるよう、もっと身近な事があると思う。（70～79 歳，新郷地区）

◆できれば他のことにお金を使って欲しい。狭くて危ない道路を整備するなど。（18～29 歳，神根地区）

◆美術館建設に反対ではないが、その建設によって住民の負担が増える事のないようにして欲しい。川口市民は入館料無料など。また老若男女問わず楽しむ事ができ、見るだけでなく、体験もできるような美術館にして欲しい。（30～39 歳，神根地区）

◆美術館よりも保育園を作る方にお金を使ってほしい。美術を鑑賞したくても金銭的、時間的余裕が働いている世代にないので、先に保育園増設に力を注ぎ、その後美術館を作る余裕が財政的にあれば作ってほしい。（30～39 歳，神根地区）

◆１つに特化したものの方が良い（40～49 歳，神根地区）

◆美術の拠点だけでなく、インスタ映えするとかお茶ができる、くつろげるなどの空間になると良いと思います。収蔵品の内容より企画性が重要に思います。（50～59 歳，神根地区）

◆川口市に美術館が出来たら行きたいと思います。入館料があまり高額だと高齢者はあまり行けないと思います。高齢者の方々には、たくさん絵の好きな方がいらっしゃいます。子供から大人まで楽しめる美術館があるといいなぁーと、常々思っていますので宜しくお願い致します。（60～69 歳，神根地区）

◆障害者の方も鑑賞出来る様にバリアフリーにして欲しい。（70～79 歳，神根地区）

◆①施設に入所している方は自由に行けないので無料にして欲しい（年齢で）。②リリアの様にトイレがあるが、一般向けが多いので、車イス対応できる（オムツ交換のできるベットがあると良い）所にして欲しい。③同じ敷地内に食事ができる所が欲しい（車イス対応のできる）。（80 歳以上，神根地区）

◆川口市ゆかりの作家、作品の収蔵、展示を行う事での他の美術館との差別化は基本。且つ魅力ではありますが、それにとらわれず分野、国、地域に関わらず、優れた芸術や若い世代へ機会を提供できる様な美術館であれば理想的だと思います。地域のものを常設展示、企画展として

様々に取り組むというのも一つの形かとも思います。(18～29 歳，芝地区)
◆川口に人を呼び込める魅力的なものでなければ、価値はないと思う。寄贈されたものを掲示するだけなら市役所、リリア等でよいのでは。(30～39 歳，芝地区)
◆美術館がある事は素晴らしいが、お金がかかる事なので良く検討して、無駄な産物にならぬよう、経費がかかりすぎず、はでになりすぎないよう、大きくないがセンスのあるステキな美術館ができらイイかと思います。(40～49 歳，芝地区)
◆余計な税金投入は勘弁願います。(50～59 歳，芝地区)
◆ハード面でお金をかけるのではなくソフト面（優れた作品、話題の作品等）にお金をかけて、あまり遠くへ行けない人々がすばらしい芸術に触れられる機会を持てるような館にしてほしいです。(60～69 歳，芝地区)
◆肩ひじはらずに気軽に行ける、親しみやすい美術館を希望します。(70～79 歳，芝地区)
◆もし、美術館を設けるとしたら、フロアを大人向け、子ども向けと分けたら幅広く楽しめると思います。(18～29 歳，安行地区)
◆ムダなお金を払うよりももっと子育てに対して色々やった方がいいと思う。(18～29 歳，安行地区)
◆特にいらないと思いますがイイナパークを完成させるべき。美術館より子供が遊べる所を増やしてほしいです。(30～39 歳，安行地区)
◆希望を言えば街全体で芸術が味わえるような市を作ってほしいが、難しいので川口市の特徴をいかした（鉄のオブジェなど）ものを常設した美術館や広場。子供が興味を持ち、触れ、遊べる様なものだといいと思います。是非作ってほしいと思っています。頑張って下さい！！(40～49 歳，安行地区)
◆男女問わず大人から子供まで楽しく鑑賞、体験出来る施設であってほしい。交通の利便性は大切だと思います。入館料金は安価な方が良い。(60～69 歳，安行地区)
◆常に町会にあるサークルなどの発表展示もして市民の施設（60～69 歳，安行地区)
◆①美術館に託児所を設置してもらいたい。聞きわけなく大声を出したり、走り回る子がいると、その子の保護者自身も大変だし、周囲の人も迷惑でゆっくり鑑賞できない。②全国的、世界的な作家の作品を展示してもらいたい。一定の地域で県内で上手な作品は感心はするが、感動するとまではいかない。もっと市立美術館であるからには、市内で美術に取り組んでいる人の作品を展示する区域も立派な展示室を作ってもらいたい。(70～79 歳，安行地区)
◆「美術」がどこまでの定義になるかわからないが、川口市ならではの文化、昔からの産業などをまとめて魅力的に見せてくれる施設があるといいなと思う。他の都市から来たいと思える施設がいい。(18～29 歳，戸塚地区)
◆埼玉は特色がないと言われることが多々あるので、埼玉の代表となる様な施設になればうれしいなと。できれば全国でも。好きでも子供がいると行くことを避けてしまっていたので、家族で楽しめたらありがたいです。美術関連の遊具があるといいです。(30～39 歳，戸塚地区)
◆ありきたりな物を作るより、何かテーマを絞って他の美術館と差別化を図る方が良いと思います。(40～49 歳，戸塚地区)
◆①単なる美術品の展示のみではなく、川口市の歴史や文化が伝わるもの。②展示物を触ることができるくらいに置かれていること。(50～59 歳，戸塚地区)
◆美術館があったらよいと思うが、それよりも保育所など若い人達が安心して子育てできるような施設が増えたらいいかと思う。(60～69 歳，戸塚地区)
◆川口市は東京に隣接しているので、もし市立の美術館を設置するのであれば、東京に多数ある大きな美術館をまねるのでなく、いかに独自色を出す企画、アイデア等が出せるか、それによりいかに東京から観客をよべるか？が鍵となろう。(70～79 歳，戸塚地区)
◆大人も子供も気軽に楽しめる施設づくりをお願いします。(18～29 歳，鳩ヶ谷地区)

◆美術館を建てる前に、保育所や特別養護老人のホーム（多床室）を建ててもらえる方が市民は助かると思います。正直美術館を建てても赤字になることは目に見えています。そんなお金があるなら、福祉施設を建ててもらった方が、子育てや介護の為働けない方が働きに出ることができ、納税率も上がり、市内での消費も上がるのではないでしょうか？ムダに税金を使うのはやめて下さい！！（30～39 歳，鳩ヶ谷地区）

◆新しく建てる必要はないと思う。リリアや鳩ヶ谷庁舎を利用するとかでいいと思います。小規模でも展示品がよければ人は行きたいと思う。カフェとかも作ればいいと思う。（40～49 歳，鳩ヶ谷地区）

◆鋳物の町川口や宿場まち鳩ヶ谷など、地域の特徴をあらわす展示品、美術品も含めた美術館を望みます。また街中にポンと建てるより、周囲の自然を生かしながら、ある程度の公園の要素を含んだ環境の中に建てられると、（交通の便も良く…）多くの方に親しまれる所になると思います。（50～59 歳，鳩ヶ谷地区）

◆個人的に絵が好きなので、川口市民の川口をテーマにした絵を展示してもらいたい。（60～69 歳，鳩ヶ谷地区）

◆美術館を作るのも良いのですが、私は今ある絵をリリアやこれからできる市役所など、公共の場所（図書館）などに１つの絵を飾りっぱなしにせず、今月はこの絵をここに、来月はあの絵をここにと変えていって展示すれば、来た人がなごやかになり、絵も楽しめるのではないでしょうか。東京に近いので美術館はそちらに行くと思いますので、工夫してある絵を楽しんだらよいと思います。（70～79 歳，鳩ヶ谷地区）